

平成25年度

# 新入生の生活に関する調査

お茶の水女子大学

## はじめに

この報告書は、お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター(旧 学生支援センター)が平成 23 年度から実施している「新入学生(学部)とその保護者を対象に実施した調査」の平成 25 年度版の報告である。調査は、文部科学省特別経費プロジェクト「統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」の一環として実施した。調査内容は、出身高校、家族、卒業後の進路志望、学生生活の経済的基礎、学生支援活動への期待(以上入学生調査)、家計支持者の職業、世帯年収、学歴、学生支援活動への期待(以上保護者調査)など多岐にわたる。いずれも、大学生生活の基盤や大学へのニーズを明らかにすることによって、本学の学生・キャリア支援活動をより効果的に実行するための基礎資料として活用することが目的である。

本学において、学生の保護者を対象とした公的調査が行われた記録は手元には存在しない。少なくとも、保護者の社会階層的基盤、とりわけ世帯所得に関する保護者調査はこの調査ではじめて実施されたものと推測する。世帯所得を学生に尋ねた調査は、平成 5 年度『学生生活実態調査報告書』(お茶の水女子大学学生委員会)にまでさかのぼる。

この古い調査報告書の中に、「学部学生の家庭の年間所得総額は…1,112 万 7,800 円で、全国平均 798 万 4,000 円(平成 4 年)と比べると 1.39 倍」に達するとの記述がある。今回の調査でも、本学学生の出身家庭の所得は、国立大学・女子の年間平均所得を、さらに私立大学をも含めた年間平均所得を上回るという結果が得られている。ただ他方で、年間所得 600 万円未満の階層出身学生も全体の 15%程度を占め、年収の分化傾向が現れている。

卓越した能力と努力に恵まれた女子学生に、高等教育機会を提供していくために、どんな学生支援策が必要とされ、また有効なのか。現在実施されている施策は、意図した効果を持っているのか。また学生や保護者のニーズをどの程度充足しているのか。これらの問いに答え、効果的・効率的な学生支援政策を実行するためには、まずもって実態をつぶさに捉えるためのデータ蒐集が不可欠となる。高等教育機関において昨今 IR(Institutional Research)の重要性が叫ばれる所以である。

この調査報告が、有効利用されることを期待したい。

この調査を実施することができたのは(そして相対的に高い回収率で成功裡に実施することができたのは)、まずもって本年度新入学生とその保護者のご協力による。この報告書の執筆を担当した望月、北澤、三枝各氏とともに、感謝を申し述べたい。

平成 25 年 10 月吉日

国立大学法人お茶の水女子大学 理事・副学長  
学生・キャリア支援センター長 耳塚 寛明

# 目次

## 調査の概要

1. 「新入生調査」の結果報告
  - (1) 出身高校
  - (2) 家族構成
  - (3) これまでの進路選択や学校生活
  - (4) 大学入学後の生活の予定
  - (5) 将来の進路
  
2. 「新入生保護者調査」の結果報告
  - (1) 家庭の暮らし向き
  - (2) 親の職業・学歴
  - (3) 大学入学後の経済・生活支援
  - (4) 大学生活の不安・心配事
  
3. 新入生および保護者調査の結果報告 ―奨学金・学生寮に関する集計結果―
  - (1) 問題・目的
  - (2) 方法
  - (3) 奨学金に関する結果
  - (4) 学生寮に関する結果
  - (5) 学生寮と今後の課題
  - (6) まとめ

## 付表

1. 調査票（新入生調査）
2. 調査票（保護者調査）
3. 基礎集計表（新入生調査）
4. 基礎集計表（保護者調査）

## 執筆担当者

- 耳塚 寛明（副学長・教育機構長、学生・キャリア支援センター長） 担当：はじめに  
望月 由起（学生・キャリア支援センター 特任准教授）  
担当：調査の概要、1章、2章、付表1・2  
北澤 泰子（学生・キャリア支援センター 特任アソシエイトフェロー） 担当：3章  
三枝 博明（学生・キャリア支援センター アカデミック・アシスタント）  
担当：付表3・4

## 調査の概要

- **調査目的：**

入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的とする。

具体的には、下記4点を中心とする。

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

- **調査時期：**2013年3月

- ・ **調査方法：**

郵送による送付・返送。一般入試合格者（および保護者）に対しては、他の入学手続関係書類に調査票および調査返送用封筒を同封し、他の書類とともに回答の返送を依頼した。その他の方法での合格者（および保護者）に対しては、別途、調査時期に、調査票および調査返送用封筒を送付し、返送を求めた。

- **調査分析対象：**

返送者のうち分析許可を得ることができなかった者は分析対象から除外。

1. 「**新入生を対象とした調査（以降、新入生対象調査とする）**」

平成25年度学部入学者482名。有効回答数407名（入学者のうち84.4%）。  
文教育学部176名（入学者のうち80.4%）、理学部114名（同88.4%）、  
生活科学部116名（同86.6%）。

2. 「**新入生の保護者を対象とした調査（以降、新入生保護者調査とする）**」

平成25年度学部入学者482名。有効回答数400名（入学者のうち82.3%）。

- **実施主体：**

国立大学法人 お茶の水女子大学 学生支援センター

「文部科学省特別経費プロジェクト・統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」（詳細は、<http://www.ocha.ac.jp/gss/index.html> を参照）。

- **個人情報について：**

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めている（詳細は、[http://www.ocha.ac.jp/plaza/info\\_public/individual/index.html](http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html) 参照）。

調査票は、大学で付けたID番号で管理をし、回答者の氏名や住所などは記載せずに回答・返送を求めた。

● 参考とした調査・報告書

- Benesse 教育研究開発センター (2013)  
「第 2 回 大学生の学習・生活実態調査報告書」
- 文部科学省 (2012)  
「学校基本調査 - 平成 24 年度 (確定値) 結果の概要」  
[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2012/12/21/1329238\\_2\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2012/12/21/1329238_2_1.pdf)
- 日本学生支援機構 (2012)  
「平成 22 年度 学生生活調査」  
[http://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei\\_chosa/documents/data10\\_all.pdf](http://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/documents/data10_all.pdf)
- お茶の水女子大学 (2011)  
「平成 22 年度 お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」
- お茶の水女子大学 (2012)  
「平成 24 年度 新入生の生活に関する調査報告書」
- 全国大学生生活協同組合連合会 (2012)  
「2012 年度 保護者に聞く新入生調査の概要報告」  
<http://www.univcoop.or.jp/press/fresh/report.html>
- 全国大学生生活協同組合連合会 (2013)  
「第 48 回 学生生活実態調査の概要報告」  
<http://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>
- 全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター (2008)  
「全国大学生調査 第一次～第三次調査 基礎集計表」  
[http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/kiso2008\\_01.pdf](http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/kiso2008_01.pdf)

# 第1章 「新入生調査」の結果報告

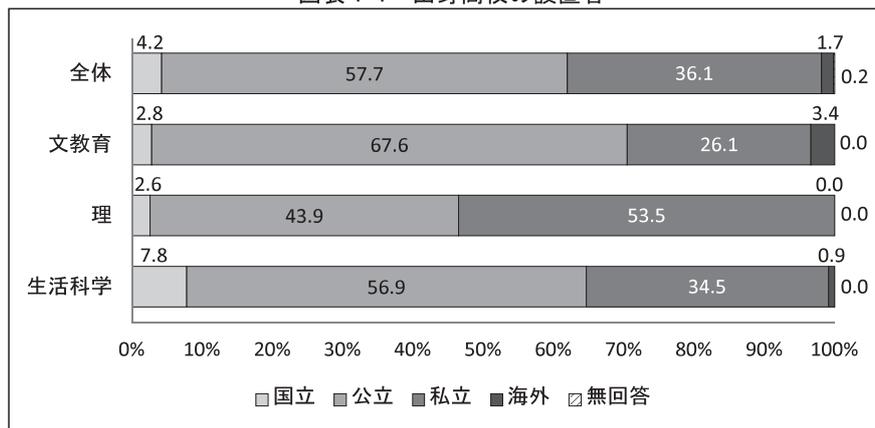
## (1) 出身高校

新入生の出身高校について、①設置者、②種類、③学科、④所在地から示していく。

### ①設置者

出身高校の設置者について、「国立」「公立」「私立」に「海外」を加えて示したものが図表 1-1 である。

図表 1-1 出身高校の設置者



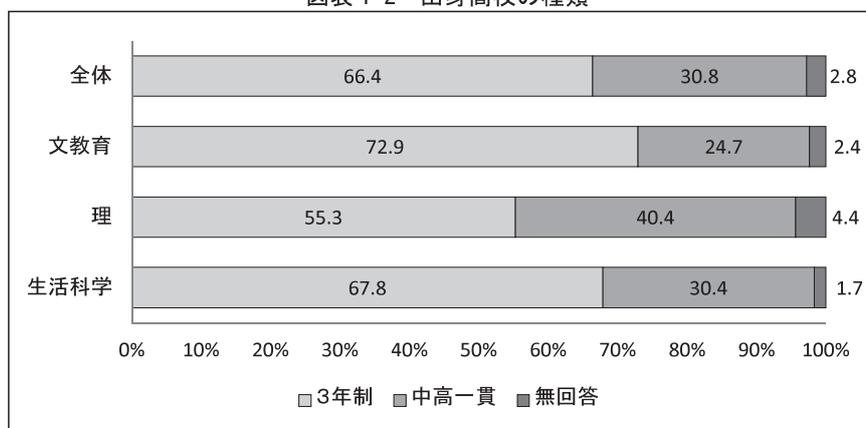
全体で見ると、公立高校出身者 57.7%、私立高校出身者 36.1%、国立高校出身者 4.2% であった。平成 24 年度新入生に比べると、公立高校出身者が 5.6 ポイント減り、私立高校出身者が 4.3 ポイント増えている（お茶の水女子大学 2012, P4 参照）。

学部別にみると、理学部では公立高校出身者の割合が低く、およそ半数に過ぎない。この結果は平成 24 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P4 参照）。

### ②種類

出身高校の種類について、「3 年制」「中高一貫」別に示したものが図表 1-2 である。

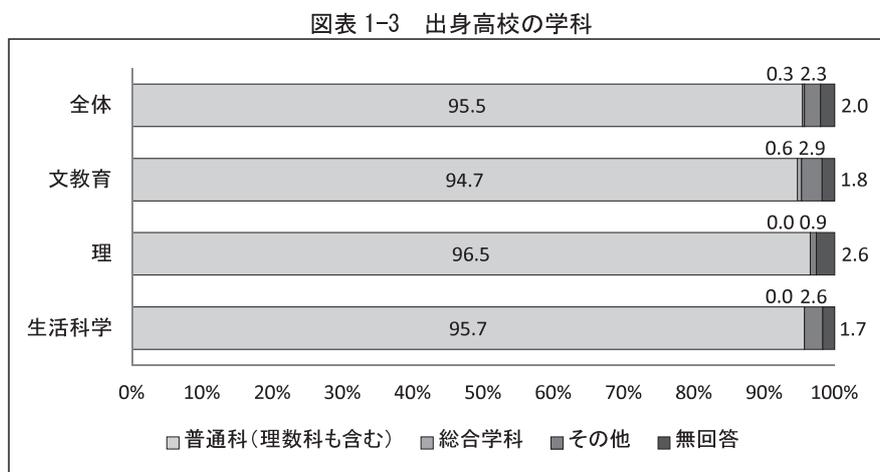
図表 1-2 出身高校の種類



全体で見ると、3 年制高校出身者 66.4%、中高一貫校出身者 30.8% であった。学部別にみると、3 年制高校出身者の割合は理学部で低い。これらの結果は、平成 24 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P4-5 参照）。

### ③学科

出身高校の学科について、「普通科（理数科も含む）」「総合学科」「専門学科」「その他」別に示したものが図表 1-3 である。



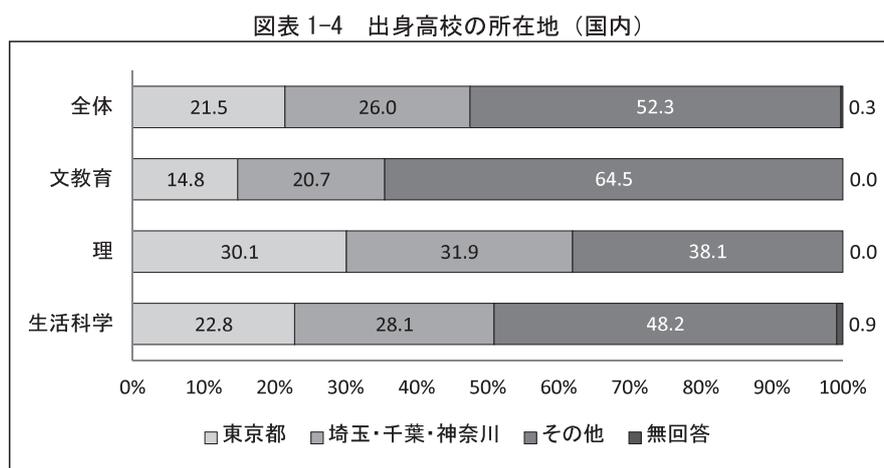
全体の 95.5%が普通科出身者であり、学部別にみても大差はみられない。平成 24 年度新入生においても 95.5%が普通科出身者であり、学部別にみても、今年度新入生の結果と大きな差異はみられない（お茶の水女子大学 2012, P5 参照）。

平成 24 年度学校基本調査によれば、高等学校（本科）のうち、普通科の生徒は 72.4%であり、本学新入生の普通科出身者の割合とは大きな隔たりがみられる。

### ④所在地

出身高校の所在地について「国内」「海外」別に尋ねた結果、全体の 97.3%が国内の高等学校出身者であり、学部別にみても大差はみられなかった。

さらに「国内」と回答した者を対象に、その高校が所在する都道府県について「東京都」「埼玉・千葉・神奈川」「その他」別に示したものが図表 1-4 である。



全体の 21.5%が本学の所在する東京都に所在する高校出身者であり、平成 24 年度新入生の結果と大きな差異はみられない（お茶の水女子大学 2012, P5-6 参照）。

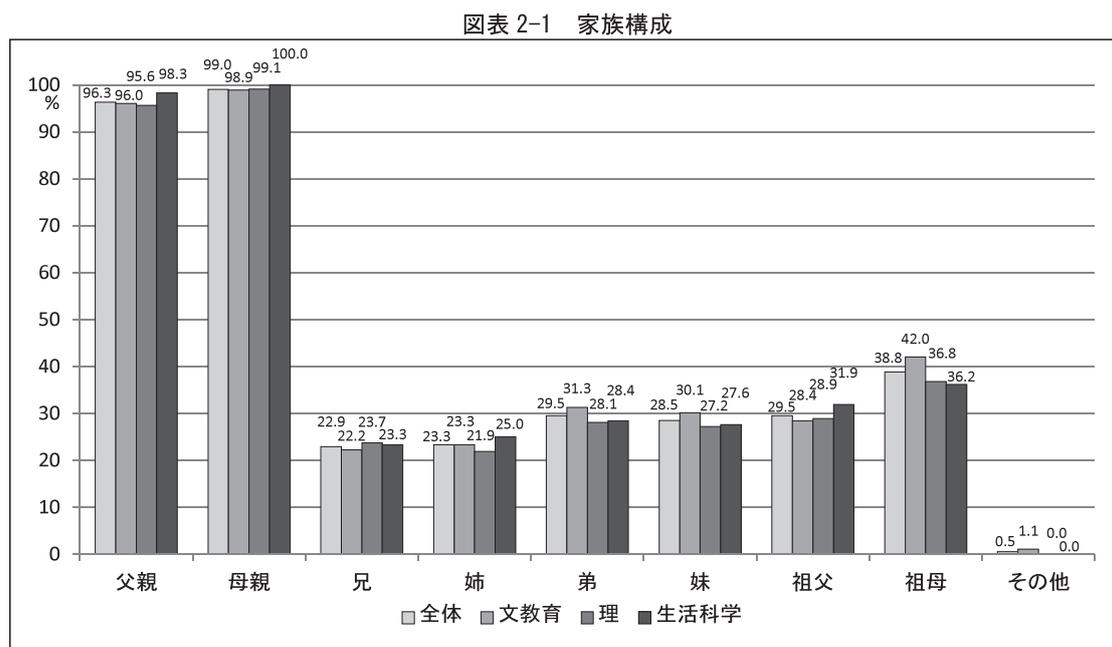
ただし、平成 24 年度新入生では学部別による大きな差異はみられなかったが（お茶の水女子大学 2012, P5-6 参照）、今年度新入生では、文教育学部と理学部で「東京都」「埼玉・千葉・神奈川」といった自宅からの通学可能性が高い地域の高校出身者の割合が 26.5 ポイント開いている。

## (2) 家族構成

本節では、本学新入生の家族構成について、①家族の構成、②兄弟姉妹の構成、③出生順位、④高等教育機関在籍（予定含む）の兄弟姉妹の数、⑤私立学校在籍（予定含む）の兄弟姉妹の数から示していく。

### ①家族の構成

本学新入生の家族構成について、「父親」「母親」「兄」「姉」「弟」「妹」「祖父」「祖母」「その他」から、あてはまるものを複数回答可として尋ねた結果が図表 2-1 である。

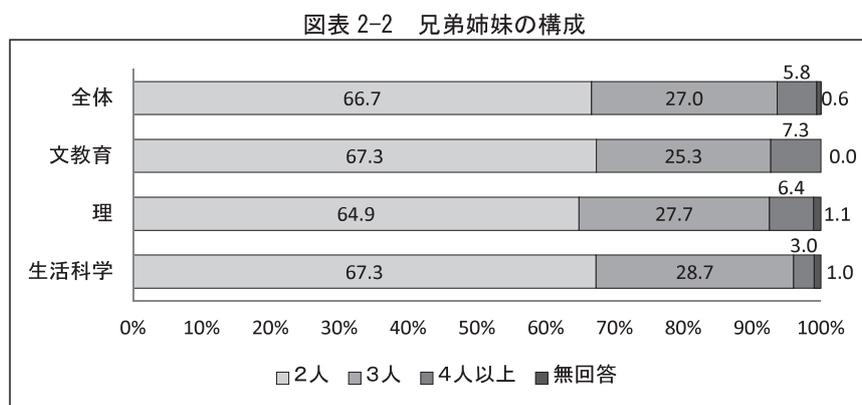


全体でみても、学部別にみても、平成 24 年度新入生と大差はみられない（お茶の水女子大学 2012, P7 参照）。

また、全体でみると、兄弟姉妹がいない「一人っ子」は 15.2%であった。平成 24 年度新入生では 13.5%であり、大きな差異はみられない（お茶の水女子大学 2012, P7 参照）。

### ②兄弟姉妹の構成

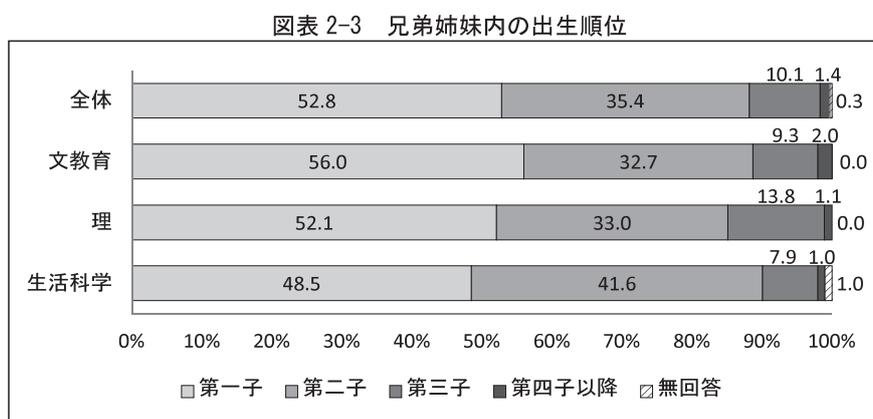
「兄」「弟」「姉」「妹」いずれかに回答した者（本学新入生の 84.8%が該当）に対し、その人数（自分も含めて）を尋ねた結果が図表 2-2 である。



全体で見ると、「2人」が66.7%と最も多く、次いで「3人」が27.0%であり、平成24年度新入生の結果と大きな差異はみられなかった（お茶の水女子大学2012, P7-8 参照）。

### ③兄弟姉妹がいる中での出生順位

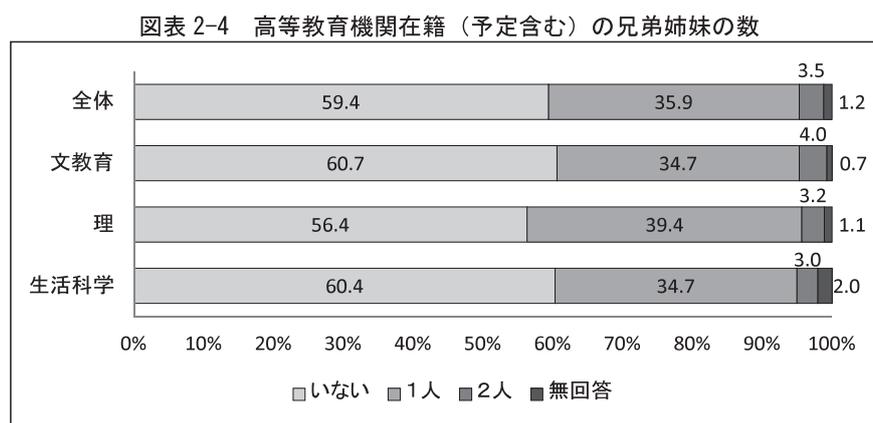
図表 2-3 は、「兄」「弟」「姉」「妹」いずれかに回答した者に対して、その構成内での出生順位について尋ねた結果である。



全体で見ると、「第一子」は52.8%であり、「一人っ子」が15.2%であること考え合わせると（P6 参照）、本学の新生は、全体の68.0%が第一子であることがわかる。平成24年度新生でも67.8%が第一子であり、今年度新生の結果と大きな差異はみられない（お茶の水女子大学2012, P8）。

### ④高等教育機関在籍（予定含む）の兄弟姉妹の数

図表 2-4 は、大学（大学院）・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）に正規の学生として在学する、または、来年度から進学予定の兄弟姉妹の数を尋ねた結果である。

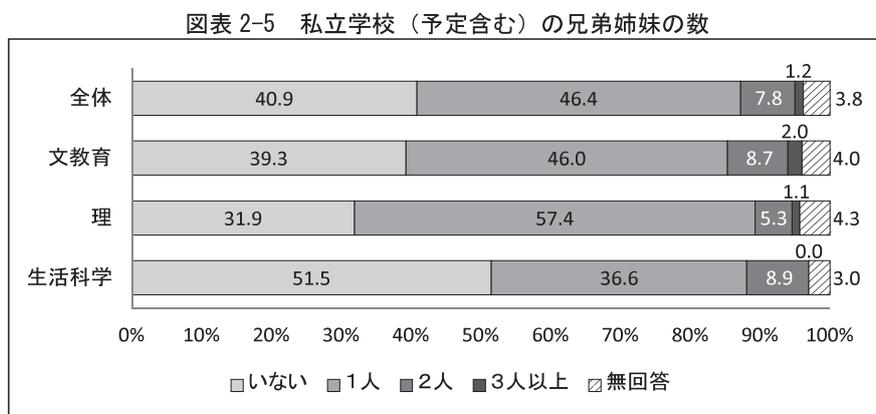


全体の35.9%が「1人」、3.5%が「2人」であり、平成24年度新生の結果と大きな差異はみられなかった（お茶の水女子大学2012, P8 参照）。

平成24年度新生では、高等教育機関に在籍する（予定含む）兄弟姉妹が、回答者以外にいる割合は生活科学部で高いことが示されていたが（お茶の水女子大学2012, P8 参照）、今年度新生では学部による大きな違いはみられなかった。

### ⑤私立学校在籍（予定含む）の兄弟姉妹の数

図表 2-5 は、私立の大学（大学院）・短期大学・高校・中学・小学校に正規の学生として在学する、または、来年度から進学予定の兄弟姉妹の数について尋ねた結果である。



全体の 46.4%が「1 人」、7.8%が「2 人」、1.2%が「3 人以上」であり、平成 24 年度新入生の結果と大きな差異はみられなかった（お茶の水女子大学 2012, P9 参照）。

学部別にみると、生活科学部での「いない」の割合の高さが目立っており、理学部とは 19.6 ポイントの開きがみられる。

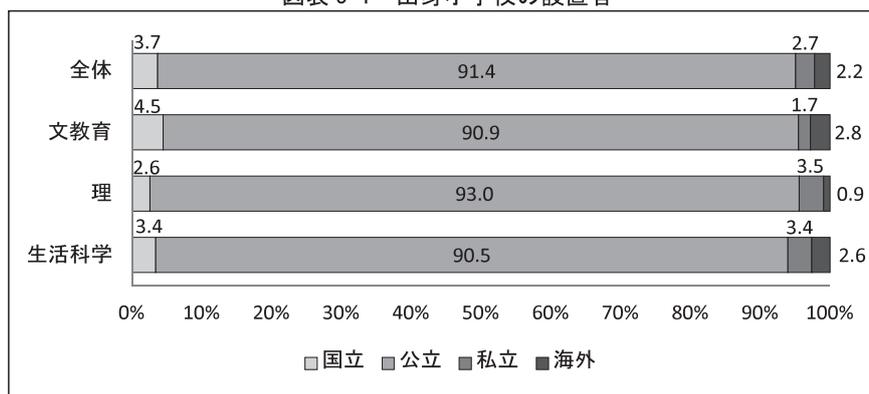
### (3) これまでの進路選択や学生生活

本節では、本学新入生のこれまでの進路選択や学生生活について、①出身小学校・中学校の設置者、②これまでの受験経験、③本学の受験を決めた時期、④本学の志望の度合い、⑤高校卒業から現在までの間に経験したこと、⑥高校時代に熱心に取り組んでいた活動から示していく。

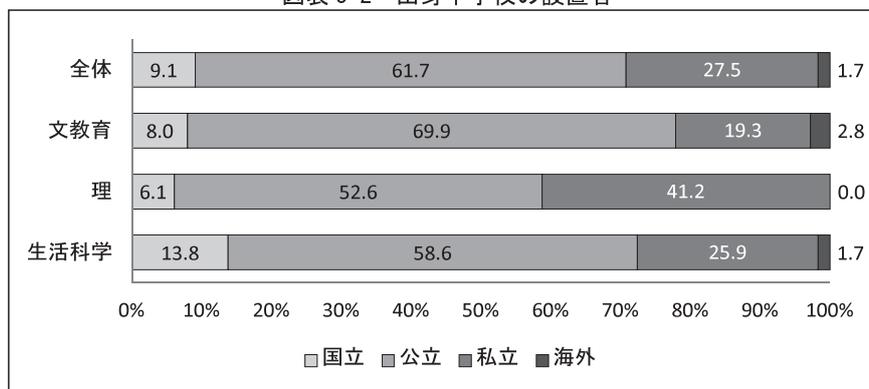
#### ①出身小学校・中学校の設置者

図表 3-1 は出身小学校の設置者について、図表 3-2 は出身中学校の設置者について、それぞれ「国立」「公立」「私立」「海外」別に尋ねた結果である。

図表 3-1 出身小学校の設置者



図表 3-2 出身中学校の設置者

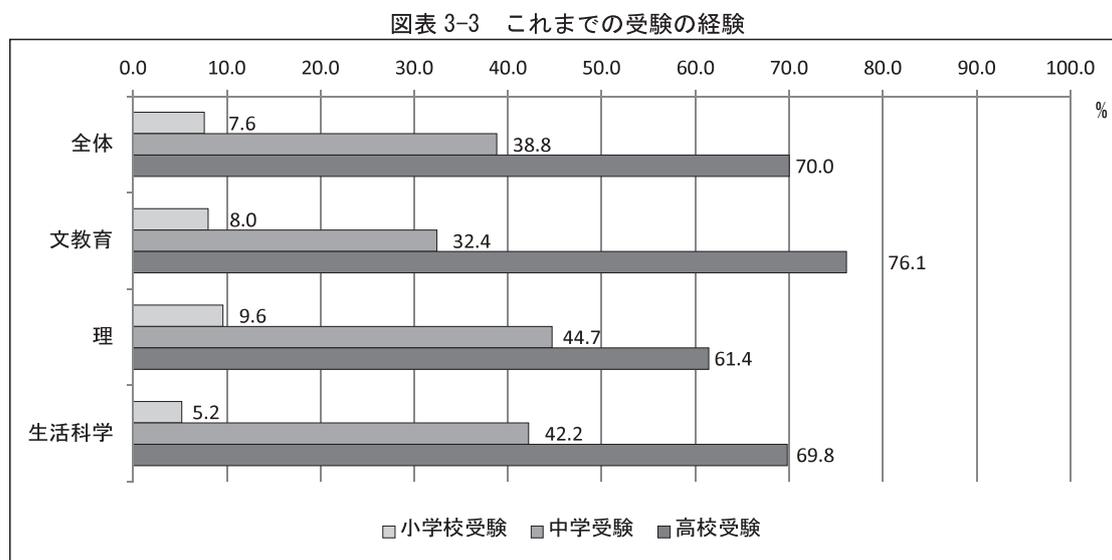


全体で見ると、公立小学校出身者が 91.4%、公立中学校出身者が 61.7%と最も多く、小学校では「国立」「私立」、中学校では「私立」「国立」がそれに続いている。公立校出身者の割合は、小学校、中学校ともに、平成 24 年度新入生より高くなっている（お茶の水女子大学 2012, P15 参照）。

学部別にみると、小学校ではいずれの設置者においても大差がみられないが、中学校では理学部と文教育学部で差異が目立ち、私立中学校出身者は両方で 21.9 ポイントの開きがみられる。

## ②これまでの受験経験

図表 3-3 は、小学校・中学校・高校のそれぞれに入学するための受験の経験について、複数回答可として尋ねた結果である。

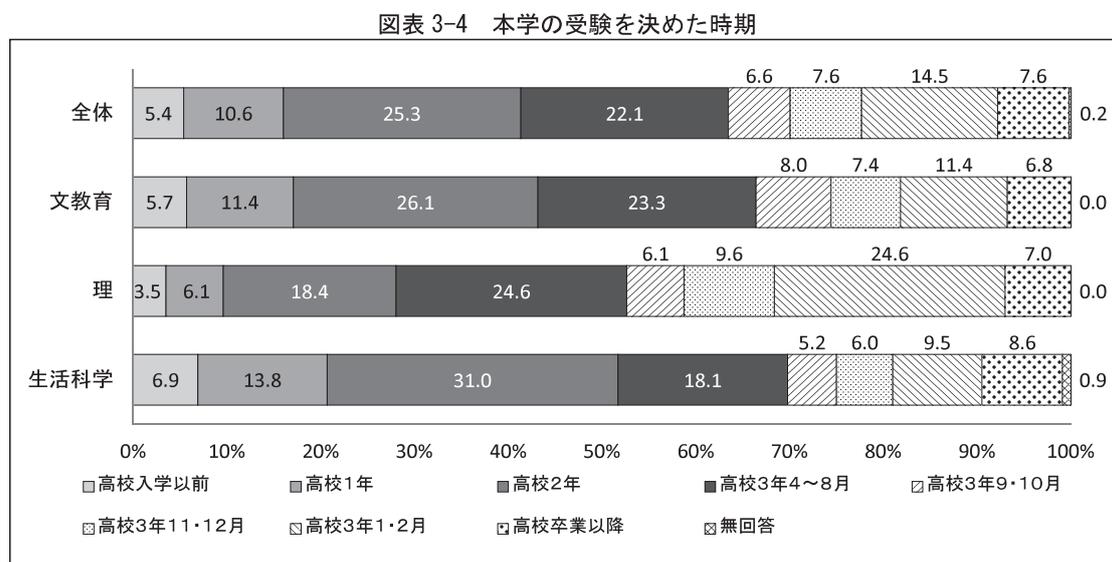


全体の 7.6%が小学校受験を経験し、38.8%が中学受験を経験しているなど、早期での受験経験者も多いことが示されている。こうした傾向は平成 24 年度新入生でも同様にしめされている（お茶の水女子大学 2012, P15-16 参照）。

Benesse 教育研究開発センターが 2012 年に実施した「第 2 回 大学生の学習・生活実態調査」によれば（Benesse 教育研究開発センター 2013, P150）、中学受験経験率 27.8%であり、本学新入生の受験経験状況とは隔たりがみられる。

## ③本学の受験を決めた時期

本学の受験を決めた時期について、「高校入学以前」「高校 1 年」「高校 2 年」「高校卒業以降」に加え、「高校 3 年」に関しては、その時期を「4～8 月」「9・10 月」「11・12 月」「1・2 月」に分けて尋ねた結果が図表 3-4 である。

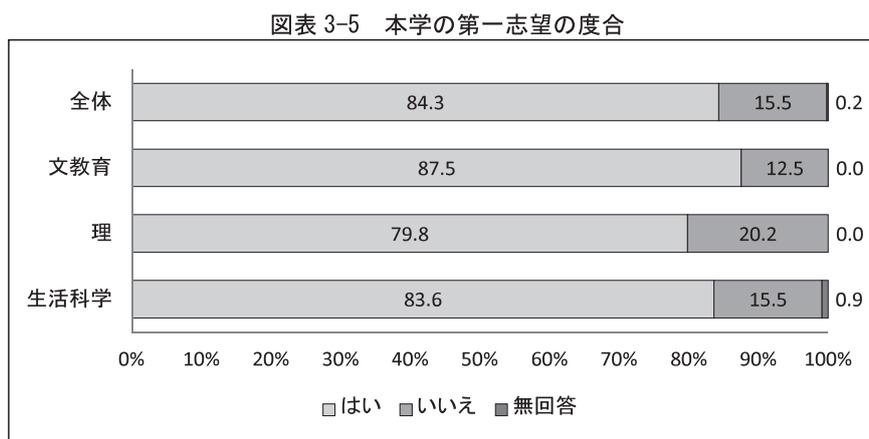


全体で見れば、平成 24 年度新入生同様（お茶の水女子大学 2012, P12 参照）、今年度の新入生も「高校 2 年」が 25.3%と最も多く「高校 3 年 4～8 月」がそれに続いている。

ただし学部による差異がみられ、理学部では、「高校 3 年 1・2 月」が「高校 3 年 4～8 月」と同じく 24.6%と最も多く、センター試験の結果をみてから、本学の受験を決めた学生も少なからずみられる。その一方、生活科学部では高校 2 年までに本学の受験を決めた学生が半数を超えている。こうした傾向は、平成 24 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P12 参照）。

#### ④本学の志望の度合い

図表 3-5 は、受験時に本学が第一志望であったか否かについて尋ねた結果である。



全体で見ると 84.3%の新入生が本学を第一志望としており、平成 24 年度新入生と大きな差異はみられない（お茶の水女子大学 2012, P12 参照）。

学部別にみると、平成 24 年度新入生では、理学部が他学部と比べると第一志望の割合が 15 ポイント以上低い結果であったが（お茶の水女子大学 2012, P12 参照）、今年度新入生では、他学部より低いものの、大きな違いはみられない結果となっている。

#### ⑤高校卒業から現在までの間に経験したこと

高校卒業から現在（調査時期の大学入学前年度 3 月）までに経験したことについて、「大学生の学習・生活実態調査」を参考に、複数回答可として尋ねた結果が図表 3-6 である。

図表 3-6 高校卒業から現在までの間に経験したこと

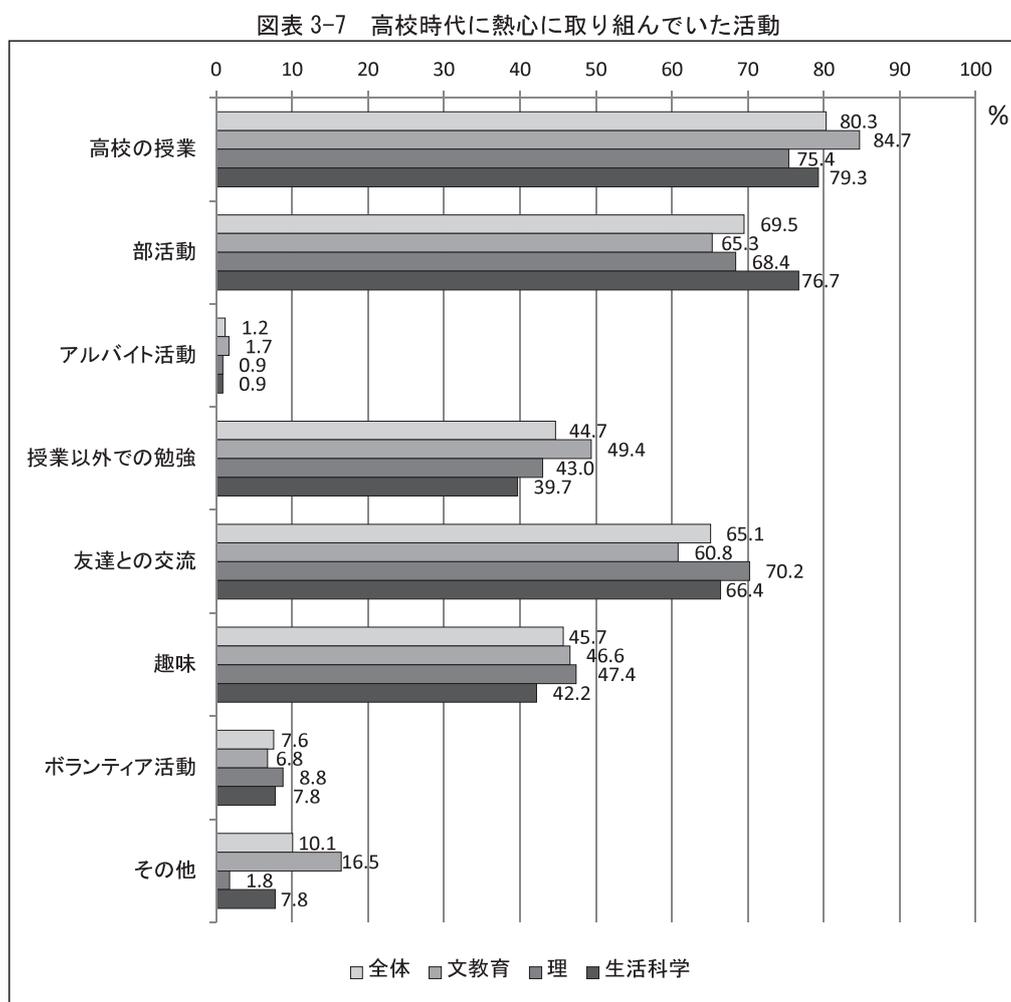
	他の高等教育機関に入学した	フルタイムで働いた	浪人した	海外留学をした	この中にはない	無回答
全体	1.0	0.0	13.8	0.2	77.4	8.4
文教育	1.1	0.0	10.8	0.6	82.4	6.3
理	0.0	0.0	15.8	0.0	75.4	8.8
生活科学	1.7	0.0	15.5	0.0	72.4	11.2

「浪人した」以外の項目は、いずれもごくわずかな経験率であり、学部別にみても同様の結果であった。平成 24 年度新入生でも同様の結果が示されている（お茶の水女子大学 2012, P18-19 参照）。

### ⑥高校時代に熱心に取り組んでいた活動

図表 3-7 は、高校時代に熱心に取り組んでいた活動について、複数回答可として尋ねた結果である。

全体で見ると、「高校の授業」が 80.3%と最も多く、それに「部活動」「友達との交流」が 6 割を超えて続いている。この順は、平成 24 年度新入生でも同様であった（お茶の水女子大学 2012, P19 参照）。



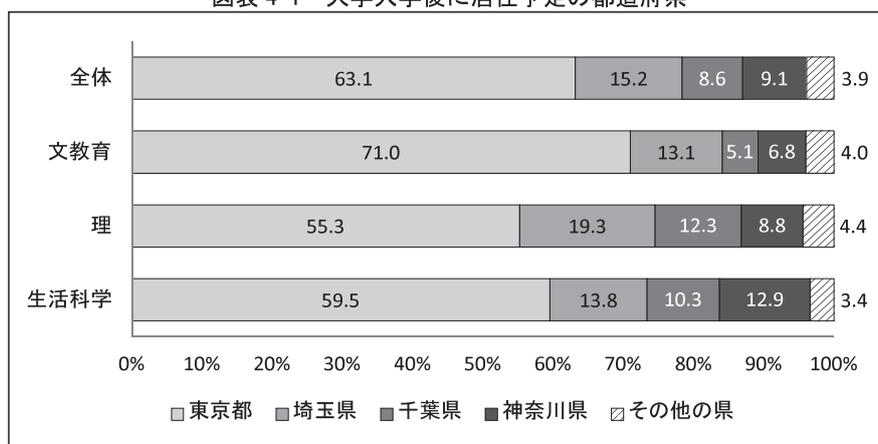
#### (4) 大学入学後の生活の予定

本節では、本学新入生の大学入学後の生活の予定について、①大学入学後の居住予定の都道府県、②大学入学後の住居の予定、③1か月の家賃の予算、④1か月あたりの仕送り予定額、⑤大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動、⑥アルバイト活動の予定、⑦授業料の負担予定、⑧奨学金・学費免除制度の認知、⑨本学の学生寮に対する認知、⑩大学生活での不安・心配事、⑪本学の学生支援活動への期待から多面的に示していく。

##### ①大学入学後に居住予定の都道府県

図表 4-1 は、大学入学後に居住予定の都道府県を尋ね、本学の所在地である「東京都」、隣接している「埼玉県」「千葉県」「神奈川県」、「その他の県」別に示した結果である。

図表 4-1 大学入学後に居住予定の都道府県



全体で見ると、「東京都」が 63.1%と最も多く、「埼玉県」「神奈川県」「千葉県」と続いている。この順は、平成 24 年度新入生でも同様であった（お茶の水女子大学 2012, P20 参照）。

先に、本学新入生のうち、「東京都」の高校出身者は 21.5%であることを示したが（図表 1-4 参照）、本学新入生の 63.1%が「東京都」に居住予定であることから、親元を離れて本学に通学する予定の学生が多いと考えられる。この傾向は、文教育学部で顕著に示されている。

これらの点からも、本学では、学内での支援のみならず、学外での生活等も視野に入れた支援が必要であるだろう。

##### ②大学入学後の住居の予定

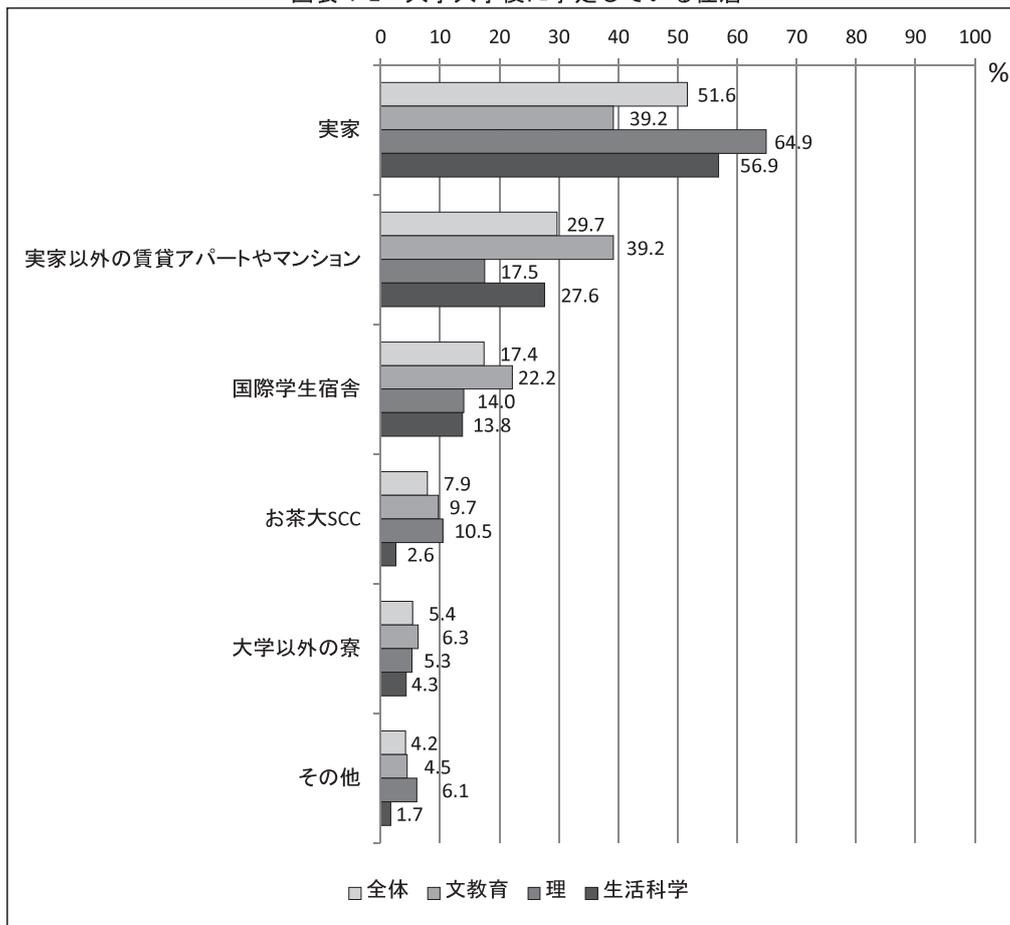
図表 4-2 は、大学入学後に予定している住居について、「実家」「実家以外の賃貸アパートやマンション」に加え、本学の学生寮である「国際学生宿舎」「お茶大 SCC<sup>1</sup>」、「大学以外の寮」「その他」の中から、複数回答可として尋ねた結果である。

全体で見ると、「実家」が 51.6%と過半数を占めており、次いで、「実家以外の賃貸アパートやマンション」、「国際学生宿舎」「お茶大 SCC」といった学生寮が続いている。この順は、平成 24 年度新入生でも同様であった（お茶の水女子大学 2012, P20-21 参照）。

学部別にみると、文教育学部では「実家」が他学部比べて低く、4割に満たない結果となっている。

<sup>1</sup> 学部 1・2 年生を対象として、平成 23 年 3 月に完成した新しい学生寮である。「SCC」は、Students Community Commons の略で、学生が共に生活し、共に成長する場所をあらわしている。詳細は、<http://www.ocha.ac.jp/gss/ochadaiscc/concept/index.html>

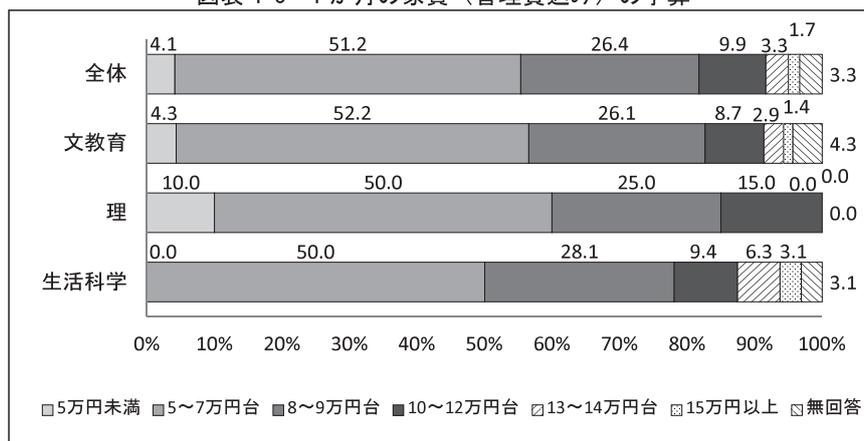
図表 4-2 大学入学後に予定している住居



### ③1 か月の家賃（管理費込み）の予算

図表 4-3 は、1 か月の家賃（管理費込み）の予算（千円未満は四捨五入）について、「賃貸アパートやマンション」に居住予定の者に尋ねた結果である。

図表 4-3 1 か月の家賃（管理費込み）の予算

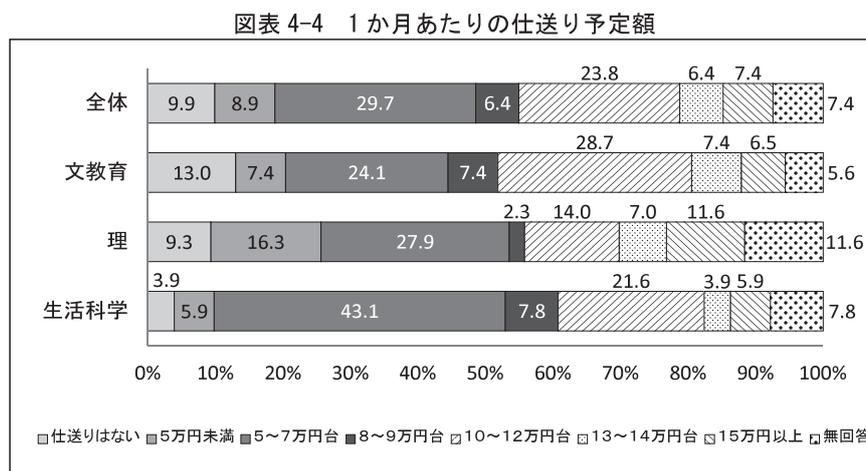


全体で見ると、「5~7万円」が51.2%と最も多く、次いで「8~9万円」が続いており、両者を合わせるとおよそ8割の学生が1か月の家賃として5~9万円を予定していることがわかる。平成24年度新入生もほぼ同様の状況であった（お茶の水女子大学2012, P21-22参照）。

なお、全国の大学生を調査対象とした「第 48 回 学生生活実態調査の概要報告」によれば（全国大学生生活協同組合連合会 2013）、下宿生の 1 か月の住居費平均は 53,420 円であった。

#### ④1 か月あたりの仕送り予定額

図表 4-4 は、1 か月あたりの仕送り予定額（万円未満は四捨五入）について、「実家」以外に居住予定の者に尋ねた結果である。



平成 24 年度新入生は、「10～12 万円」が 29.4%と最も多く、次いで「5～7 万円」「15 万円以上」が続いていた（お茶の水女子大学 2012, P22 参照）。しかし今年度の新入生では、「5～7 万円」が 29.7%と最も多く、「10～12 万円」がそれに続く結果となっている。

さらにいえば、「仕送りはない」「5 万円未満」がそれに続く結果となっており、「仕送りはない」が全体のおよそ 1 割を占めている。

なお「第 48 回 学生生活実態調査の概要報告」によれば（全国大学生生活協同組合連合会 2013）、下宿生のうち、仕送り「10 万円以上」は 30.3%であり、この 10 年でほぼ半減している。その一方で、仕送り「0」の割合は 10.0%と 4 年連続 1 割を超えており、5 万円未満層も 26.8%と増加傾向にある。

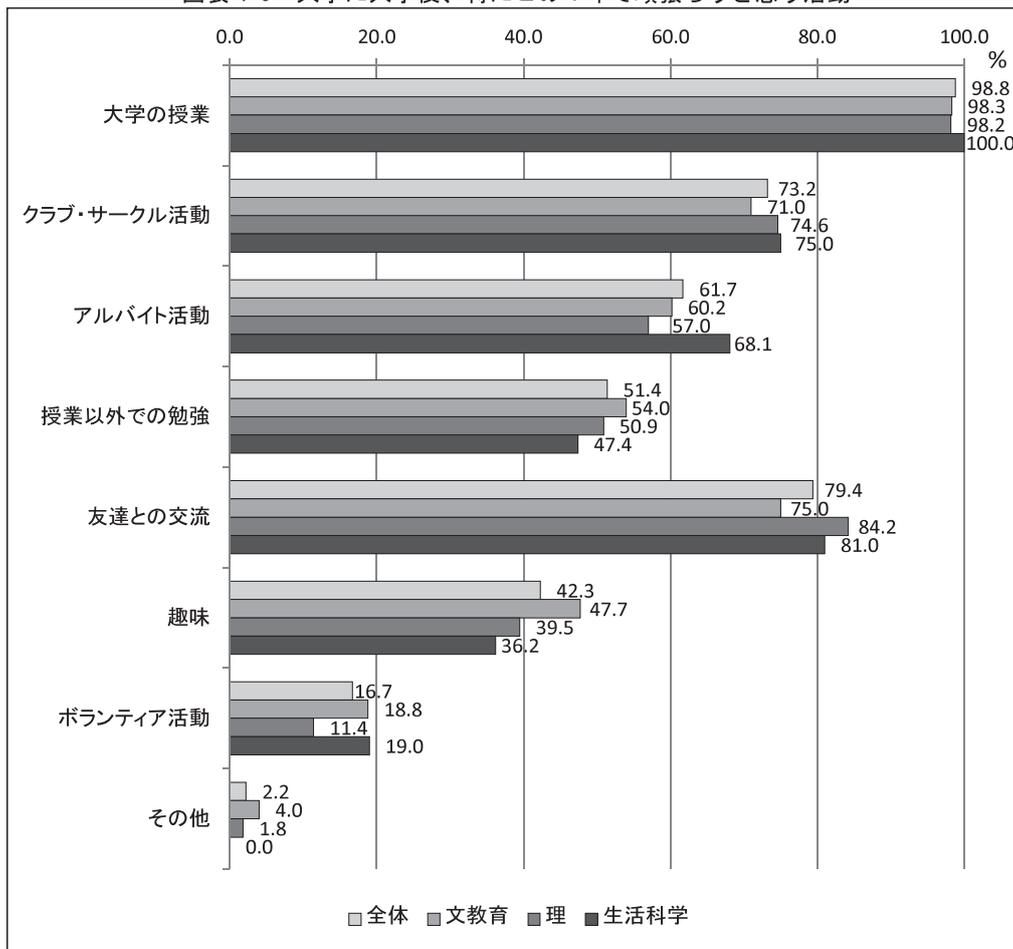
#### ⑤大学に入学後、特にこの 1 年で頑張ろうと思う活動

図表 4-5 は、大学に入学後、特にこの 1 年で頑張ろうと思う活動について、複数回答可として尋ねた結果である。

全体で見れば、「大学の授業」が 98.8%に及んでおり、大多数の新入生が「大学の授業」を頑張ろうと思っていることがわかる。この結果は、平成 24 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P22-23 参照）。

それに続き、「友達との交流」「クラブ・サークル活動」が全体の 7 割を超えている。この結果も、平成 24 年度新入生で同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P22-23 参照）。

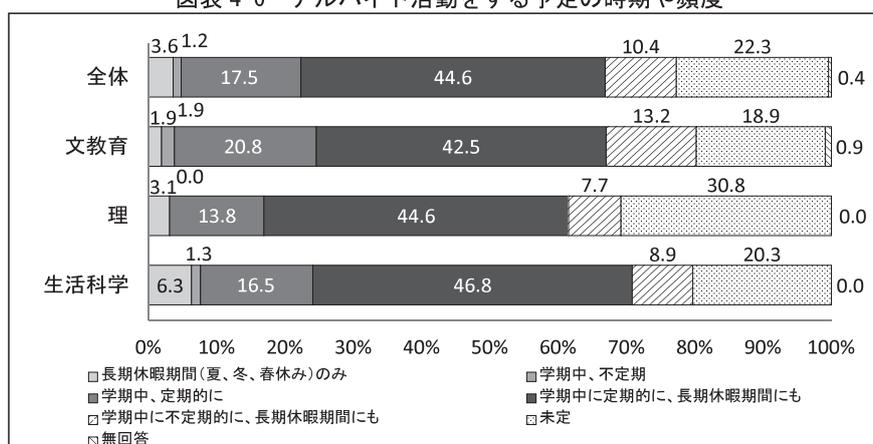
図表 4-5 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動



### ⑥アルバイト活動の予定

図表 4-6 は、大学入学後のアルバイト活動をする予定の時期や頻度について、アルバイト活動をする予定のある者に対して尋ねた結果である。

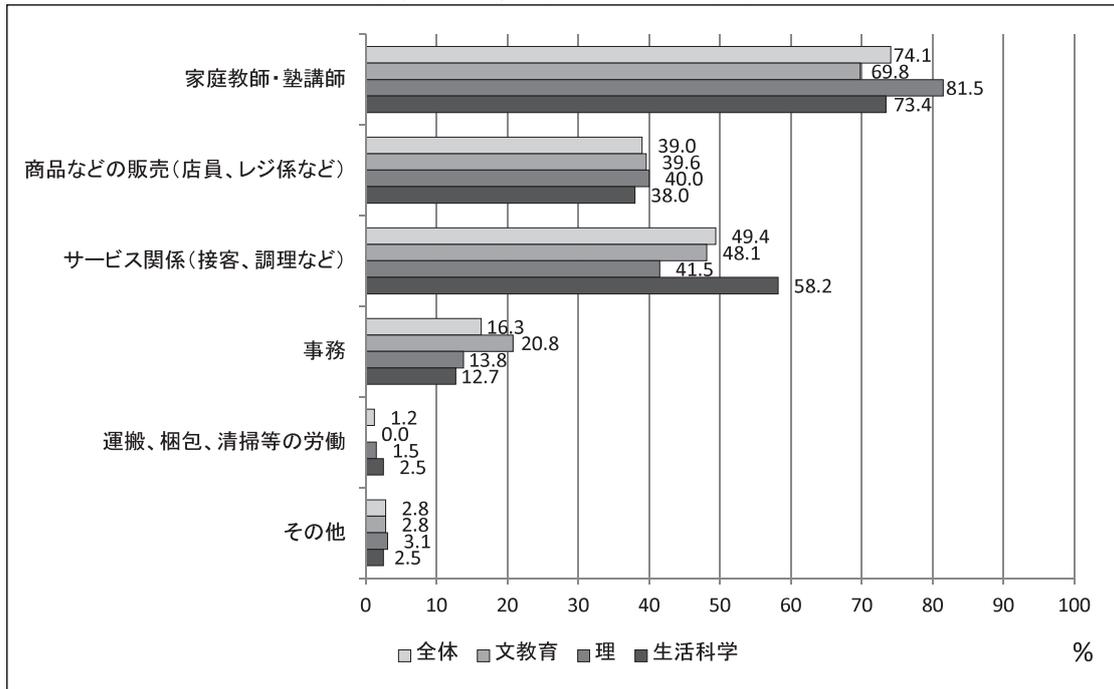
図表 4-6 アルバイト活動をする予定の時期や頻度



全体で見ると、「学期中に定期的に、長期休暇期間にも」が最も多く4割を超えている。平成24年度新入生でも同様の結果が示されている（お茶の水女子大学2014b, P23 参照）。

さらに、希望するアルバイト活動について、アルバイト活動をする予定のある者に対して、複数回答可として尋ねた結果が図表 4-7 である。

図表 4-7 希望するアルバイト活動

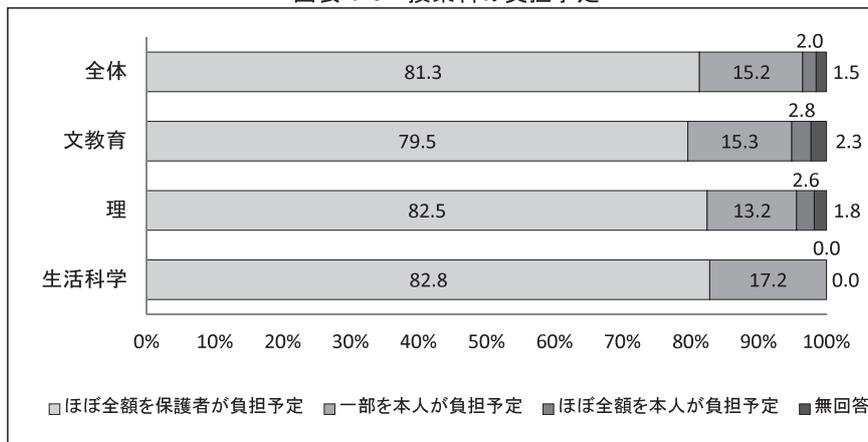


全体で見ると、「家庭教師・塾講師」が最も多く 7 割を超えており、「サービス関係」「商品などの販売」がそれに続いている。平成 24 年度新入生でも同様の順であった（お茶の水女子大学 2012, P24 参照）。

### ⑦授業料の負担予定

図表 4-8 は、授業料の負担予定について、「ほぼ全額を保護者が負担予定」「一部を本人が負担予定（奨学金等による負担含む）」「ほぼ全額を本人が負担予定（奨学金等による負担含む）」の中から尋ねた結果である。

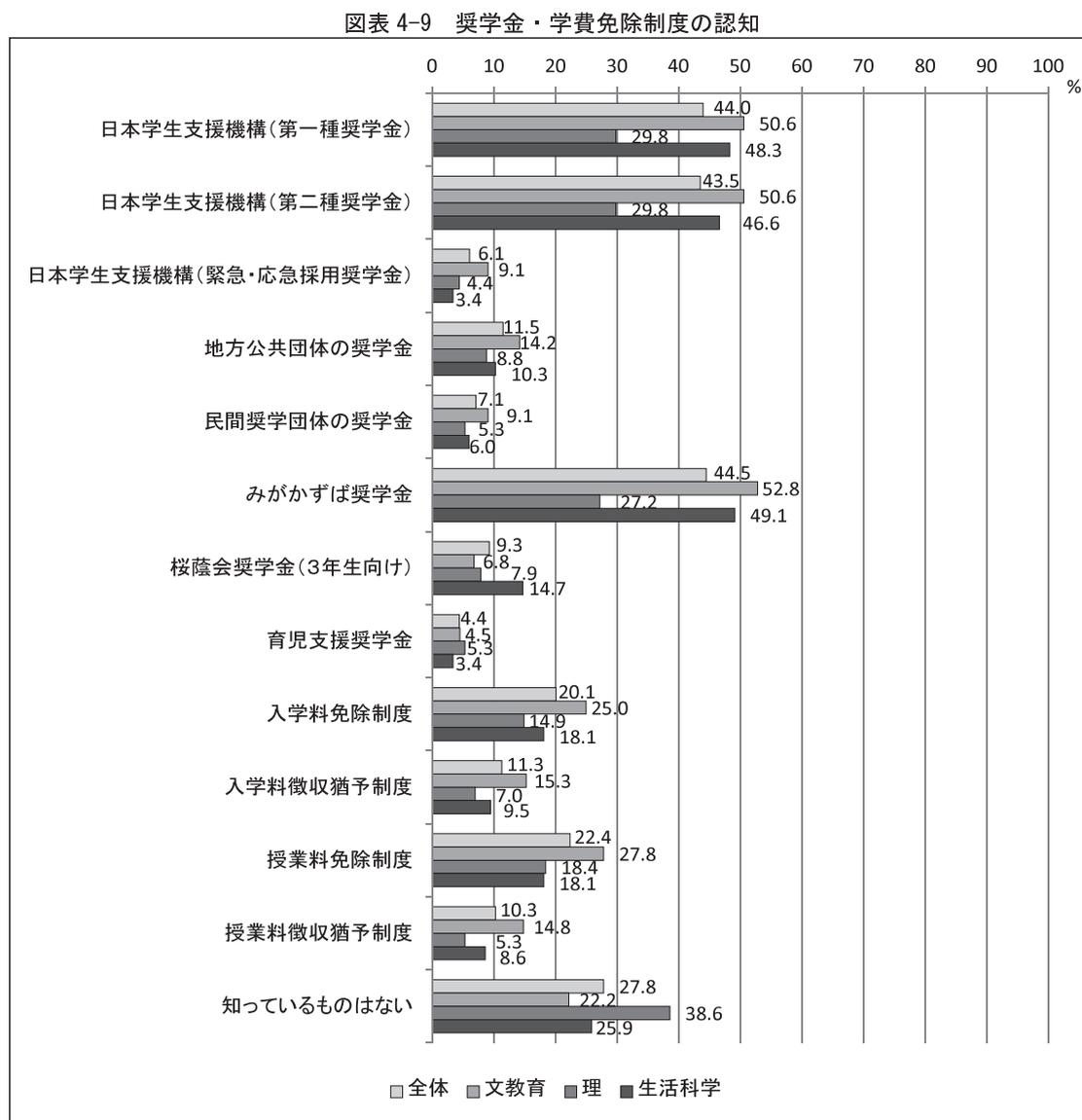
図表 4-8 授業料の負担予定



平成 24 年度新入生同様、いずれの学部においても「ほぼ全額を保護者が負担予定」が 8 割を超えており、「ほぼ全額を本人が負担予定（奨学金等による負担含む）」は極めて少ない結果となった（お茶の水女子大学 2012, P24-25 参照）。

### ⑧奨学金・学費免除制度の認知

図表 4-9 は、奨学金・学費免除制度の認知について、本学独自の制度も含め、複数回答可として尋ねた結果である。



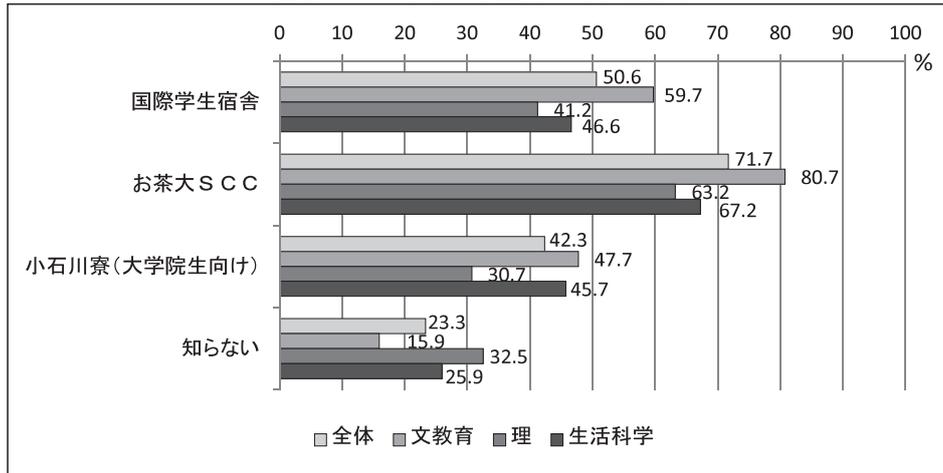
全体で見ると、日本学生支援機構による奨学金の認知率は、第一種・第二種ともに、他に比べて高く 4 割を超えている。この結果は、平成 24 年度新入生でもほぼ同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P25 参照）。ただし学部別にみると、理学部では第一種・第二種ともに 3 割程度と、他学部とは 20 ポイントほどの開きがみられる。

特筆すべきは、本学独自の奨学金として、一昨年度よりスタートした予約型奨学金制度である「みがかずば奨学金」であり、全体の 44.5%、文教育学部や生活科学部ではおよそ半数が認知している。平成 24 年度新入生の認知率は全体の 39.0%であり、その拡がりも示されている（お茶の水女子大学 2012, P25 参照）。

### ⑨本学の学生寮に対する認知

本学には、国際学生宿舎（学部生対象）、お茶大 SCC（1・2 年生対象）、小石川寮（院生対象）がある。図表 4-10 は、これらの本学の学生寮に対する認知について、複数回答可として尋ねた結果である。

図表 4-10 本学の学生寮に対する認知



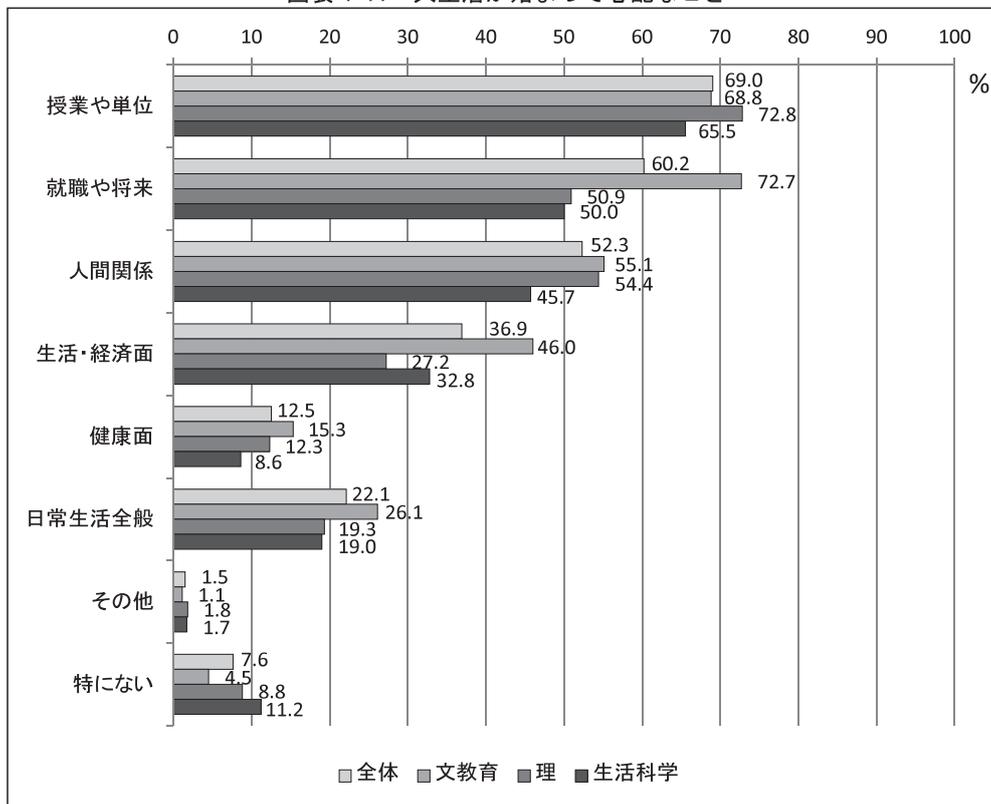
全体で見ると、「お茶大 SCC」が7割、「国際学生宿舎」が5割を超えており、平成24年度新入生でもほぼ同様の結果が示されている（お茶の水女子大学2012, P26 参照）。実家からの通学予定率が低いこともあり（図表 4-2 参照）、学部別にみると、いずれの寮でも文教育学部での高さが目立つ。

その一方で「知らない」は全体の23.3%、理学部では32.5%にも及んでおり、平成24年度新入生でも同様の結果が示されている（お茶の水女子大学2012, P26 参照）。

### ⑩大学生活での不安・心配事

図表 4-11 は、全国大学生生活協同組合連合会が実施している「保護者に聞く新入生調査」の調査項目を参考に、大学生生活が始まって心配なことについて、複数回答可として尋ねたものである。

図表 4-11 大生活が始まって心配なこと

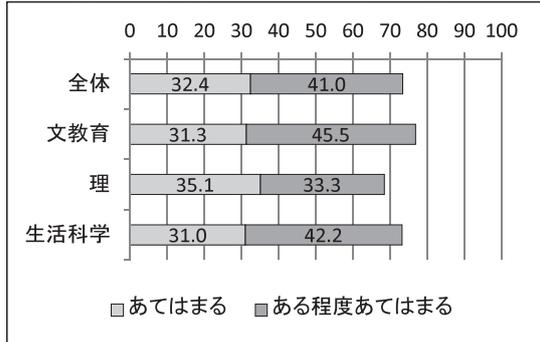


全体で見ると、「授業や単位」「就職や将来」が6割を超えており、それに「人間関係」が続く結果となっている。こうした傾向は、平成24年度新入生でもみられる（お茶の水女子大学2012, P26-27 参照）。

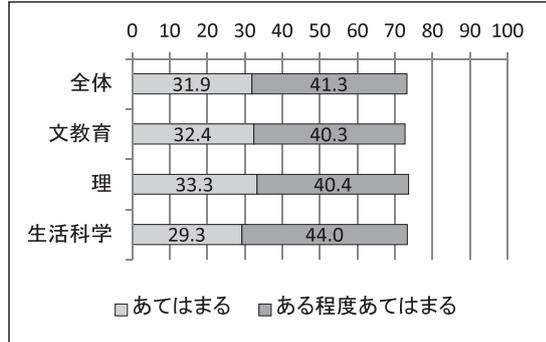
学部別にみると、文教育学部での「就職や将来の」高さが際立っている。他学部に比べて20ポイント以上高く、その不安の大きさがうかがえる。

さらに、大学入学後の不安や心配事に関する8項目を設定し、それぞれについて4件法で尋ねたところ、全体での該当率（「あてはまる」＋「ある程度あてはまる」）が70%を超えている項目は以下の5項目であった（図表4-12から図表4-16）。

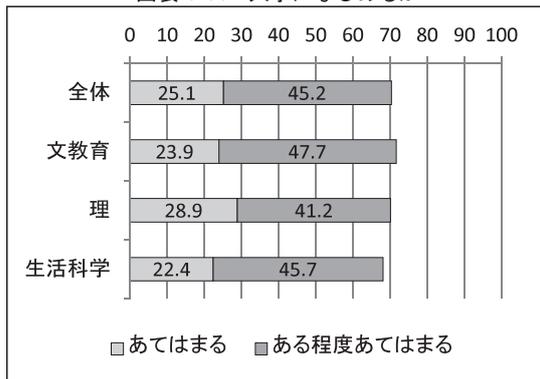
図表 4-12 充実したキャンパスライフを送れるか



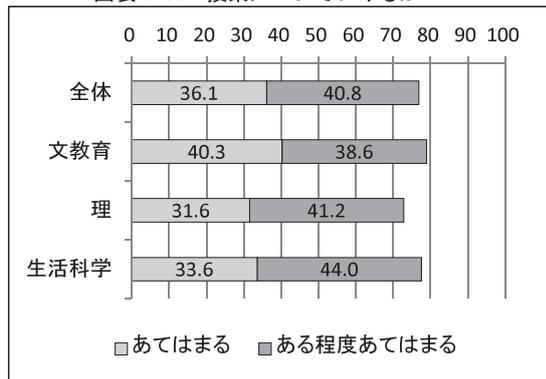
図表 4-13 友達ができるか



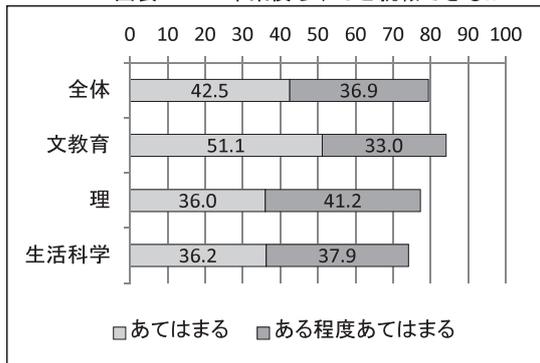
図表 4-14 大学になじめるか



図表 4-15 授業についていけるか



図表 4-16 卒業後ちゃんと就職できるか

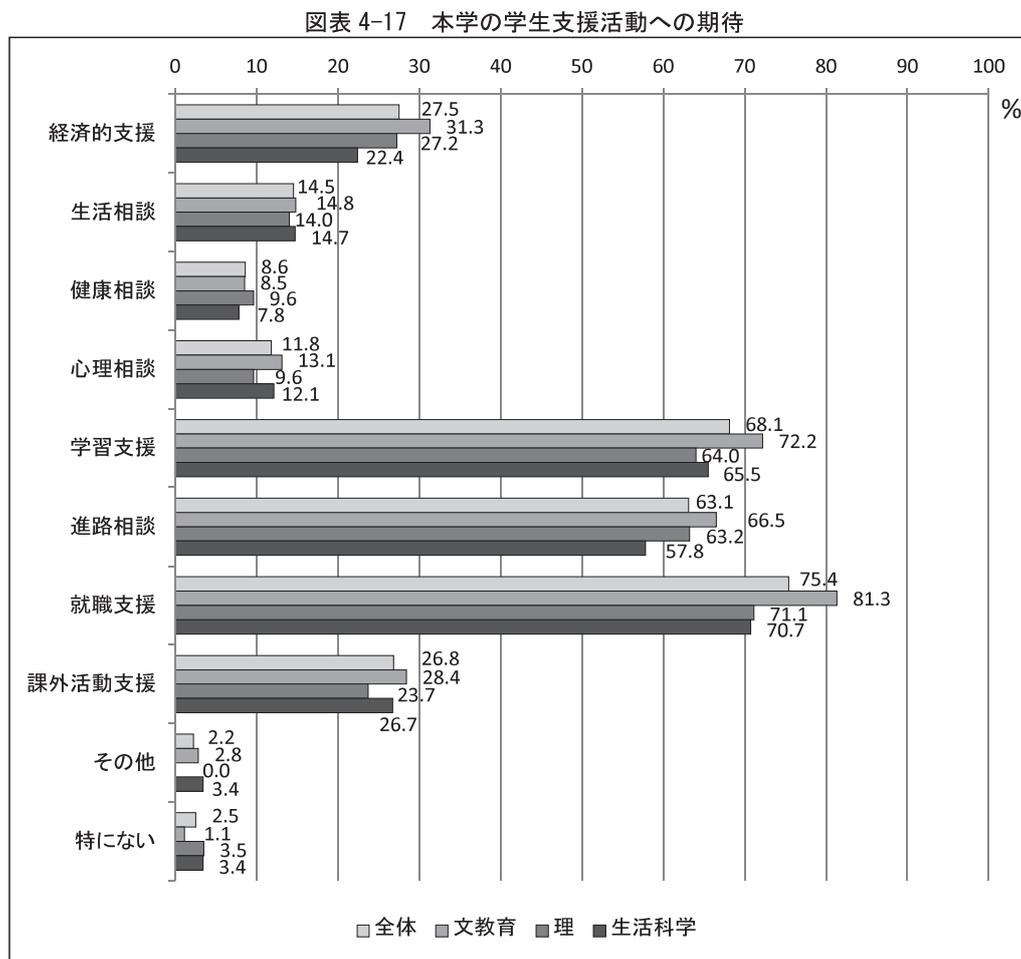


平成24年度新入生では4項目であったが（お茶の水女子大学2012, P27 参照）、今年度の新入生では「大学になじめるか」がそれに加わっている。

全体で見ると「卒業後ちゃんと就職できるか」が79.4%と最も多く、「授業についていけるか」「充実したキャンパスライフを送れるか」「友達ができるか」が続く結果となっている。

### ⑪本学の学生支援活動への期待

図表 4-17 は、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」の調査項目を参考に、本学の学生支援活動に期待するものについて、複数回答可として尋ねたものである。



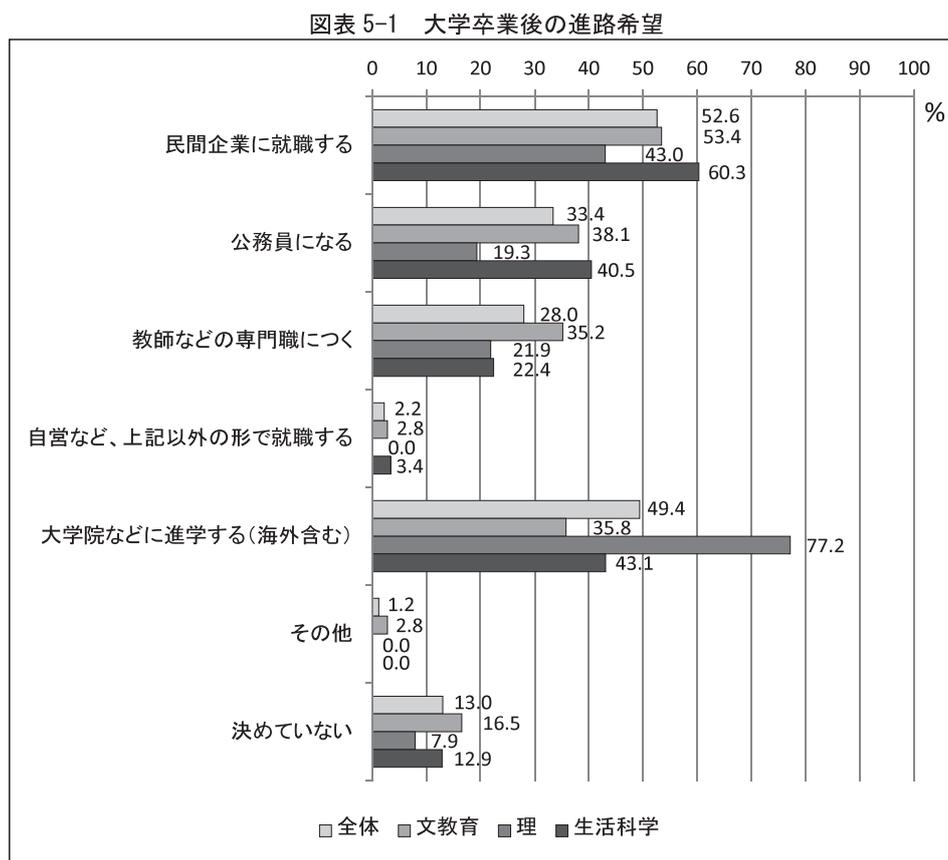
全体で見ると、「就職支援」が75.4%と最も多く、「学習支援」「進路相談」が6割を超えてそれに続いている。これらの支援の期待は、文教育学部での高さがいずれでも目立っている。

## (5) 将来の進路

本節では、本学新生の将来の進路について、①大学卒業後の進路希望、②大学卒業後のキャリアについての考え、③就職や将来に関する親の関与から示していく。

### ①大学卒業後の進路希望

図表 5-1 は、大学卒業後の進路希望について、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」を参考に、複数回答可として尋ねたものである。



全体で見ると、「民間企業に就職する」が 52.6%、「大学院などに進学する（海外含む）」が 49.4%であった。ただし、「大学院などに進学する（海外含む）」に関しては、理学部では7割を超える一方で、生活科学部や文教育学部では4割程度といった学部による傾向もみられる。この傾向は、平成 24 年度新生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P30 参照）。

これらの進路希望に「公務員になる」「教師などの専門職につく」が続くが、この結果も平成 24 年度新生と同様である（お茶の水女子大学 2012, P30 参照）。

また、「決めていない」は全体の 13.0%に過ぎないことから、本学の新生は、大学入学時点で、卒業後の進路について、ある程度の希望を持っている学生が多数であることがわかる。この傾向も、平成 24 年度新生と同様である（お茶の水女子大学 2012, P30 参照）。

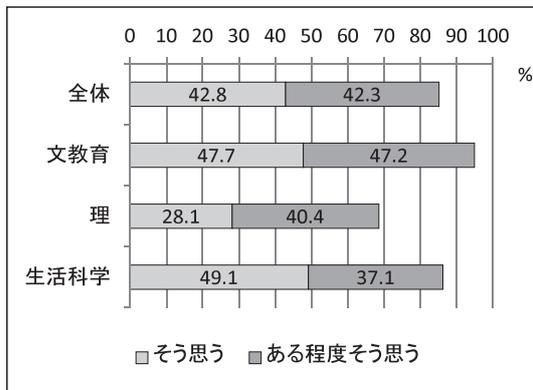
### ②大学卒業後のキャリアについての考え

全国大学生調査コンソーシアム/東京大学大学経営・政策研究センターが 2007 年に実施した「全国大学生調査」を参考に、「大学卒業後のキャリアについての考え」に関する 9 項目について 3 件法で尋ね、その該当率（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）を示し

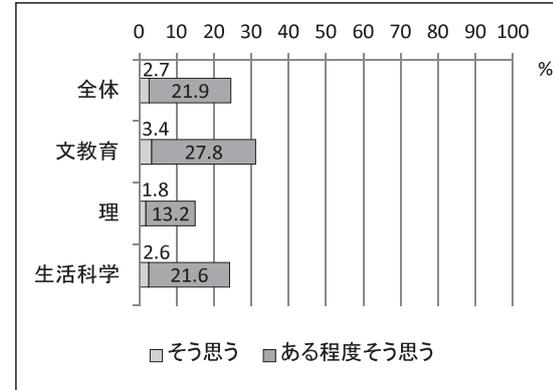
た結果が、図表 5-2 から図表 5-10 である。

まず図表 5-2 から図表 5-5 は、「卒業後の就職」について尋ねた 4 項目についての結果である。

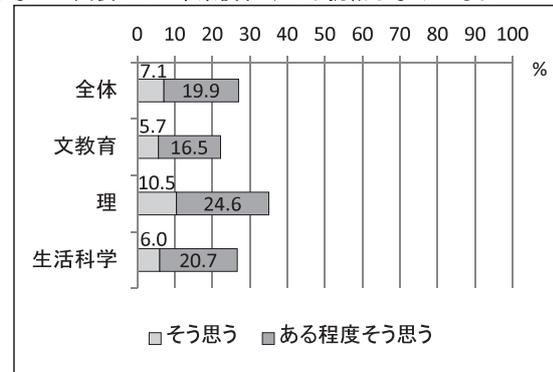
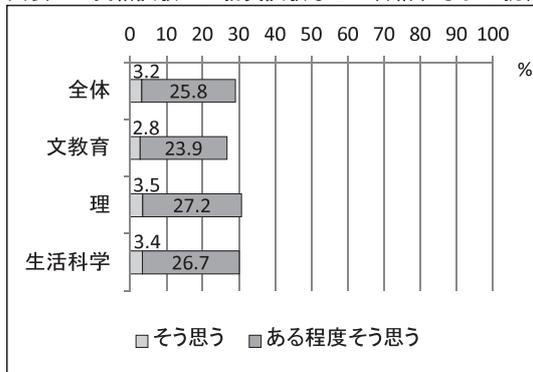
図表 5-2 すぐに就職して正社員・正規の職員になる



図表 5-3 すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない



図表 5-4 資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない 図表 5-5 卒業後すぐには就職しなくてもよい



平成 24 年度新入生同様、「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」「すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない」「卒業後すぐには就職しなくてもよい」は学部による差異が示されている（お茶の水女子大学 2012, P31 参照）。

学部別にみると、理学部では「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」「すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない」が低く、「卒業後すぐには就職しなくてもよい」が高い傾向がみられる。この傾向も平成 24 年度新入生同様である（お茶の水女子大学 2012, P31 参照）。

「全国大学生調査」における各項目の該当率は、「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」84.7%、「すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない」37.7%、「資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない」31.8%、「卒業後すぐには就職しなくてもよい」30.8%であり、「すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない」「卒業後すぐには就職しなくてもよい」の本学新入生の該当率の低さ、換言すれば、大学卒業後すぐの正規雇用志向がうかがえる。

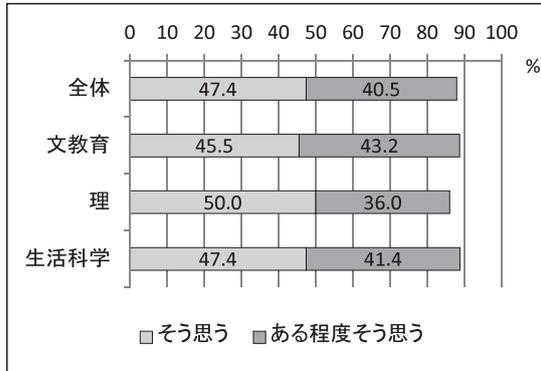
続いて、図表 5-6 から図表 5-8 は、「就職後の勤務・退職」について尋ねた 3 項目についての結果である。

いずれの項目も学部による大きな差異はみられず、「最初の就職先にできるだけ長く勤める」は全体のおよそ 9 割に及んでいる。その一方で、「何年かして転職や独立をする」「結婚・出産したら仕事をやめる」は 3~4 割にとどまっており、「そう思う」との回答は極めて少数であることも示されている。これらの結果は、平成 24 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P32 参照）。

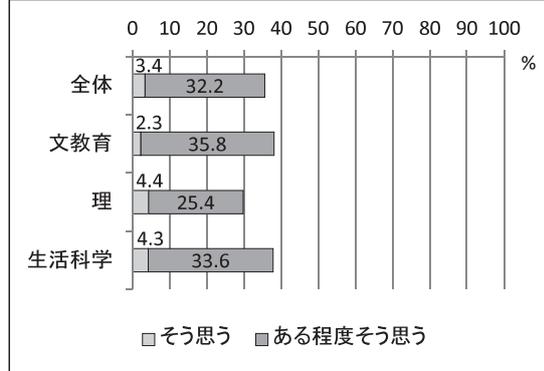
「全国大学生調査」における各項目の該当率は、「最初の就職先にできるだけ長く勤め

る」83.3%、「何年かして転職や独立をする」55.1%、「結婚・出産したら仕事をやめる（女性のみ）」38.1%であり、「何年かして転職や独立をする」の本学新入生の該当率の低さ、換言すれば、安定志向がうかがえる。

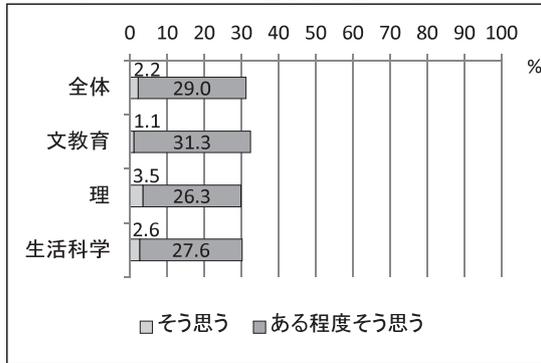
図表 5-6 最初の就職先にできるだけ長く勤める



図表 5-7 何年かして転職や独立をする

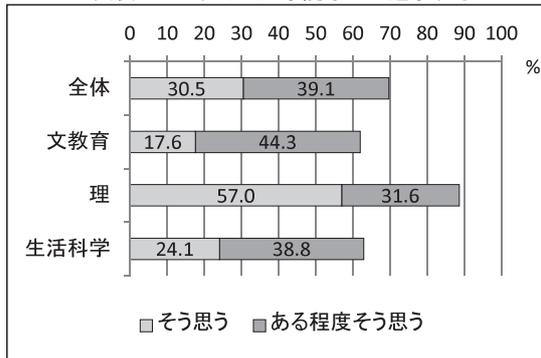


図表 5-8 結婚・出産したら仕事をやめる

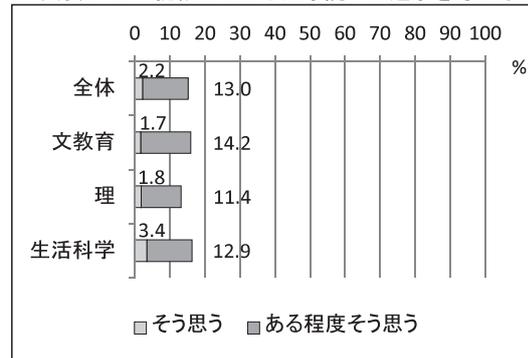


最後に、図表 5-9 および図表 5-10 は、「卒業後・就職後の大学院進学」について尋ねた 2 項目についての結果である。

図表 5-9 すぐに大学院などに進学する



図表 5-10 就職してから大学院への進学を考える



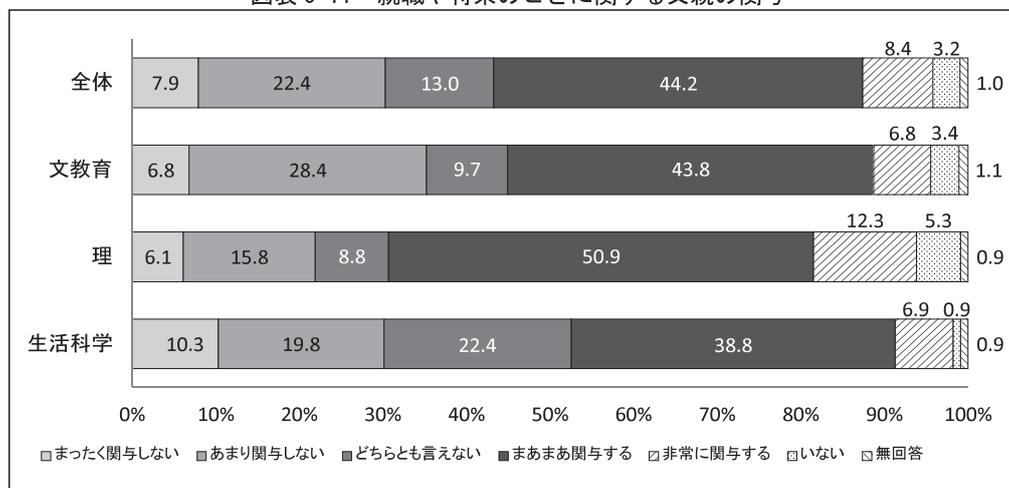
「すぐに大学院などに進学する」は、全体のおよそ 7 割であるが、理学部は他学部比べて明らかに高い。これに対し「就職してから大学院への進学を考える」は、学部による大きな差異はみられなかった。これらの結果は、平成 24 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P32 参照）。

「全国大学生調査」における各項目の該当率は、「すぐに大学院などに進学する」45.7%、「就職してから大学院への進学を考える」26.3%であり、「すぐに大学院などに進学する」の本学新入生の該当率の高さがうかがえる。

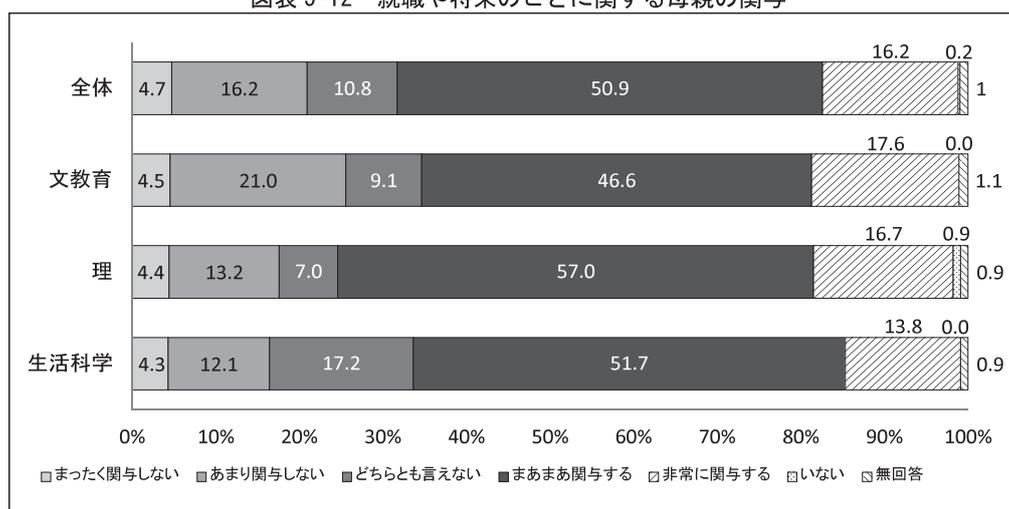
### ③就職や将来に関する親の関与

就職や将来に関して、図表 5-11 は父親の関与を、図表 5-12 母親の関与を 5 件法で尋ねた結果である。

図表 5-11 就職や将来のことに関する父親の関与



図表 5-12 就職や将来のことに関する母親の関与



本学の新生は、就職や将来のことに関して、全体の半数以上が父親の関与があり（「非常に関与する」＋「まあまあ関与する」と回答）、全体のおよそ 2/3 が母親の関与がある。これらの結果は、平成 24 年度新生でもほぼ同様に示されており（お茶の水女子大学 2012, P34 参照）、大学卒業後の進路に対する支援を行う際には、保護者の存在も視野に入れ、保護者とともに支援にあたるのが有益な支援につながると思われる。

平成 24 年度新生では学部による大きな差異がみられなかったが（お茶の水女子大学 2012, P34 参照）、今年度の新生では、特に理学部で、父親・母親ともに関与の程度が目立つ傾向もみられた。

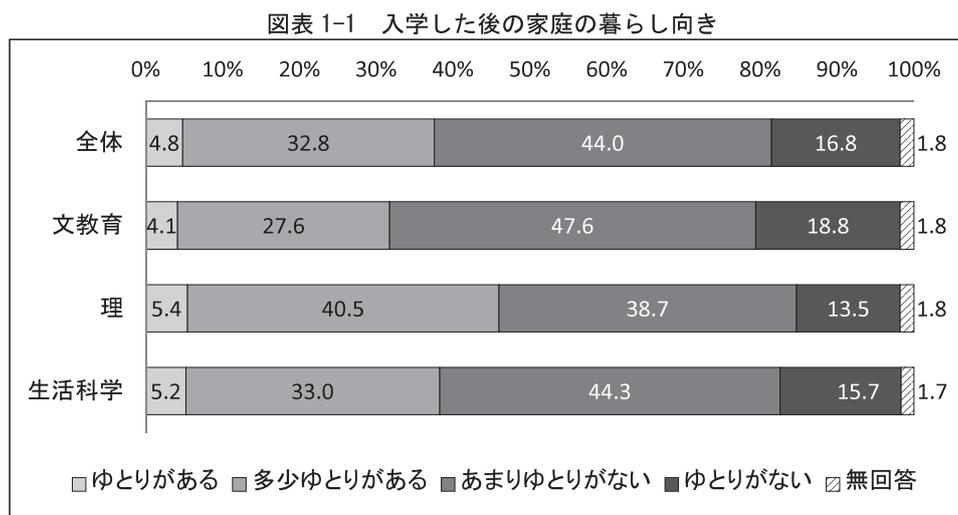
## 第2章 「新入生の保護者調査」の結果報告

### (1) 家庭の暮らし向き

本節では、新入生の家庭の暮らし向きについて、①大学入学後の家庭の暮らし向き、②家計支持者の職業、③家計支持者の年収、④世帯年収から示していく。

#### ①大学入学後の家庭の暮らし向き

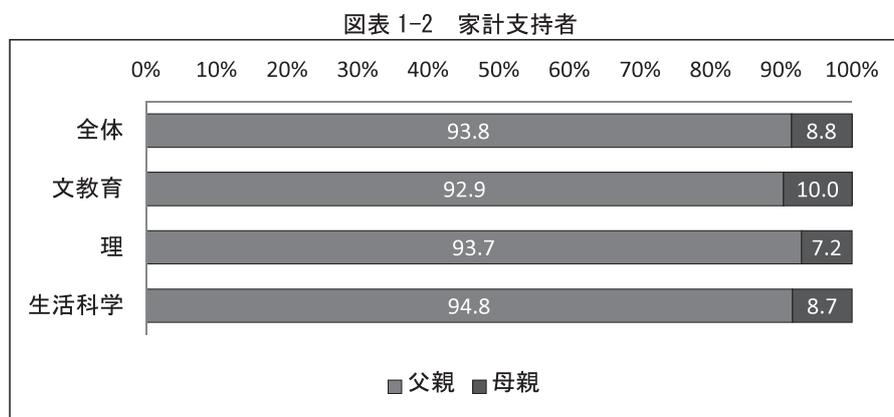
図表 1-1 は、新入生が大学に入学した後の家庭の暮らし向きを「ゆとりがある」「多少ゆとりがある」「あまりゆとりがない」「ゆとりがない」の4件法で尋ねた結果である。



全体で見ると、「あまりゆとりがない」が 44.0%と最も多く、「ゆとりがない」と合わせると全体の6割を超えている。平成24年度新入生の保護者でも同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学2012, P35 参照）。

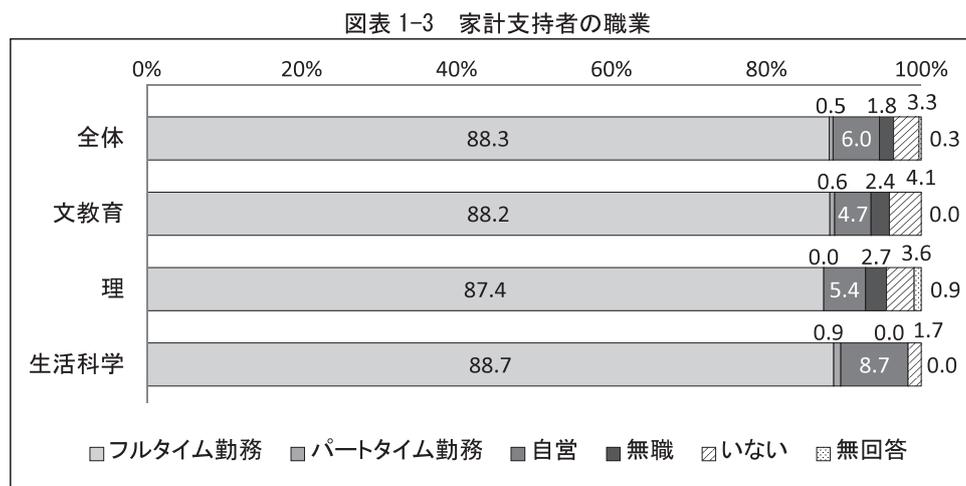
#### ②家計支持者の職業

図表 1-2 は、新入生の家計支持者について、「父親」「母親」「その他」別に示した結果である。



新入生の家計支持者は、全体の93.8%が「父親」であり、学部別にみてもその傾向に大差はみられない。平成24年度新入生の保護者でも、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学2012, P35 参照）。

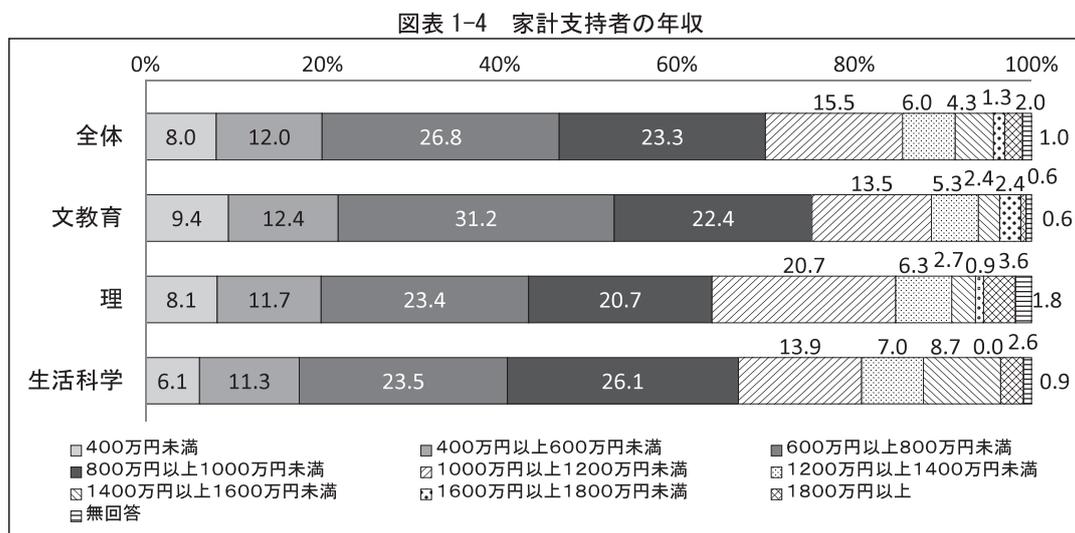
図表 1-3 は、家計支持者の職業について、「勤労者」「個人営業」「法人経営者・自由業者」「農林水産業者」「その他」「働いていない」別に示した結果である。



新入生の家計支持者の職業は、全体の 88.3%が「勤労者」であり、学部別にみてもその傾向に大差はみられない。平成 24 年度新入生の保護者でも、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2012, P36 参照）。

### ③家計支持者の年収

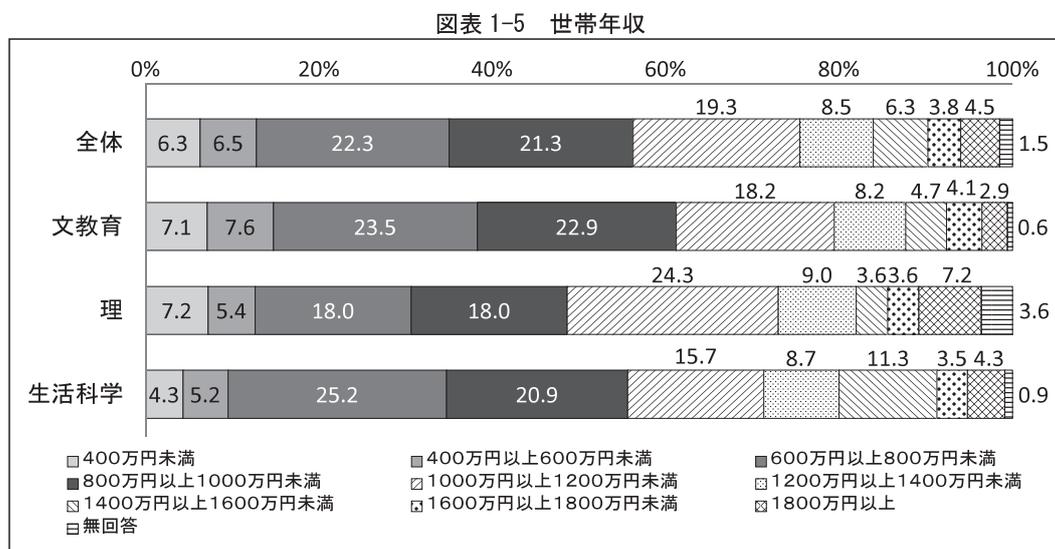
図表 1-4 は、新入生の家計支持者の年収について、「400 万円未満」「400 万円以上 600 万円未満」「600 万円以上 800 万円未満」「800 万円以上 1000 万円未満」「1000 万円以上 1200 万円未満」「1200 万円以上 1400 万円未満」「1400 万円以上 1600 万円未満」「1600 万円以上 1800 万円未満」「1800 万円以上」の中から尋ねた結果である。



全体で見ると、「600 万円以上 800 万円未満」が 26.8%と最も多く、続いて「800 万円以上 1000 万円未満」「1000 万円以上 1200 万円未満」の順であった。平成 24 年度新入生の保護者でも、同様の順であった（お茶の水女子大学 2012, P36 参照）。

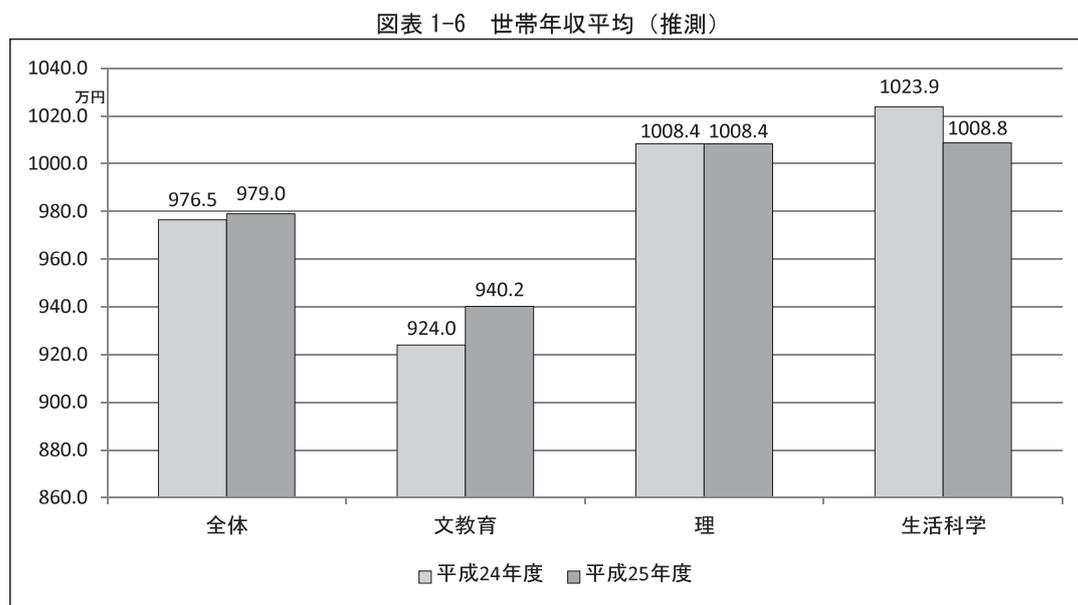
#### ④世帯年収

さらに、新入生の家庭の世帯年収について、家計支持者同様に尋ねた結果が図表 1-5 である。



全体で見ると、平成 24 年度新入生の保護者では「800 万円以上 1000 万円未満」が 22.1% と最も多く、次いで「1000 万円以上 1200 万円未満」「600 万円以上 800 万円未満」の順であったが（お茶の水女子大学 2012, P37 参照）、今年度の新入生の保護者では「600 万円以上 800 万円未満」が 22.3% と最も多く、次いで、「800 万円以上 1000 万円未満」「1000 万円以上 1200 万円未満」の順へと変化している。

各カテゴリーの中央値に基づき、平成 24 年度および今年度の新入生の家庭の世帯年収平均（推測）を算出したものが図表 1-6 である。



全体で見れば 25,000 円増えており、文教育学部では 162,000 円も増えている。

とはいえ、平成 24 年度・今年度ともに、文教育学部は他学部比べて世帯年収平均が明らかに低く、世帯年収平均が増えている今年度の新入生でみても、他学部とは 700,000 円程度の差が示されている。

日本学生支援機構による「平成 22 年度学生生活調査」によれば、家庭の年間収入別学生数の割合（大学昼間部）は、図表 1-7 のとおりである。

図表 1-7 家庭の年間収入別学生数の割合（大学昼間部）

区分		家庭の年間収入															計	平均年間 収入額 千円
		200万円 未満	200 ～ 300	300 ～ 400	400 ～ 500	500 ～ 600	600 ～ 700	700 ～ 800	800 ～ 900	900 ～ 1,000	1,000 ～ 1,100	1,100 ～ 1,200	1,200 ～ 1,300	1,300 ～ 1,400	1,400 ～ 1,500	1,500 万円 以上		
男	国立	4.0	4.6	6.8	9.0	8.5	9.5	15.6	9.7	6.7	9.5	3.4	3.2	2.6	1.0	5.6	100.0	7,950
	公立	5.0	5.3	8.3	8.6	12.4	11.2	18.5	8.8	5.9	6.5	2.3	1.8	1.4	0.7	3.2	100.0	7,000
	私立	4.2	4.5	7.4	8.8	10.2	10.1	10.1	17.8	5.9	7.2	3.1	2.7	1.4	0.9	5.8	100.0	7,880
女	国立	5.3	4.9	6.8	7.7	7.5	10.0	17.0	9.3	6.1	8.3	3.5	3.4	1.8	1.7	6.7	100.0	8,060
	公立	5.2	5.4	7.5	8.3	10.7	10.7	16.7	10.0	6.9	6.5	2.4	2.7	1.7	1.0	4.4	100.0	7,220
	私立	4.0	4.4	6.0	7.4	9.2	9.2	10.3	18.5	6.2	8.3	3.7	3.4	1.8	1.0	6.6	100.0	8,140
平均	国立	4.5	(9.2) 4.7	(16.0) 6.8	(24.5) 8.5	(32.6) 8.1	(42.3) 9.7	(58.5) 16.2	(68.1) 9.6	(74.6) 6.5	(83.7) 9.1	(87.2) 3.5	(90.5) 3.3	(92.8) 2.3	(94.1) 1.3	(100.0) 5.9	100.0	7,990
	公立	5.1	(10.5) 5.4	(18.4) 7.9	(26.9) 8.5	(38.3) 11.4	(49.2) 10.9	(66.7) 17.5	(76.2) 9.5	(82.6) 6.4	(89.1) 6.5	(91.4) 2.3	(93.7) 2.3	(95.2) 1.5	(96.1) 0.9	(100.0) 3.9	100.0	7,120
	私立	4.1	(8.5) 4.4	(15.2) 6.7	(23.4) 8.2	(33.1) 9.7	(42.8) 9.7	(53.0) 10.2	(71.1) 18.1	(77.1) 6.0	(84.8) 7.7	(88.2) 3.4	(91.3) 3.1	(92.9) 1.6	(93.9) 1.0	(100.0) 6.1	100.0	8,010
	計	4.2	(8.7) 4.5	(15.5) 6.8	(23.7) 8.2	(33.2) 9.5	(42.9) 9.7	(54.5) 11.6	(70.7) 16.2	(76.8) 6.1	(84.7) 7.9	(88.1) 3.4	(91.2) 3.1	(92.9) 1.7	(93.9) 1.0	(100.0) 6.1	100.0	7,970

(注) ( ) は、家庭の収入階層別学生数の割合の累計を示す。

出所) 日本学生支援機構「平成 22 年度学生生活調査」

家庭の年間平均収入額は、全体で見れば 797 万円、本学の学生が該当する国立大学・女子に限れば 806 万円であり、本学新入生の家庭の世帯年収は、国立大学・女子の年間平均収入額よりも、さらにいえば、私立大学を含めた全体の年間平均収入額よりも高いことがうかがえる（図表 1-6 参照）。

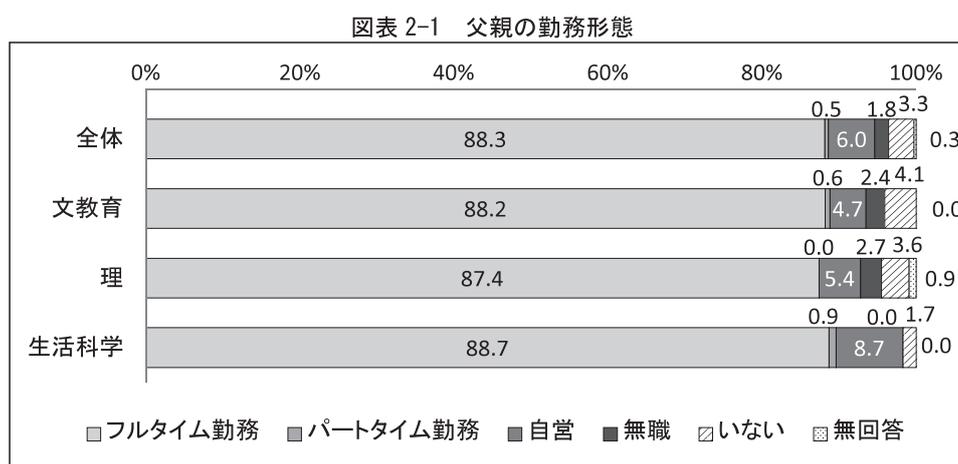
図表 1-7 からは、家庭の年間収入が 1000 万円をこえる家庭が、全体の 23.2%、国立大学・女子の 25.4%であることがわかる。それに対し図表 1-5 からは、本学新入生の家庭のうち、少なくとも 43.9%が、世帯年収 1000 万円をこえていることが示されており、世帯年収の高い家庭が、全国水準に比べて、本学新入生の家庭には多いことも明らかである。平成 24 年度新入生でも、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2012, P37-38 参照）。

## (2) 親の職業・学歴

本節では、新入生の親の職業や学歴について、①親の勤務形態、②親の職種、③親の学歴から示していく。

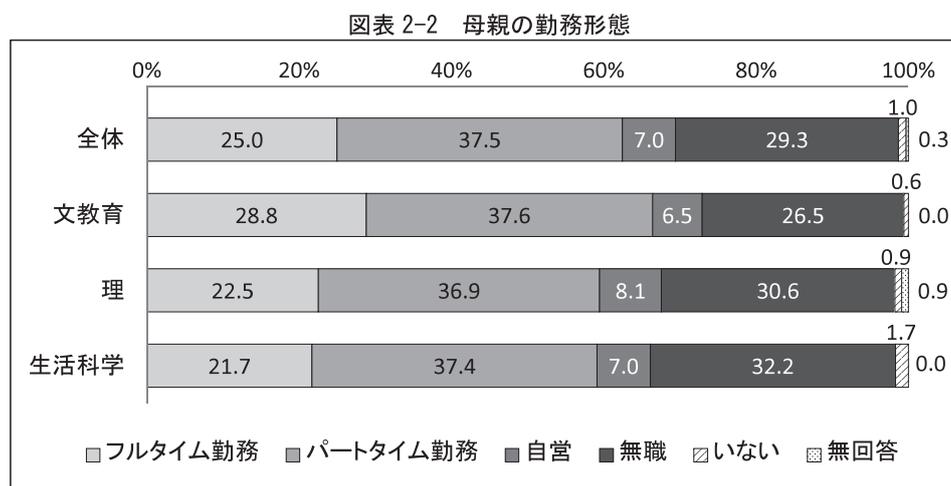
### ①親の勤務形態

図表 2-1 は、新入生の父親の勤務形態について、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」「自営」「無職」「いない」別に尋ねた結果である。



新入生の父親の勤務形態は、全体のおよそ9割が「フルタイム勤務」であり、学部別にも大きな差異はみられない。平成24年度新入生の父親も同様の結果が示されている（お茶の水女子大学2012, P39 参照）。

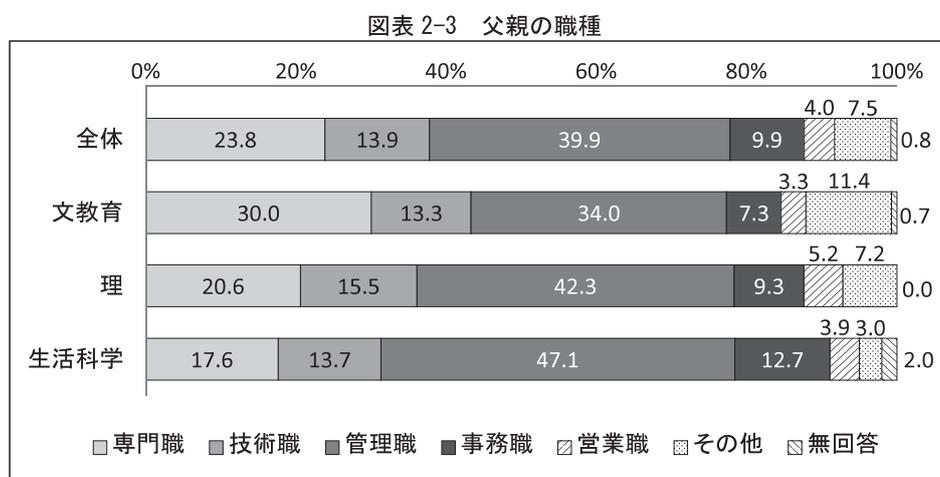
同様に、新入生の母親の勤務形態について尋ねた結果が図表 2-2 である。



平成24年度新入生の母親の勤務形態は、全体で見ると「無職」が35.7%と最も多く、次いで「パートタイム勤務」「フルタイム勤務」の順であったが（お茶の水女子大学2012, P39 参照）、今年度の新入生の母親は、「パートタイム勤務」が全体の37.5%とおおよそ4割に及び、続いて「無職」「フルタイム勤務」の順となっている。この結果は、学部別にみても大きな差異がみられない。

## ②親の職種

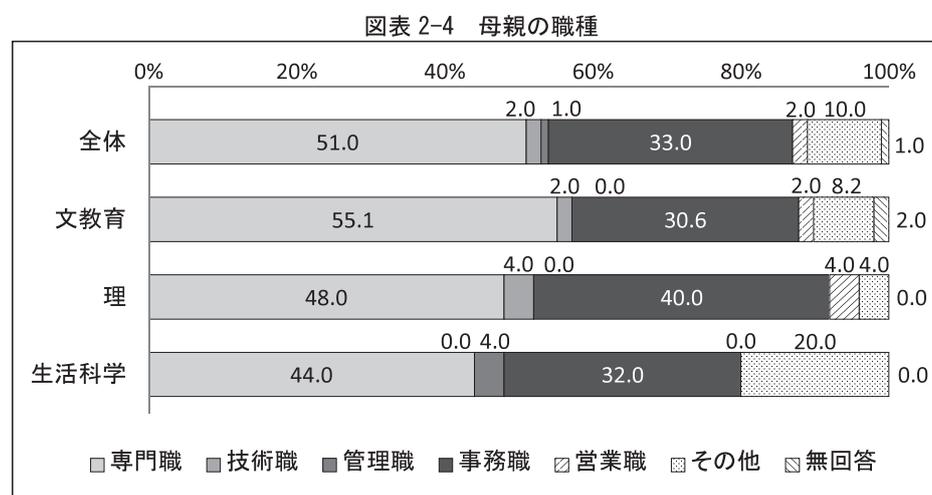
図表 2-3 は、新入生の父親の勤務形態について「フルタイム勤務」と回答した者に尋ね、「専門職」「技術職」「管理職」「事務職」「営業職」「その他」別に示した結果である。



新入生の父親の職種は、全体で見ると、「管理職」が 39.9%と最も多く、次いで「専門職」「技術職」の順となった。平成 24 年度新入生の父親も、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2012, P40 参照）。

ただし学部別にみると、文教育学部では「管理職」と「専門職」で 4.0 ポイント差であるのに対し、生活科学部では「管理職」と「専門職」で 29.5 ポイントもの差がみられる。

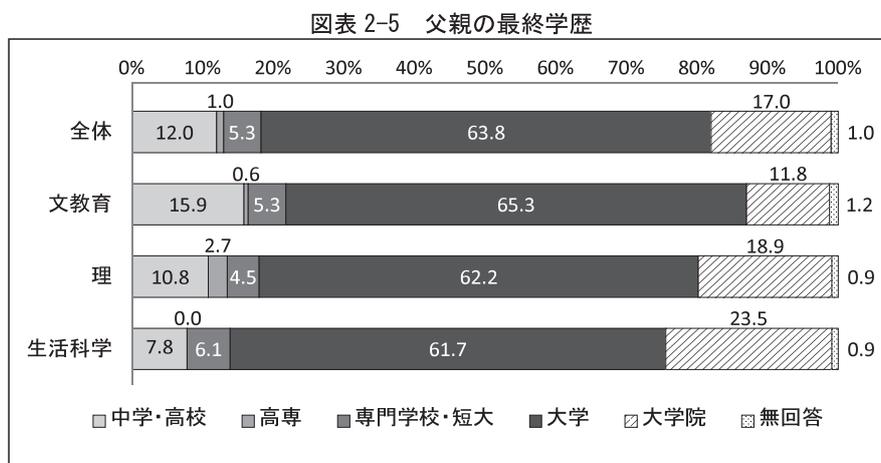
同様に、新入生の母親の勤務形態について「フルタイム勤務」と回答した者に尋ねた結果が図表 2-4 である。



新入生の母親の職種は、全体で見ると、「専門職」が 51.0%を占めており、「事務職」がそれに続いて 33.0%となっている。これらの傾向は平成 24 年度新入生の母親でもみられるが、今年度新入生の母親は「管理職」が 5.0 ポイント以上減少している（お茶の水女子大学 2012, P40 参照）。

### ③親の学歴

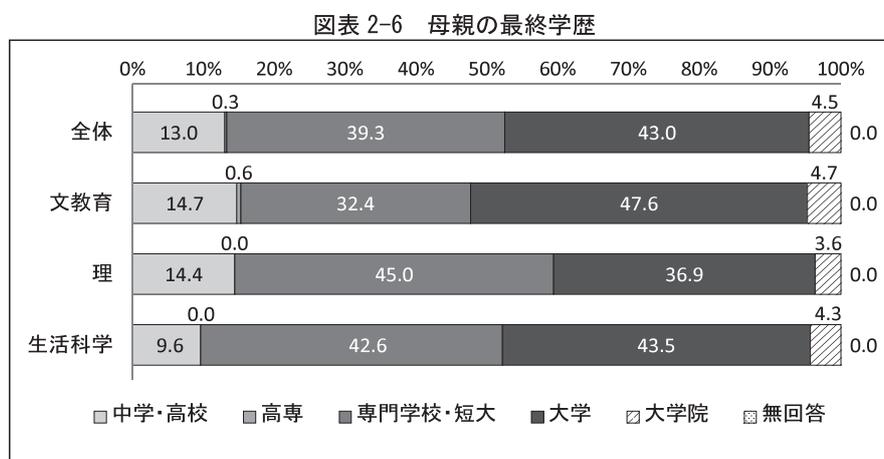
図表 2-5 は、新入生の父親の最終学歴について尋ね、「大学院」「大学」「専門学校・短大」「高等専門学校」「中学・高校」別に示した結果である。



新入生の父親の最終学歴は、全体で見ると、「大学」が 63.8%と最も多く、「大学院」「中学・高校」の順が続いている。平成 24 年度新入生の父親も、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2012, P41 参照）。

ただし学部別にみると、「大学院」では生活科学部と文教育学部で 10 ポイント以上の開きがみられる。

同様に、新入生の母親の最終学歴について尋ねた結果が図表 2-6 である。



新入生の母親の最終学歴は、全体で見ると、「大学」「専門学校・短大」がそれぞれ 4 割程度を占め、それに「中学・高校」が続く結果となっている。平成 24 年度新入生の母親も、ほぼ同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2012, P41 参照）。

ただし学部別にみると、「大学」では文教育学部と理学部で 10 ポイント以上の開きがみられる。

### (3) 大学入学後の経済・生活支援

本節では、新入生の大学入学後の経済・生活支援について、①奨学金・学費免除等の制度の「利用経験の有無」「認知」「利用希望」、②学生寮に関する「認知」「入寮希望」から示していく。

#### ①奨学金・学費免除等の制度の「利用経験の有無」「認知」「利用希望」

図表 3-1 は、本学に入学予定のご子女が、これまでに受けたことのある奨学金・学費免除等の制度について、複数回答可として尋ねた結果である。

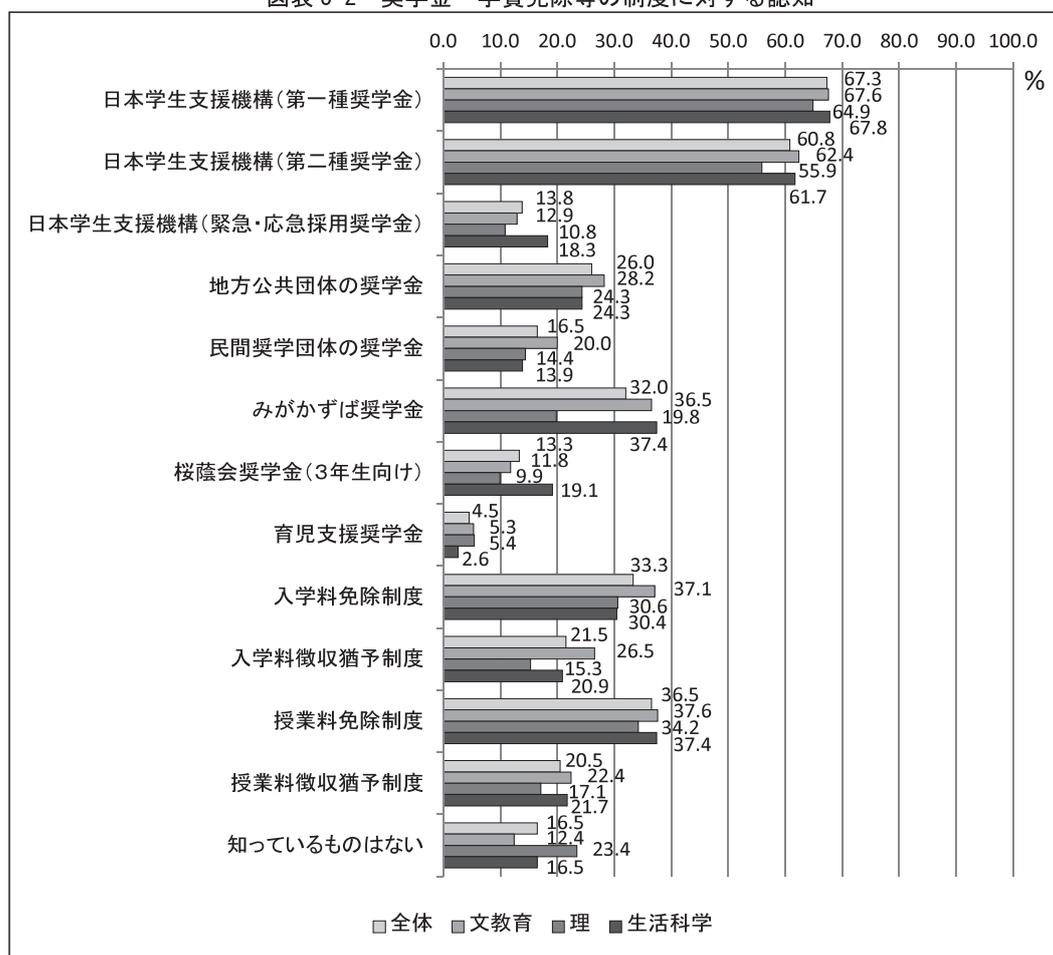
図表 3-1 ご子女がこれまでに受けたことのある奨学金・学費免除等の制度 (%)

	日本学生支援機構の奨学金	地方公共団体の奨学金	学校独自の奨学金	民間奨学団体の奨学金	新聞社の奨学金	その他の奨学金	学費免除	特待生
全体	0.8	2.0	2.5	1.5	0.0	0.8	2.0	4.5
文教育	1.8	1.2	2.4	2.4	0.0	1.2	2.9	2.9
理	0.0	1.8	4.5	1.8	0.0	0.9	0.9	6.3
生活科学	0.0	3.5	0.9	0.0	0.0	0.0	1.7	5.2

いずれもごく少数であり、他に比べれば利用率が高い「特待生」も、必ずしも経済的な支援を必要として受けたとは限らない。平成 24 年度新入生の保護者でも、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2012, P42 参照）。

続いて図表 3-2 は、奨学金・学費免除等の制度の認知について、複数回答可として尋ねた結果である。

図表 3-2 奨学金・学費免除等の制度に対する認知

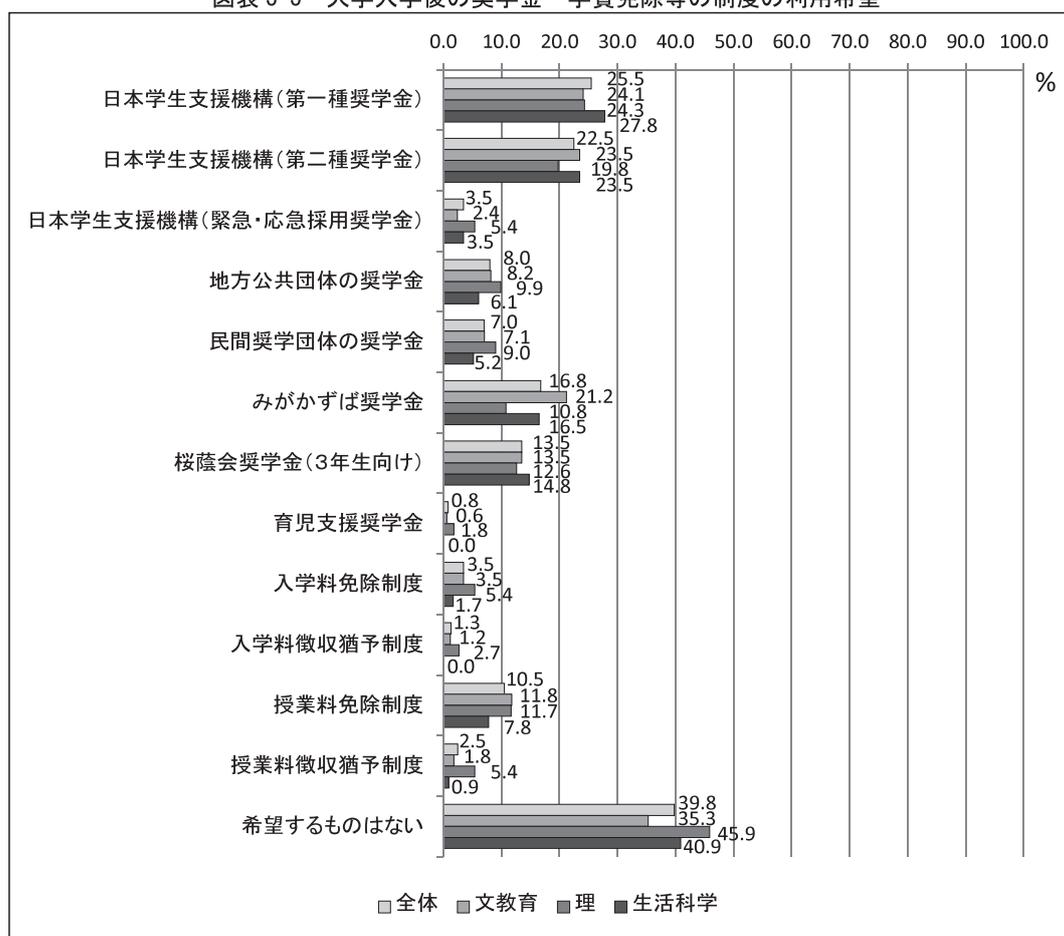


奨学金制度に関しては、日本学生支援機構による奨学金の認知がもっとも高く、第一種・第二種ともに全体の6割を超えている。また、本学の独自奨学金「みがかずば奨学金<sup>2</sup>」の認知の拡がりもみられる。他の奨学金は平成24年度新入生の保護者と大差ないが、「みがかずば奨学金」は全体でポイント以上増加し、日本学生支援機構による奨学金に次ぐ認知率である（お茶の水女子大学2012, P42-43 参照）。

学費免除等の制度に関しては、免除制度に対する認知が全体の3~4割に及んでいるのに対し、猶予制度に対する認知は2割程度であった。平成24年度新入生の保護者でも、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学2012, P42-43 参照）。

続いて図表3-3は、大学入学後の奨学金・学費免除等の制度の利用希望について、複数回答可として尋ねた結果である。

図表 3-3 大学入学後の奨学金・学費免除等の制度の利用希望



奨学金制度に関しては、日本学生支援機構による奨学金の希望が、第一種・第二種ともに最も高く、全体のおよそ2~3割のみみられる。学費免除等の制度に関しては、「授業料免除制度」が1割を超えているものの、他はごくわずかに過ぎないことが示されている。

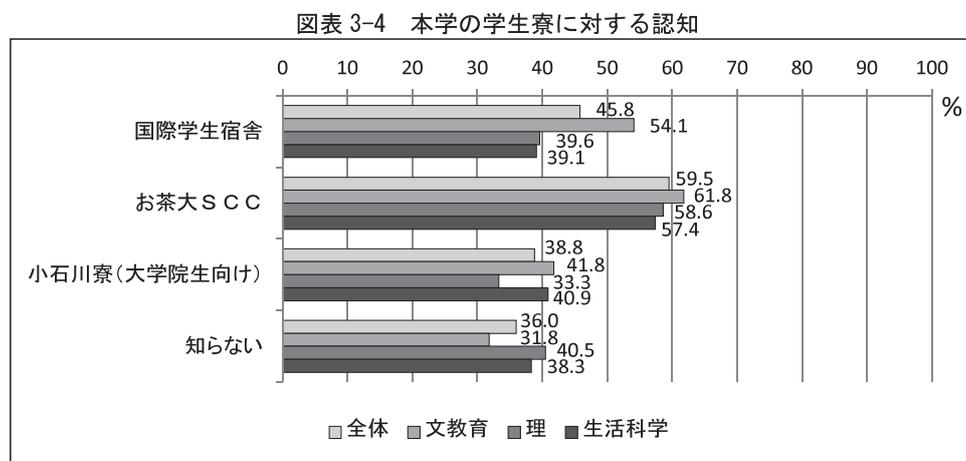
これらの結果は、平成24年度新入生の保護者と同様であった（お茶の水女子大学2012, P43-44 参照）。ただし「希望するものはない」は、平成24年度新入生の保護者は

<sup>2</sup> 経済的理由で進学をあきらめざるを得ない生徒を支援しようとする取り組みであり、大学受験生を対象に合格決定前に奨学金の内定を出す予約採用給付奨学金制度として、平成23年度より国立大学では初めて導入した制度である。「条件を満たした上で合格すると受けられる奨学金（入学前予約型）」であり、給付型（返済不要）としている。詳細は <http://www.ocha.ac.jp/campuslife/scholarship/migakazuba.html>。

全体の 46.0%であったが、今年度新入生の保護者では 39.8%と減少している。

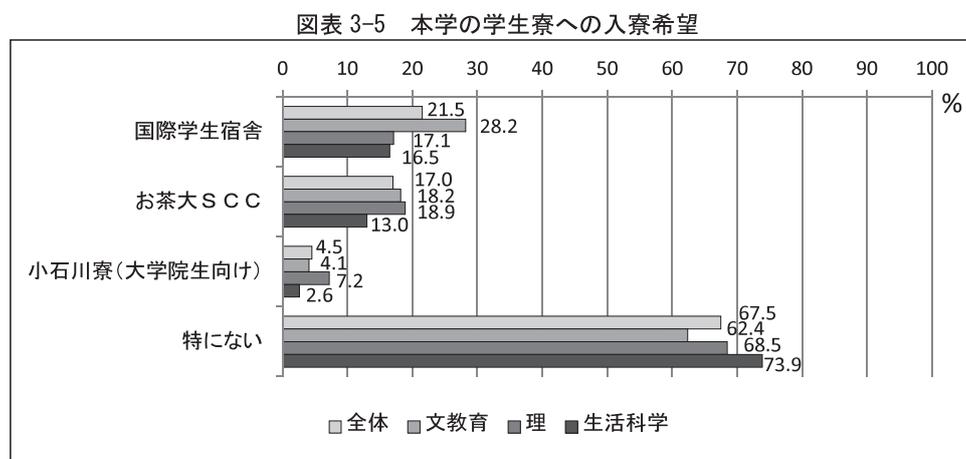
## ②学生寮に関する「認知」「入寮希望」

図表 3-4 は、本学の学生寮の認知について、複数回答可として尋ねた結果である。



全体で見ると、「お茶大 SCC」が 59.5%と最も多い。「国際学生宿舎」がそれに続くが、文教育学部と他学部で 15 ポイントほどの開きがみられる。これらの傾向は、平成 24 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P44-45 参照）。

続いて図表 3-5 は、本学の学生寮への入寮の希望について、複数回答可として尋ねた結果である。



全体で見ると、「特にない」は 67.5%であり、平成 24 年度新入生の保護者とはほぼ同様の結果である（お茶の水女子大学 2012, P45 参照）。ただし生活科学部と文教育学部では 10 ポイント以上の開きがみられる。

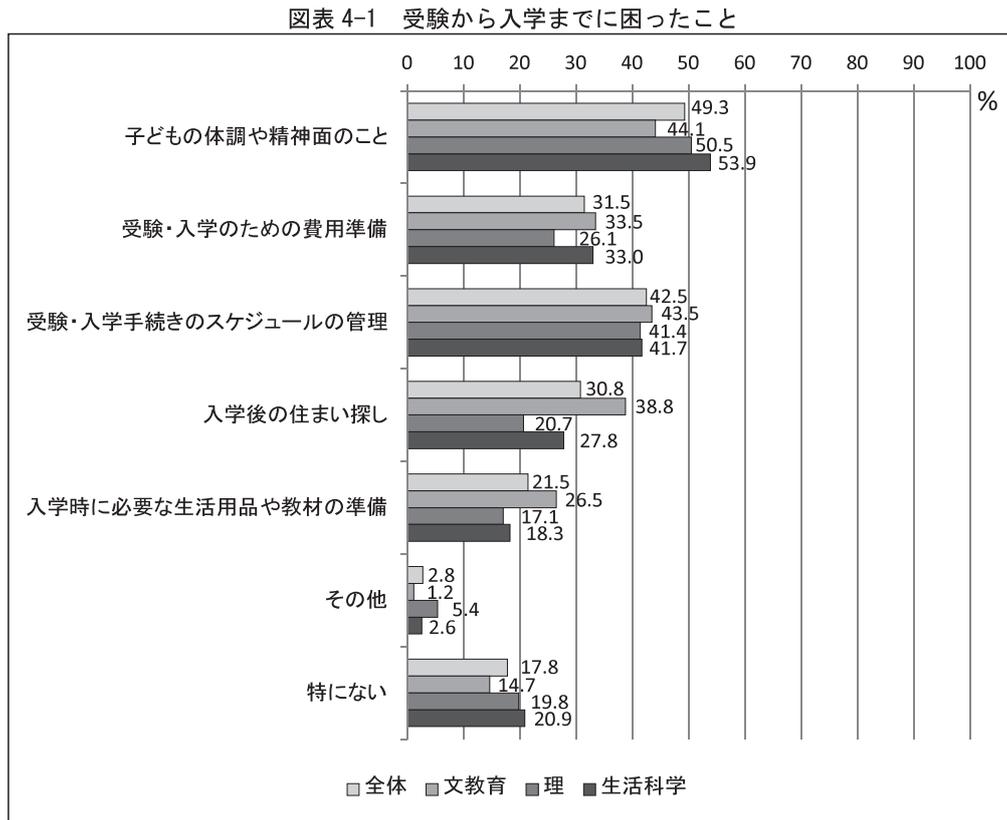
また、ご子女が入学後すぐに入寮する可能性のある 2 つの寮に対しては、「国際学生宿舎」「お茶大 SCC」の順となっており、認知の順（図表 3-4 参照）とは逆の結果となっている。この結果は平成 24 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P45 参照）。

#### (4) 大学生活の不安・心配事

本節では、ご子女の大学生活の不安・心配事について、①受験から入学までに困ったこと、②大学生活が始まって心配なこと、③本学の学生支援活動で期待するものから示していく。

##### ①受験から入学までに困ったこと

図表 4-1 は、「保護者に聞く新入生調査」を参考に、受験から入学までに困ったことについて、複数回答可として尋ねた結果である。



全体で見ると、「子どもの体調や精神面のこと」が 49.3%と最も多く、「受験・入学手続きのスケジュールの管理」がそれに続いている。この結果は、平成 24 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P46 参照）。

また、「特になし」は全体の 17.8%であり、平成 24 年度新入生の保護者と大きな差異はみられない（お茶の水女子大学 2012, P46 参照）。

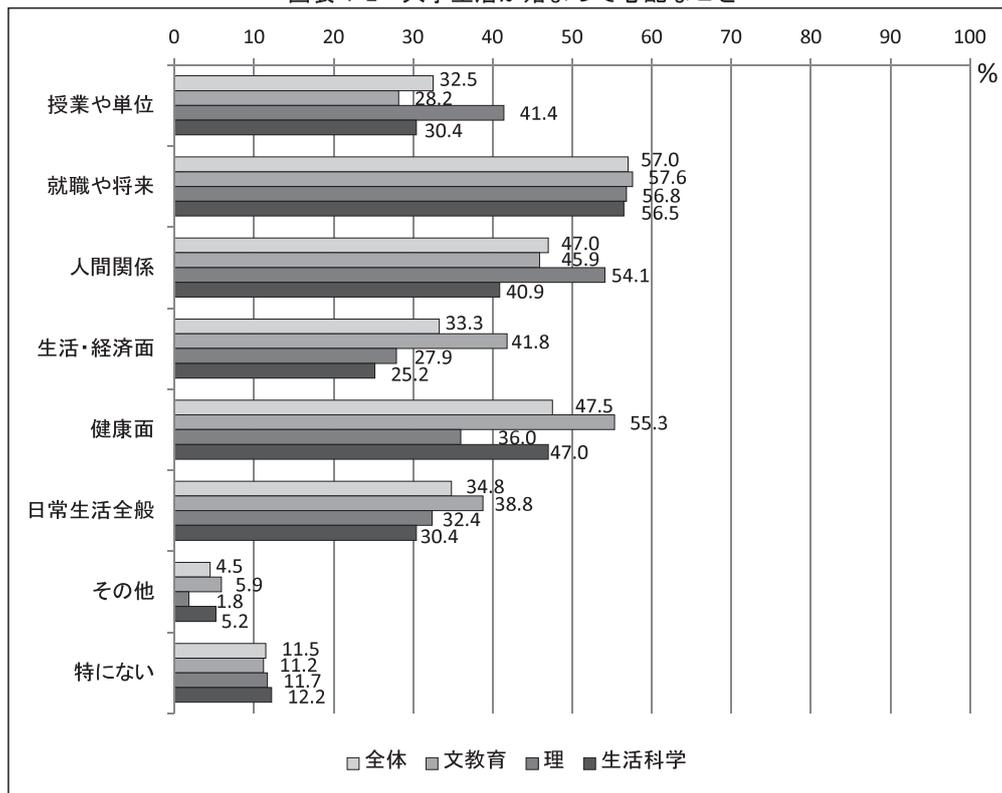
##### ②大学生活が始まって心配なこと

図表 4-2 は、「保護者に聞く新入生調査」を参考に、大学生活が始まって心配なことについて、複数回答可として尋ねたものである。

全体で見ると、「就職や将来」が 57.0%と最も多く、「健康面」「人間関係」がそれに続く結果となっている。この結果は、平成 24 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P47 参照）。

学部別にみると、「就職や将来」に関しては大きな差異はみられないが、「健康面」では文教育学部が高く、「人間関係」では理学部が高いといった傾向もみられる。「人間関係」では理学部が高いという結果は、平成 24 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P47 参照）。

図表 4-2 大学生活が始まって心配なこと



「保護者に聞く新入生調査」によれば、「就職や将来」は落ち着く一方で「大学での勉強」への不安は増加しているが（全国大学生活協同組合連合会 2012）、本学の新入生の保護者は依然として「就職や将来」への不安を少なからず感じていることがわかる。

また、「特にない」は全体の 11.5%であり、平成 24 年度新入生の保護者と大きな差異はみられない（お茶の水女子大学 2012, P47 参照）。

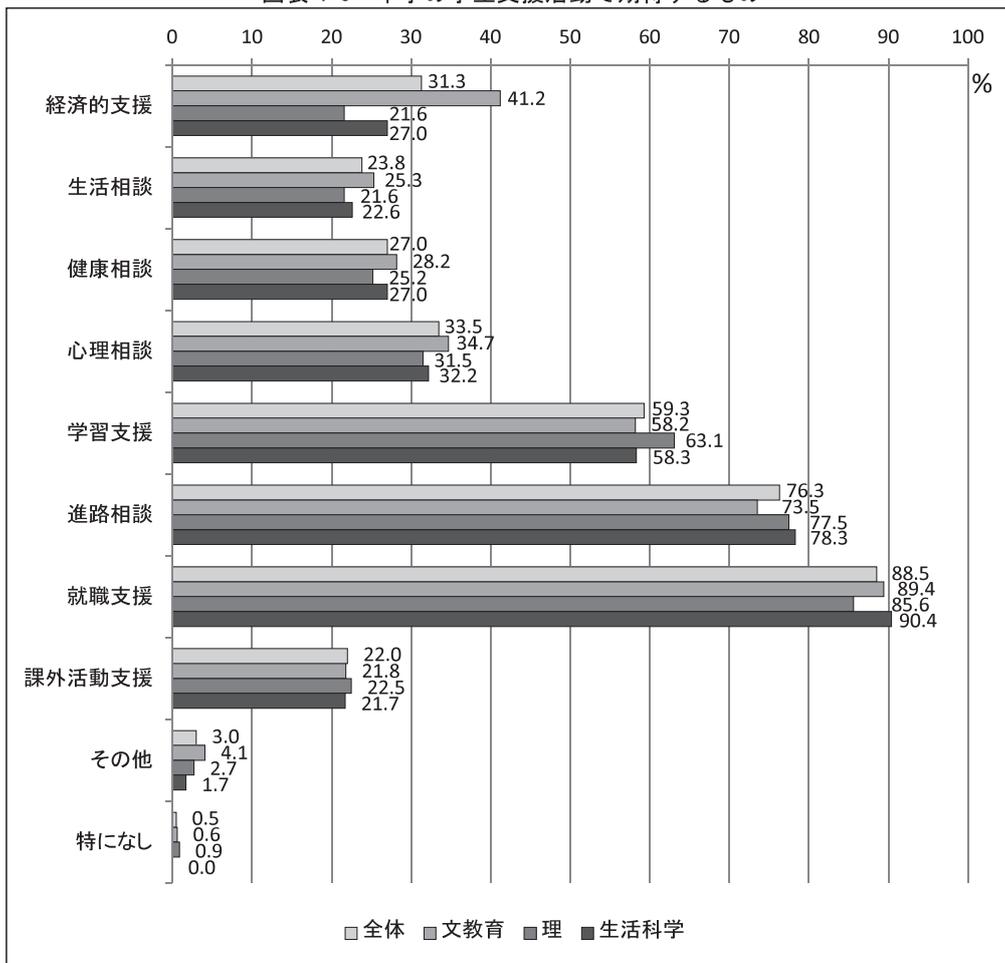
### ③本学の学生支援活動で期待するもの

図表 4-3 は、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」の調査項目を参考に、本学の学生支援活動に期待するものについて、複数回答可として尋ねたものである。

全体で見ると、「就職支援」が最も多く、文教育学部や生活科学部ではおよそ 9 割に達している。次いで、「進路相談」「学習支援」が続いている。この順は、平成 24 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2012, P47-48 参照）。

これらの支援活動は、本学に在学する学部生が「足りないところ」と感じている学生支援活動でもあることから、より一層の支援活動の充実と、その広報に努めていくことが必要であると思われる。

図表 4-3 本学の学生支援活動で期待するもの



## 第3章 新入生および保護者対象調査の結果報告 —奨学金・学生寮に関する集計結果—

### (1) 問題・目的

本章では、新入生および保護者を対象とした調査の中から、奨学金制度および学生寮に関する調査項目を取り上げ、それぞれの現状を明らかにし、昨年度の結果と比較して、今後の課題や展開を示唆することを目的とする。具体的には、以下の2点について明らかにする。

1. 新入生のうち、どのような学生が奨学金を認知しているのか、奨学金の受給経験があるのか、学生寮を認知しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。
2. 保護者のうち、どのような保護者が奨学金を希望しているのか、学生寮への入寮を希望しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。

### (2) 方法

調査対象者、調査時期、質問項目については、調査の概要に記載されているため、省略する。

### (3) 奨学金に関する結果

#### ①新入生の結果

どのような学生が、奨学金について認知しているのかを明らかにするため、「奨学金の認知」×「奨学金の受給経験」、「兄弟姉妹の人数」、「出身地」、「学生寮の認知」のクロス表を作成した。「奨学金の認知」、「学生寮の認知」は、それぞれの選択肢の中で、一つでも認知していれば「知っている」とした。結果を表1-1～1-4に示す。

表1-1 奨学金受給経験 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
奨学金受給経験	あり	度数 総和の%	42 76.4%	13 23.6%	55 100.0%
	なし	度数 総和の%	232 64.3%	129 35.7%	361 100.0%
合計		度数 総和の%	274 65.9%	142 34.1%	416 100.0%

これまでの奨学金経験と奨学金認知度間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度の結果とは異なるものであった。

表 1-2 兄弟姉妹人数 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
兄弟姉妹人数	2人	度数	152	81	233
		総和の %	65.2%	34.8%	100.0%
	3人	度数	63	30	93
		総和の %	67.7%	32.3%	100.0%
	4人	度数	11	5	16
		総和の %	68.8%	31.3%	100.0%
5人	度数	3	1	4	
	総和の %	75.0%	25.0%	100.0%	
非該当	度数	43	19	62	
	総和の %	69.4%	30.6%	100.0%	
不明	度数	2	0	2	
	総和の %	100.0%	0.0%	100.0%	
合計		度数	274	136	410
		総和の %	66.8%	33.2%	100.0%

兄弟姉妹の人数と奨学金認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 1-3 出身地 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
出身地	国内	度数	271	128	399
		総和の %	67.9%	32.1%	100.0%
	海外	度数	1	6	7
		総和の %	14.3%	85.7%	100.0%
不明	度数	2	2	4	
	総和の %	50.0%	50.0%	100.0%	
合計		度数	274	136	410
		総和の %	66.8%	33.2%	100.0%

出身地が国内である場合、奨学金認知度は高く、出身地が海外の場合、奨学金の認知度は低かった。これは昨年度の結果とは異なるものであった。

表 1-4 学生寮認知 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
学生寮認知	知らない	度数 総和の %	47 48.0%	51 52.0%	98 100.0%
	知っている	度数 総和の %	227 71.4%	91 28.6%	318 100.0%
合計		度数 総和の %	274 65.9%	142 34.1%	416 100.0%

学生寮について認知している場合は、奨学金の認知度が高いが、学生寮について認知していない場合は、奨学金の認知度が低いと示された。これは昨年度と同様の結果であった。

また、どのような学生が、奨学金の受給経験があるのかを明らかにするため、「奨学金の受給経験」×「兄弟姉妹の人数」、「出身地」、「学生寮に対する認知」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表 2-1～2-3 に示す。

表 2-1 兄弟姉妹人数 と 奨学金受給経験 のクロス表

			奨学金受給経験		合計
			あり	なし	
兄弟姉妹人数	2人	度数 総和の %	30 12.9%	203 87.1%	233 100.0%
	3人	度数 総和の %	13 14.0%	80 86.0%	93 100.0%
	4人	度数 総和の %	2 12.5%	14 87.5%	16 100.0%
	5人	度数 総和の %	1 25.0%	3 75.0%	4 100.0%
	非該当	度数 総和の %	9 14.5%	53 85.5%	62 100.0%
	不明	度数 総和の %	0 0.0%	2 100.0%	2 100.0%
合計		度数 総和の %	55 13.4%	355 86.6%	410 100.0%

兄弟姉妹の人数と奨学金の受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-2 出身地 と 奨学金受給経験 のクロス表

			奨学金受給経験		合計
			あり	なし	
出身地	国内	度数	54	345	399
		総和の %	13.5%	86.5%	100.0%
	海外	度数	1	6	7
		総和の %	14.3%	85.7%	100.0%
	不明	度数	0	4	4
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	55	355	410
		総和の %	13.4%	86.6%	100.0%

出身地と奨学金の受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 2-3 学生寮認知 と 奨学金受給経験 のクロス表

			奨学金受給経験		合計
			あり	なし	
学生寮認知	知らない	度数	13	85	98
		総和の %	13.3%	86.7%	100.0%
	知っている	度数	42	276	318
		総和の %	13.2%	86.8%	100.0%
合計		度数	55	361	416
		総和の %	13.2%	86.8%	100.0%

学生寮についての認知と奨学金の受給経験との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度は学生寮について認知している場合は奨学金の受給経験が多く、学生寮について認知していない場合は、奨学金の受給経験が少ないことが示されていた。

## ②保護者の結果

どのような保護者が、子どもの奨学金を希望しているか明らかにするため、「奨学金希望」×「奨学金の受給経験」、「奨学金の認知」、「学生寮に対する認知」、「世帯年収」、「家計支持者の年収」、「父親の就労形態」、「母親の就労形態」、「家計支持者の属性」、「入学後の暮らし向き」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表3-1～3-9に示す。

表3-1 奨学金受給経験 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
奨学金受給経験	経験なし	度数 総和の%	224 58.3%	160 41.7%	384 100.0%
	経験あり	度数 総和の%	11 34.4%	21 65.6%	32 100.0%
合計		度数 総和の%	235 56.5%	181 43.5%	416 100.0%

過去に奨学金の受給経験がある場合、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表3-2 奨学金認知 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
奨学金認知	知らない	度数 総和の%	95 79.2%	25 20.8%	120 100.0%
	知っている	度数 総和の%	140 47.3%	156 52.7%	296 100.0%
合計		度数 総和の%	235 56.5%	181 43.5%	416 100.0%

奨学金について認知している場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表3-3 学生寮認知 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
学生寮認知	知っている	度数 総和の%	128 46.9%	145 53.1%	273 100.0%
	知らない	度数 総和の%	107 74.8%	36 25.2%	143 100.0%
合計		度数 総和の%	235 56.5%	181 43.5%	416 100.0%

学生寮について認知している場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 3-4 世帯年収 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
世帯年収	400万円未満	度数	1	24	25
		総和の %	4.0%	96.0%	100.0%
	400万円以上 600万円未満	度数	7	18	25
		総和の %	28.0%	72.0%	100.0%
	600万円以上 800万円未満	度数	38	51	89
		総和の %	42.7%	57.3%	100.0%
	800万円以上 1000万円未満	度数	41	43	84
		総和の %	48.8%	51.2%	100.0%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	54	22	76
		総和の %	71.1%	28.9%	100.0%
1200万円以上 1400万円未満	度数	25	9	34	
	総和の %	73.5%	26.5%	100.0%	
1400万円以上 1600万円未満	度数	19	6	25	
	総和の %	76.0%	24.0%	100.0%	
1600万円以上 1800万円未満	度数	13	2	15	
	総和の %	86.7%	13.3%	100.0%	
1800万円以上	度数	16	2	18	
	総和の %	88.9%	11.1%	100.0%	
不明	度数	2	4	6	
	総和の %	33.3%	66.7%	100.0%	
合計		度数	216	181	397
		総和の %	54.4%	45.6%	100.0%

世帯年収が低い場合は、奨学金の希望が多く、世帯年収が高い場合は、奨学金の希望は少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 3-5 家計支持者の年収 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者の 年収	400万円未満	度数	1	31	32
		総和の %	3.1%	96.9%	100.0%
	400万円以上 600万円未満	度数	19	28	47
		総和の %	40.4%	59.6%	100.0%
	600万円以上 800万円未満	度数	49	57	106
		総和の %	46.2%	53.8%	100.0%
	800万円以上 1000万円未満	度数	51	41	92
		総和の %	55.4%	44.6%	100.0%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	51	11	62
		総和の %	82.3%	17.7%	100.0%
1200万円以上 1400万円未満	度数	17	7	24	
	総和の %	70.8%	29.2%	100.0%	
1400万円以上 1600万円未満	度数	15	2	17	
	総和の %	88.2%	11.8%	100.0%	
1600万円以上 1800万円未満	度数	3	2	5	
	総和の %	60.0%	40.0%	100.0%	
1800万円以上	度数	8	0	8	
	総和の %	100.0%	0.0%	100.0%	
不明	度数	2	2	4	
	総和の %	50.0%	50.0%	100.0%	
合計		度数	216	181	397
		総和の %	54.4%	45.6%	100.0%

家計支持者の年収が低い場合は、奨学金の希望が多く、家計支持者の年収が高い場合は、奨学金の希望は少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 3-6 父親の就労形態 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
父親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	200	150	350
		総和の %	57.1%	42.9%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	1	1	2
		総和の %	50.0%	50.0%	100.0%
	自 営	度数	9	15	24
		総和の %	37.5%	62.5%	100.0%
無 職	度数	2	5	7	
	総和の %	28.6%	71.4%	100.0%	
いない	度数	4	9	13	
	総和の %	30.8%	69.2%	100.0%	
不 明	度数	0	1	1	
	総和の %	0.0%	100.0%	100.0%	
合計		度数	216	181	397
		総和の %	54.4%	45.6%	100.0%

父親の就労形態と奨学金の希望との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 3-7 母親の就労形態 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
母親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	57	42	99
		総和の %	57.6%	42.4%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	76	73	149
		総和の %	51.0%	49.0%	100.0%
	自 営	度数	15	13	28
		総和の %	53.6%	46.4%	100.0%
無 職	度数	66	50	116	
	総和の %	56.9%	43.1%	100.0%	
いない	度数	2	2	4	
	総和の %	50.0%	50.0%	100.0%	
不 明	度数	0	1	1	
	総和の %	0.0%	100.0%	100.0%	
合計		度数	216	181	397
		総和の %	54.4%	45.6%	100.0%

母親の就労形態と奨学金の希望との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 3-8 家計支持者 と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者	父親	度数	208	164	372
		総和の%	55.9%	44.1%	100.0%
	母親	度数	8	17	25
		総和の%	32.0%	68.0%	100.0%
	その他	度数	0	0	0
		総和の%	0.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	216	181	397
		総和の%	54.4%	45.6%	100.0%

家計支持者が父親の場合は、奨学金の希望が少なく、家計支持者が母親の場合は、奨学金の希望が多いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

表 3-9 入学後の暮らし向き と 奨学金希望群 のクロス表

			奨学金希望群		合計
			希望しない	希望する	
入学後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	8	57	65
		総和の%	12.3%	87.7%	100.0%
	あまりゆとりがない	度数	74	101	175
		総和の%	42.3%	57.7%	100.0%
	多少ゆとりがある	度数	113	18	131
		総和の%	86.3%	13.7%	100.0%
ゆとりがある	度数	19	0	19	
	総和の%	100.0%	0.0%	100.0%	
不明	度数	2	5	7	
	総和の%	28.6%	71.4%	100.0%	
合計		度数	216	181	397
		総和の%	54.4%	45.6%	100.0%

入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合は、奨学金の希望が多く、ゆとりがある場合は、奨学金の希望が少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

#### (4) 学生寮に関する結果

##### ①新入生の結果

どのような学生が、学生寮を知っているのかを明らかにするため、「学生寮の認知」×「奨学金の受給歴」、「兄弟の人数」、「出身地」のクロス表を作成した。「学生寮の認知」は、選択肢の中で一つでも認知していれば「知っている」とした。それぞれの結果を表 4-1～4-3 に示す。

表 4-1 奨学金受給経験 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
奨学金受給経験	なし	度数 総和の %	85 23.5%	276 76.5%	361 100.0%
	あり	度数 総和の %	13 23.6%	42 76.4%	55 100.0%
合計		度数 総和の %	98 23.6%	318 76.4%	416 100.0%

過去の奨学金の受給経験と学生寮の認知について、有意な関係は見られなかった。昨年度は、奨学金の受給経験がある場合、学生寮の認知が高く、奨学金の受給経験がない場合、学生寮の認知が低いことが示されていた。

表 4-2 兄弟姉妹人数 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
兄弟姉妹人数	2	度数 総和の %	64 27.5%	169 72.5%	233 100.0%
	3	度数 総和の %	20 21.5%	73 78.5%	93 100.0%
	4	度数 総和の %	1 6.3%	15 93.8%	16 100.0%
	5	度数 総和の %	0 0.0%	4 100.0%	4 100.0%
	非該当	度数 総和の %	12 19.4%	50 80.6%	62 100.0%
	不明	度数 総和の %	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%
合計		度数 総和の %	98 23.9%	312 76.1%	410 100.0%

兄弟姉妹の人数と学生寮の認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 4-3 出身地 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知らない	知っている	
出身地	国内	度数	96	303	399
		総和の %	24.1%	75.9%	100.0%
	海外	度数	2	5	7
		総和の %	28.6%	71.4%	100.0%
	不明	度数	0	4	4
		総和の %	0.0%	100.0%	100.0%
合計		度数	98	312	410
		総和の %	23.9%	76.1%	100.0%

出身地と学生寮の認知との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

## ②保護者の結果

どのような保護者が、子ども学生寮への入寮を希望しているかを明らかにするため、「学生寮の入寮希望」×「奨学金の受給経験」、「奨学金の認知」、「学生寮に対する認知」、「世帯年収」、「家計支持者の年収」、「父親の就労形態」、「母親の就労形態」、「家計支持者の属性」、「入学後の暮らし向き」のクロス表を作成した。それぞれの結果を表 5-1～5-9 に示す。

表 5-1 奨学金受給経験 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金受給経験	経験なし	度数	249	135	384
		総和の %	64.8%	35.2%	100.0%
	経験あり	度数	19	13	32
		総和の %	59.4%	40.6%	100.0%
合計		度数	268	148	416
		総和の %	64.4%	35.6%	100.0%

過去の奨学金の受給経験と学生寮への入寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 5-2 奨学金認知 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
奨学金認知	知らない	度数	72	48	120
		総和の %	60.0%	40.0%	100.0%
	知っている	度数	196	100	296
		総和の %	66.2%	33.8%	100.0%
合計		度数	268	148	416
		総和の %	64.4%	35.6%	100.0%

奨学金についての認知と、学生寮への入寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 5-3 学生寮認知 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
学生寮認知	知らない	度数	134	139	273
		総和の %	49.1%	50.9%	100.0%
	知っている	度数	134	9	143
		総和の %	93.7%	6.3%	100.0%
合計		度数	268	148	416
		総和の %	64.4%	35.6%	100.0%

学生寮について認知している場合は、学生寮への入寮の希望は少なく、知らない場合は、入寮の希望が多いことが示された。昨年度は学生寮を知っている場合は、学生寮への入寮の希望が多く、知らない場合は入寮の希望は少ないという結果が示された。

表 5-4 世帯年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
世帯年収	400万円未満	度数 総和の %	10 40.0%	15 60.0%	25 100.0%
	400万円以上 600万円未満	度数 総和の %	12 48.0%	13 52.0%	25 100.0%
	600万円以上 800万円未満	度数 総和の %	53 59.6%	36 40.4%	89 100.0%
	800万円以上 1000万円未満	度数 総和の %	53 63.1%	31 36.9%	84 100.0%
	1000万円以上 1200万円未満	度数 総和の %	55 72.4%	21 27.6%	76 100.0%
	1200万円以上 1400万円未満	度数 総和の %	27 79.4%	7 20.6%	34 100.0%
	1400万円以上 1600万円未満	度数 総和の %	24 96.0%	1 4.0%	25 100.0%
	1600万円以上 1800万円未満	度数 総和の %	14 93.3%	1 6.7%	15 100.0%
	1800万円以上	度数 総和の %	15 83.3%	3 16.7%	18 100.0%
	不明	度数 総和の %	5 83.3%	1 16.7%	6 100.0%
合計	度数 総和の %	268 67.5%	129 32.5%	397 100.0%	

世帯年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多く、世帯年収が高い場合は、学生寮への入寮の希望は少ないことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。昨年度の結果では、世帯年収と学生寮への入寮の希望との間に、有意な関連は見られなかったが、本年度の結果では、このような関連が見られた。

表 5-5 家計支持者の年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者の 年収	400万円未満	度数	12	20	32
		総和の %	37.5%	62.5%	100.0%
	400万円以上 600万円未満	度数	29	18	47
		総和の %	61.7%	38.3%	100.0%
	600万円以上 800万円未満	度数	60	46	106
		総和の %	56.6%	43.4%	100.0%
	800万円以上 1000万円未満	度数	69	23	92
		総和の %	75.0%	25.0%	100.0%
	1000万円以上 1200万円未満	度数	49	13	62
		総和の %	79.0%	21.0%	100.0%
1200万円以上 1400万円未満	度数	18	6	24	
	総和の %	75.0%	25.0%	100.0%	
1400万円以上 1600万円未満	度数	17	0	17	
	総和の %	100.0%	0.0%	100.0%	
1600万円以上 1800万円未満	度数	4	1	5	
	総和の %	80.0%	20.0%	100.0%	
1800万円以上	度数	7	1	8	
	総和の %	87.5%	12.5%	100.0%	
不明	度数	3	1	4	
	総和の %	75.0%	25.0%	100.0%	
合計		度数	268	129	397
		総和の %	67.5%	32.5%	100.0%

家計支持者の年収が低い場合は、学生寮への入寮の希望が多く、家計支持者の年収が高い場合は、学生寮への入寮の希望は少ないことが示された。昨年度の結果では、家計支持者の年収と学生寮への入寮の希望との間に、有意な関連は見られなかったが、本年度の結果では、このような関連が見られた。

表 5-6 父親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
父親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	246	104	350
		総和の %	70.3%	29.7%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	1	1	2
		総和の %	50.0%	50.0%	100.0%
	自 営	度数	12	12	24
		総和の %	50.0%	50.0%	100.0%
無 職	度数	2	5	7	
	総和の %	28.6%	71.4%	100.0%	
いない	度数	6	7	13	
	総和の %	46.2%	53.8%	100.0%	
不 明	度数	1	0	1	
	総和の %	100.0%	0.0%	100.0%	
合計		度数	268	129	397
		総和の %	67.5%	32.5%	100.0%

父親の就労形態が「フルタイム勤務」である場合は、学生寮への入寮の希望は少ないが、「無職」である場合、学生寮への入寮を希望する割合が多いことが示された。「パートタイム勤務」「自営」「いない」と回答した場合は、有意な関連は見られなかった。昨年度の結果では、父親の就労形態と学生寮への入寮の希望との間に、有意な関連は見られなかったが、本年度の結果では、このような関連が見られた。

表 5-7 母親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
母親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	67	32	99
		総和の %	67.7%	32.3%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	102	47	149
		総和の %	68.5%	31.5%	100.0%
	自 営	度数	19	9	28
		総和の %	67.9%	32.1%	100.0%
無 職	度数	77	39	116	
	総和の %	66.4%	33.6%	100.0%	
いない	度数	3	1	4	
	総和の %	75.0%	25.0%	100.0%	
不 明	度数	0	1	1	
	総和の %	0.0%	100.0%	100.0%	
合計		度数	268	129	397
		総和の %	67.5%	32.5%	100.0%

母親の就労形態と学生寮への入寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

表 5-8 家計支持者 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
家計支持者	父親	度数	256	116	372
		総和の%	68.8%	31.2%	100.0%
	母親	度数	12	13	25
		総和の%	48.0%	52.0%	100.0%
	その他	度数	0	0	0
		総和の%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		度数	268	129	397
		総和の%	67.5%	32.5%	100.0%

家計支持者と学生寮への入寮の希望との間には、有意な関連は見られなかった。昨年度は父親、母親に関わらず学生寮の希望が多かったが、本年度はこのような結果となった。

表 5-9 入学後の暮らし向き と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望しない	希望する	
入学後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	20	45	65
		総和の%	30.8%	69.2%	100.0%
	あまりゆとりがない	度数	116	59	175
		総和の%	66.3%	33.7%	100.0%
	多少ゆとりがある	度数	112	19	131
		総和の%	85.5%	14.5%	100.0%
ゆとりがある	度数	17	2	19	
	総和の%	89.5%	10.5%	100.0%	
不明	度数	3	4	7	
	総和の%	42.9%	57.1%	100.0%	
合計		度数	268	129	397
		総和の%	67.5%	32.5%	100.0%

入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合、学生寮への入寮の希望が多く、入学後の暮らし向きにゆとりがあると感じている場合、学生寮への入寮の希望は少ないことが示された。昨年度の結果では、入学後の暮らし向きと学生寮への入寮の希望との間に、有意な関連は見られなかったが、本年度の結果では、このような関連が見られた。

## (5) 考察と今後の課題

### ①奨学金に関する考察と今後の課題

奨学金についての新入生の結果をまとめると、「奨学金の認知」については、「学生寮について認知している者」は、奨学金の認知が高いことが示された。これは昨年度の調査でも、同様の結果が示されている。昨年度では示されなかった結果として、奨学金の受給経験と奨学金の認知に有意な関連は見られなかったことと、出身地別の奨学金認知は国内の場合は認知している者が多く、海外の場合は少ないことが示された。

また、「奨学金の受給経験」については、昨年度は「学生寮について認知している者」は、奨学金の受給経験があることが多かったが、今年度は有意な関係は見られなかった。奨学金の認知と兄弟姉妹人数との関連についても、昨年度と同様に関連は見られなかった。

新入生の「奨学金認知」の割合は、「知っている」65.9%、「知らない」34.1%となっており、昨年度の「知っている」70.0%、「知らない」30.0%と比べて、大きな変化は見られなかった。「奨学金の受給経験」の割合は、「受給経験あり」13.4%、「受給経験なし」86.6%となっており、昨年度の「受給経験あり」7.8%、「受給経験なし」92.3%と比べると、奨学金の受給経験がある者の割合が微増していることが示された。これらのことをふまえると、大学で申込のできる奨学金についての認知は、昨年度と比べ大きな変化はないが、過去に受給経験のある者が増えているため、今後奨学金の受給を希望する者も増えると考えられる。このため、大学は奨学金についての情報を発信していく必要があると考えられる。

次に、奨学金について保護者の結果をまとめると、奨学金の希望が多いのは、「これまでに奨学金の受給経験がある者」、「奨学金について認知している者」、「学生寮について認知している者」、「世帯年収が低い者」、「家計支持者の年収が低い者」、「家計支持者が母親の者」、「入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている者」であることが示された。これは昨年度の調査でも同様の結果が見られており、今年度の結果も昨年度に沿った結果と考えられる。

保護者の「奨学金の希望」の割合は、「希望する」43.5%、「希望しない」56.5%となっており、昨年度の「希望する」47.9%、「希望しない」52.1%に比べると、大きな変化は見られなかった。ただし、奨学金を希望する保護者の傾向は昨年と同じであることから、引き続き経済的支援が求められていると考えられる。

### ②学生寮に関する考察と今後の課題

学生寮についての新入生の結果をまとめると、「奨学金の受給経験」、「兄弟姉妹人数」、「出身地」との間には有意な関連は見られなかった。これは昨年度の調査でも、同様の結果が示されている。

新入生の「学生寮の認知」の割合は、「知っている」76.4%、「知らない」23.6%となっており、昨年度の「知っている」74.7%、「知らない」25.3%に比べて、大きな変化は見られなかった。

次に、学生寮について保護者の結果をまとめると、学生寮の希望が多いのは、「世帯年収が低い者」、「家計支持者の年収が低い者」、「父親の就労形態が無職である者」、「入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている者」であることが示された。これらの項目は、昨年度の調査で学生寮の希望との間に有意な関連は見られなかったが、今年度はこのような関連が見られた。また表 5-3 のように、学生寮について認知している者が、必ずしも学生寮を希望していないことも示された。保護者の「学生寮認知」の割合は、「知っている」65.5%、「知らない」34.4%という結果であった。学生寮の認知についてはある程度進んでいるといえる。

保護者の「学生寮の希望」の割合は、「希望する」35.6%、「希望しない」64.4%となっており、昨年度の「希望する」94.2%、「希望しない」5.8%と、割合に大きな変化が見られた。昨年度有意な関連が見られなかったものに関して、今年度関連が見られたのはこのことが起因している。学生寮を希望する者の傾向について、昨年度と比べて「世帯年収の

多い割合が増えた」、「入学後の暮らし向きにゆとりがあるという割合が増えた」ということは見られていない。すなわち、それぞれの内訳には大きな変化がないことから、経済的支援を踏まえた学生寮のニーズに応えていく必要があると考えられる。

## (6) まとめ

本章では、新入生および保護者を対象に、奨学金と学生寮の現状と課題について検討した。その結果以下の2点が示唆された。

第1に、奨学金について認知している者は、学生寮についても認知している者が多い傾向にあることが示された。また過去に奨学金受給の経験がある者が増えていることから、引き続き受給経験者の割合の変化を見守るとともに、大学生が受給できる奨学金の情報を発信していく必要がある。

第2に、奨学金の希望と学生寮の入寮の希望は一致せず、世帯年収・家計支持者の年収が低い者、入学後の暮らし向きにゆとりのない者が学生寮を希望することが示された。経済的支援の面からの学生寮の需要はあるが、通学範囲に在住している者は学生寮の必要性は低く、都道府県別等の真に学生寮を必要としている者の傾向を読み解く必要がある。自宅が遠方にある者と、通学範囲に在住している者とは、奨学金の希望、学生寮の希望の傾向は必ずしも一致しないと考えられる。

大学において、奨学金と学生寮の提供は学生支援の一環として行われている。支援が必要な学生の傾向を把握することで、そのニーズに応える形での奨学金制度と学生寮の提供が行われるのが望ましいと考えられる。また本学は「国際学生宿舎」、「お茶大 SCC」、「小石川寮（大学院生向け）」と3つの異なる機能をもつ学生寮を設置している。学生寮別に希望者の傾向を読み解くことは、今後の寮運営の参考になると考えられる。

## 新入生生活調査

### <2013 年度入学予定者用>

(A0 入試合格者・推薦入試合格者・外国学校出身者)

お茶の水女子大学に入学を予定されているみなさまへ

この度は、お茶の水女子大学に合格おめでとうございます。お茶の水女子大学は、みなさんのご入学を歓迎し、今後の学生生活が実りあるものになるよう祈念しております。

さて、本学では、入学予定者およびその保護者の方にアンケートを実施いたします。これは、入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的としています。具体的には、

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

上記4点を中心にするものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理をします。個人としてのご回答が公表されることはありません。また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。

調査票中、質問項目の左に\*がついている項目は、本学入学後も、新入生個人の情報として、学生支援を行うために利用しますが、回答に含まれる個人情報には、お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則及び関係諸規定に基づき、厳格に管理いたします。

なお、アンケートにご協力いただけなかった場合でも、本学教育課程その他に不利益を被ることはありません。また、入学を辞退された方の個人情報は、入学辞退届を受理次第、破棄いたします。

どうかアンケートの趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。

【実施主体】 国立大学法人 お茶の水女子大学 学生支援センター

《 文部科学省特別経費プロジェクト・統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証 》

<http://www.ocha.ac.jp/gss/index.html>

【調査責任者】 副学長・教育機構長 耳塚寛明

【問い合わせ先】 学生・キャリア支援チーム (03-5978-5147)

【個人情報について】

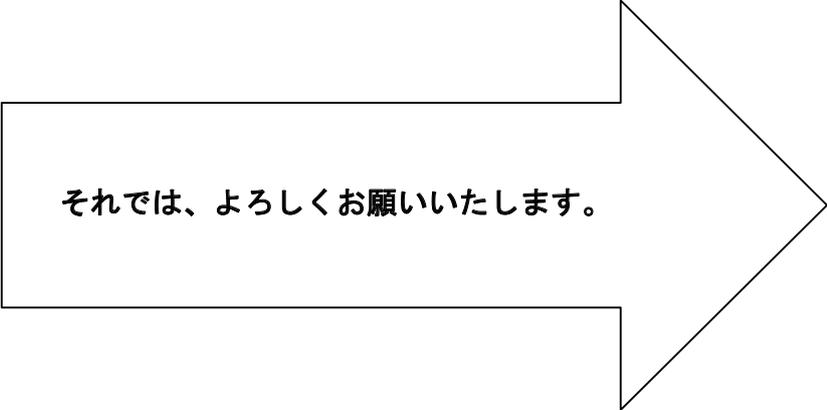
お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めています。

[http://www.ocha.ac.jp/plaza/info\\_public/individual/index.html](http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html)

以下のご回答にあたってのご注意をお読みのうえ、ご回答願います。

ご回答にあたってのお願い

- ・お答えは、黒鉛筆または黒ボールペンで、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、( ) 内に具体的な内容を記入して下さい。( ) 内に書ききれない場合は、欄外にご記入下さい。
- ・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
- ・「⑨⑩=01」とか⑩などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。
- ・表紙依頼文にも一部記載いたしましたが、アンケートの最後に、ご回答内容の研究調査へのデータ使用および皆様個人への学生支援のためのご回答の管理・登録への許可をお伺いしております。許可いただけない場合は、使用することはありません。
- ・アンケートは、大学で付けたID番号で管理をしております。**アンケート用紙には、あなたや保護者の方のお名前、住所などは記載せず**ご回答、ご返送ください。
- ・ご回答いただきました調査票は、同封いたしました調査返送用封筒に入れていただき、**平成 25 年 3 月 15 日（金）までに返送をお願いいたします。**



それでは、よろしくお願いいたします。





Ⅲ. 大学入学後の学生生活について、お聞きします。

(1) 大学入学後に居住予定の都道府県 **1つ** に○をつけてください。

- |        |              |    |
|--------|--------------|----|
| 1. 東京都 | 4. 神奈川県      |    |
| 2. 埼玉県 | 5. その他の県 ( ) | ③7 |
| 3. 千葉県 |              |    |

\* (2) 大学入学後に予定している住居**すべて**に○をつけてください。

- |                      |                  |    |
|----------------------|------------------|----|
| 1. 実家                | 4. 大学の寮（お茶大 SCC） |    |
| 2. 実家以外の賃貸アパートやマンション | 5. 大学以外の寮        | ③8 |
| 3. 大学の寮（国際学生宿舎）      | 6. その他 ( )       |    |

(3) 【(2) で「賃貸アパートやマンション」に○をつけた方にお伺いします】

1か月の家賃（管理費込み）の予算をご記入ください。千円未満は四捨五入してください。

万  千円
 ③9～④1

(4) 【(2) で「2～6（実家以外）」に○をつけた方にお伺いします】

1か月あたりの仕送り予定額についてご記入ください。万円未満は四捨五入してください。

万円
  仕送りはない
 ④2④3

【全員の方に】 ⑩=2

(5) 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動として、あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- |               |             |             |   |
|---------------|-------------|-------------|---|
| 1. 大学の授業      | 4. 授業以外での勉強 | 7. ボランティア活動 |   |
| 2. クラブ・サークル活動 | 5. 友達との交流   | 8. その他 ( )  | ⑪ |
| 3. アルバイト活動    | 6. 趣味       | 9. 特にない     |   |

(6) 【(5) で「アルバイト活動」に○をつけた方にお伺いします】

アルバイト活動をどの程度する予定ですか。あてはまるもの **1つ** に○をつけてください。

- |                      |                       |   |
|----------------------|-----------------------|---|
| 1. 長期休暇期間（夏、冬、春休み）のみ | 5. 学期中に不定期的に、長期休暇期間にも |   |
| 2. 学期中、不定期           | 6. その他 ( )            | ⑫ |
| 3. 学期中、定期的に          | 7. 未定                 |   |
| 4. 学期中に定期的に、長期休暇期間にも |                       |   |

(7) 【(5) で「アルバイト活動」に○をつけた方にお伺いします】

どのようなアルバイト活動を希望していますか。希望するもの**すべて**に○をつけてください。

- |                      |                 |   |
|----------------------|-----------------|---|
| 1. 家庭教師・塾講師          | 4. 事務           |   |
| 2. 商品などの販売（店員、レジ係など） | 5. 運搬、梱包、清掃等の労働 | ⑬ |
| 3. サービス関係（接客、調理など）   | 6. その他 ( )      |   |







## 新入生生活調査

### <2013 年度入学予定者の保護者用>

（一般入試合格者）

#### ご子女が、お茶の水女子大学に入学を予定されているみなさまへ

この度は、ご子女のお茶の水女子大学合格おめでとうございます。お茶の水女子大学は、ご子女のご入学を歓迎し、今後の学生生活が実りあるものになるよう祈念しております。

さて、本学では、入学予定者およびその保護者の方にアンケートを実施いたします。これは、入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的としています。具体的には、

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

上記4点を中心にするものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理をします。個人としてのご回答が公表されることはありません。また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。

調査票中、質問項目の左に\*がついている項目は、本学入学後も、新入生個人の情報として、学生支援を行うために利用しますが、回答に含まれる個人情報、お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則及び関係諸規定に基づき、厳格に管理いたします。

なお、アンケートにご協力いただけなかった場合でも、本学教育課程その他に不利益を被ることはありません。また、入学を辞退された方の個人情報は、入学辞退届を受理次第、破棄いたします。

どうかアンケートの趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。

【実施主体】 国立大学法人 お茶の水女子大学 学生支援センター

《文部科学省特別経費プロジェクト・統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証》

<http://www.ocha.ac.jp/gss/index.html>

【調査責任者】 副学長・教育機構長 耳塚寛明

【問い合わせ先】 学生・キャリア支援チーム (03-5978-5147)

#### 【個人情報について】

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定め、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めています。

[http://www.ocha.ac.jp/plaza/info\\_public/individual/index.html](http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html)

以下のご回答にあたってのご注意をお読みのうえ、ご回答願います。

ご回答にあたってのお願い

- ・お答えは、黒鉛筆または黒ボールペンで、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、( ) 内に具体的な内容を記入してください。( ) 内に書ききれない場合は、欄外にご記入ください。
- ・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
- ・「⑨⑩=01」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。
- ・表紙依頼文にも一部記載いたしましたが、アンケートの最後に、ご回答内容の研究調査へのデータ使用および皆様個人への学生支援のためのご回答の管理・登録への許可をお伺いしております。許可いただけない場合は、使用することはありません。
- ・アンケートは、大学で付けたID番号で管理をしております。**アンケート用紙には、ご子女や保護者の方のお名前、住所などは記載せず**ご回答、ご返送ください。
- ・ご回答いただきました調査票は、同封いたしました調査返送用封筒に入れていただき、**他の入学手続関係書類と同封し、締め切り期日までに返送をお願いいたします。**

それでは、よろしく願います。



新入生調査票（保護者用）

【全員の方に】

(7) ご子女が大学に入学した後のご家庭の暮らし向きについて、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ゆとりがない      2. あまりゆとりがない      3. 多少ゆとりがある      4. ゆとりがある      ⑱

\* (8) ご家庭の世帯年収（学校に在学する者を除く同一世帯全員の年収。税込）について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 400万円未満      4. 800万円以上1000万円未満      7. 1400万円以上1600万円未満  
 2. 400万円以上600万円未満      5. 1000万円以上1200万円未満      8. 1600万円以上1800万円未満      ㉒  
 3. 600万円以上800万円未満      6. 1200万円以上1400万円未満      9. 1800万円以上

\* (9) 家計を主に支えている方の年収（税込）について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 400万円未満      4. 800万円以上1000万円未満      7. 1400万円以上1600万円未満  
 2. 400万円以上600万円未満      5. 1000万円以上1200万円未満      8. 1600万円以上1800万円未満      ㉓  
 3. 600万円以上800万円未満      6. 1200万円以上1400万円未満      9. 1800万円以上

(10) 本学に入学予定のご子女への、1か月あたりの仕送り予定額についてご記入ください。  
 万円未満は四捨五入してください。

--	--

万円      〇 仕送りはしない

㉔㉕

(11) 授業料の負担予定について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ほぼ全額を保護者が負担予定  
 2. 一部をご子女本人が負担予定（奨学金、アルバイトなども含む）      ㉖  
 3. ほぼ全額をご子女本人が負担予定（奨学金、アルバイトなども含む）

\* (12) 本学に入学予定のご子女がこれまでに受けたことのある奨学金・学費免除などの制度がございましたら、その**すべて**について、該当の番号に○をして、具体的な名称および給付型・貸与型についてご記入ください。

	具体的な名称	給付・貸与	
1. 日本学生支援機構の奨学金		1. 給与    2. 貸与	㉗㉘
2. 地方公共団体の奨学金		1. 給与    2. 貸与	㉙㉚
3. 学校独自の奨学金		1. 給与    2. 貸与	㉛㉜
4. 民間奨学団体の奨学金		1. 給与    2. 貸与	㉝㉞
5. 新聞社の奨学金		1. 給与    2. 貸与	㉟㊱
6. その他の奨学金		1. 給与    2. 貸与	㊲㊳
7. 学費免除		1. 給与    2. 貸与	㊴㊵
8. 特待生		1. 給与    2. 貸与	㊶㊷

新入生調査票（保護者用）

(13) 以下の奨学金などの制度について、ご存知のもの**すべて**に○をつけてください。

- |                         |                |    |
|-------------------------|----------------|----|
| 1. 日本学生支援機構（第一種奨学金）     | 8. 育児支援奨学金     |    |
| 2. 日本学生支援機構（第二種奨学金）     | 9. 入学料免除制度     |    |
| 3. 日本学生支援機構（緊急・応急採用奨学金） | 10. 入学料徴収猶予制度  | ④② |
| 4. 地方公共団体の奨学金           | 11. 授業料免除制度    | ④③ |
| 5. 民間奨学団体の奨学金           | 12. 授業料徴収猶予制度  |    |
| 6. みがかずば奨学金             | 13. 知っているものはない |    |
| 7. 桜蔭会奨学金（3年生向け）        |                |    |

(14) 以下の奨学金などの制度について、希望されるもの**すべて**に○をつけてください。

- |                         |               |    |
|-------------------------|---------------|----|
| 1. 日本学生支援機構（第一種奨学金）     | 8. 育児支援奨学金    |    |
| 2. 日本学生支援機構（第二種奨学金）     | 9. 入学料免除制度    |    |
| 3. 日本学生支援機構（緊急・応急採用奨学金） | 10. 入学料徴収猶予制度 | ④④ |
| 4. 地方公共団体の奨学金           | 11. 授業料免除制度   | ④⑤ |
| 5. 民間奨学団体の奨学金           | 12. 授業料徴収猶予制度 |    |
| 6. みがかずば奨学金             | 13. 希望するものはない |    |
| 7. 桜蔭会奨学金（3年生向け）        |               |    |

(15) 以下の本学の学生寮について、ご存知のもの**すべて**に○をつけてください。

- |           |            |                 |         |    |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|
| 1. 国際学生宿舍 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮（大学院生向け） | 4. 知らない | ④⑥ |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|

(16) 以下の本学の学生寮について、入寮を希望するもの**すべて**に○をつけてください。

- |           |            |                 |         |    |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|
| 1. 国際学生宿舍 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮（大学院生向け） | 4. 特にない | ④⑦ |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|

(17) 受験から入学までに困ったこと・悩んだこと**すべて**に○をつけてください。

- |                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 子どもの体調や精神面のこと      |    |
| 2. 受験・入学のための費用準備      |    |
| 3. 受験・入学手続きのスケジュールの管理 |    |
| 4. 入学後の住まい探し          | ④⑧ |
| 5. 入学時に必要な生活用品や教材の準備  |    |
| 6. その他（               | ）  |
| 7. 特にない               |    |

(18) ご子女の大学生活が始まって心配なこと**すべて**に○をつけてください。

- |           |           |    |
|-----------|-----------|----|
| 1. 授業や単位  | 5. 健康面    |    |
| 2. 就職や将来  | 6. 日常生活全般 | ④⑨ |
| 3. 人間関係   | 7. その他（   | ）  |
| 4. 生活・経済面 | 8. 特にない   |    |



新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)

2018年度入学予定者用(学部・学科内に於ける割合)

学部	学科	総数	学部										学科										人間生活学科	無回答
			文教学部(計)	理学学部	生活科学部	人文科学部	言語文化・人間社会学科	芸術・表現行動学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	情報科学部	食物栄養学科	人間・環境科学部									
I. (1)	学部学科	407	176	114	116	50	70	36	20	19	19	24	33	32	22	62	1							
	総数	43.2%	28.0%	28.5%	12.3%	17.2%	8.8%	4.9%	4.7%	4.7%	5.9%	8.1%	7.9%	5.4%	15.2%	0.2%								
	私立	67.6%	43.9%	56.9%	60.0%	67.1%	69.4%	85.0%	36.8%	37.5%	36.4%	36.4%	59.4%	45.5%	59.7%	0.0%								
	国立	26.1%	53.5%	34.5%	34.0%	27.1%	19.4%	15.0%	63.2%	21.1%	57.9%	58.3%	60.6%	34.4%	33.9%	0.0%								
	海外	1.7%	2.6%	7.8%	2.0%	1.4%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	3.0%	6.3%	4.8%	0.0%								
I. (2)	出身高校・設置者	399	170	114	115	48	67	35	20	19	19	24	33	32	61	0								
	3年制	66.4%	72.9%	67.8%	66.7%	76.1%	74.3%	75.0%	47.4%	52.6%	54.2%	51.5%	62.5%	68.2%	70.5%	0.0%								
	中高一貫	30.8%	24.7%	30.4%	33.3%	20.9%	22.9%	20.0%	47.4%	42.1%	45.8%	42.4%	34.4%	31.8%	27.9%	0.0%								
	無回答	2.8%	4.4%	1.7%	0.0%	3.0%	2.9%	5.0%	5.3%	5.3%	3.1%	6.1%	3.1%	0.0%	1.6%	0.0%								
	普通科(理数科も含む)	95.5%	94.7%	95.7%	97.9%	91.0%	97.1%	95.0%	94.7%	100.0%	94.7%	100.0%	93.9%	96.9%	100.0%	93.4%	0.0%							
I. (3)	出身都道府県	407	176	114	116	50	70	36	20	19	19	24	33	32	62	1								
	国内	97.3%	96.0%	99.1%	98.3%	94.0%	95.7%	97.2%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	96.9%	100.0%	98.4%	0.0%							
	海外	1.7%	3.4%	0.0%	4.3%	2.9%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%							
	無回答	1.0%	0.6%	0.9%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%							
	実家	96.1%	96.6%	97.4%	94.8%	96.0%	97.1%	94.4%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	93.9%	96.9%	100.0%	91.9%	0.0%							
I. (4)	高校3年時の住居	407	176	114	116	50	70	36	20	19	19	24	33	32	62	1								
	実家	96.1%	96.6%	97.4%	94.8%	96.0%	97.1%	94.4%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	93.9%	96.9%	100.0%	91.9%	0.0%							
	実家以外の賃貸アパートやマンション	1.5%	1.7%	0.0%	2.6%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	3.2%	0.0%							
	高校の寮	0.5%	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
	高校以外の寮	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
I. (5)	家族構成	407	176	114	116	50	70	36	20	19	19	24	33	32	62	1								
	父親	96.3%	96.0%	95.6%	98.3%	94.0%	95.7%	97.2%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	97.0%	100.0%	98.8%	0.0%								
	母親	99.0%	99.1%	100.0%	98.0%	98.6%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%								
	兄弟姉妹人数	22.9%	22.2%	23.7%	23.3%	24.0%	27.8%	15.0%	15.8%	26.3%	26.3%	12.5%	24.2%	28.1%	18.2%	22.6%	0.0%							
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
I. (6)-a	兄弟姉妹人数	345	150	94	101	39	63	31	17	18	14	19	26	31	53	0								
	2人	66.7%	67.3%	67.8%	67.3%	68.3%	71.0%	82.4%	77.8%	64.7%	71.4%	68.4%	50.0%	74.2%	66.0%	0.0%								
	3人	27.0%	25.3%	28.7%	33.3%	25.4%	22.6%	11.8%	16.7%	28.6%	26.3%	26.3%	46.2%	19.4%	30.2%	0.0%								
	4人以上	5.8%	7.3%	6.4%	10.3%	6.3%	6.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	3.8%	6.5%	1.9%	0.0%								
	無回答	0.6%	1.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%								
I. (6)-b	第何子	345	150	94	101	39	63	31	17	18	14	19	26	31	53	0								
	第一子	52.8%	56.0%	52.1%	48.5%	53.8%	58.7%	54.8%	52.9%	61.1%	41.2%	63.2%	42.3%	48.4%	52.8%	0.0%								
	第二子	35.4%	32.7%	33.0%	41.6%	33.3%	32.3%	29.4%	33.3%	28.6%	35.3%	26.3%	38.5%	35.5%	37.7%	0.0%								
	第三子	10.1%	9.3%	13.8%	7.9%	6.3%	7.7%	17.6%	14.3%	10.5%	17.6%	10.5%	19.2%	12.9%	7.5%	0.0%								
	第四子以降	1.4%	2.0%	1.1%	1.0%	1.6%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%								
無回答	0.3%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%									







新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)

<2013年度 新入生生活調査>

学部	学部		学科										人間生活学科	無回答			
	文教育学部 (計)	理学部 (計)	人文科学科	言語文化 人間社会科	芸術・表現 行動学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	情報科学科	食物栄養 人間・環境 科学科	人間生活 学科					
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-6 その他の奨学金	該当者	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-7 学費免除	該当者	9	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	77.8%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金の具体的な名称-8 特待生	該当者	20	5	0	5	0	0	1	2	1	5	1	3	2	0	0	0
	記入あり	65.0%	80.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	80.0%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金/給与・賞付-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	8	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金/給与・賞付-2 民間奨学金団体の奨学金	該当者	10	3	3	4	1	2	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0
	給与	20.0%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金/給与・賞付-3 学校独自の奨学金	該当者	10	4	4	2	1	3	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0
	給与	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金/給与・賞付-4 民間奨学金団体の奨学金	該当者	6	4	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	給与	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金/給与・賞付-5 新開社の奨学金	該当者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金/給与・賞付-6 その他の奨学金	該当者	4	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	給与	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金/給与・賞付-7 学費免除	該当者	9	6	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	給与	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ. (9)奨学金/給与・賞付-8 特待生	該当者	20	5	9	6	0	5	0	0	1	2	1	5	1	3	2	0
	給与	95.0%	80.0%	100.0%	100.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
Ⅲ. (10) 奨学金の認知	該当者	407	176	114	116	50	70	36	20	19	19	24	33	32	22	62	1
	認知	44.0%	50.6%	29.8%	48.3%	50.0%	51.4%	52.8%	45.0%	21.1%	42.1%	5.3%	29.2%	42.4%	43.8%	51.6%	0.0%



新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)

質問	総数	学部										学科										人間生活学科	人間・環境	無回答	
		文教育学部 (計)		理学部 (計)		生活科学部 (計)		人文科学部 (計)		言語文化 人間社会 芸術・表現 行動学		数学		物理		化学		生物		情報					食生活
		176	114	116	116	50	70	36	20	19	19	19	19	24	24	33	32	32	22	22	22	22	22	62	62
Ⅲ. (13)不安・心配ごと-6 進級や卒業ができるか	あてはまる	407	176	114	116	50	70	36	20	19	19	19	19	24	24	33	32	32	22	22	22	22	62	62	
	ある程度あてはまる	20.4%	22.2%	21.9%	15.5%	18.0%	32.9%	8.3%	20.0%	36.8%	15.8%	36.8%	15.8%	5.3%	12.5%	33.3%	18.8%	18.8%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	14.5%	14.5%	
	あまりあてはまらない	35.6%	37.5%	33.3%	35.3%	46.0%	30.0%	36.1%	45.0%	26.3%	31.6%	31.6%	31.6%	52.6%	50.0%	15.2%	25.0%	25.0%	31.8%	31.8%	31.8%	31.8%	41.9%	41.9%	
	あてはまらない	11.1%	10.2%	9.6%	13.8%	16.0%	7.1%	11.1%	5.0%	10.5%	26.3%	26.3%	26.3%	0.0%	4.2%	9.1%	6.3%	6.3%	22.7%	22.7%	22.7%	22.7%	14.5%	14.5%	
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	あてはまる(計)	56.0%	59.7%	55.3%	50.9%	64.0%	62.9%	44.4%	65.0%	63.2%	47.4%	47.4%	47.4%	57.9%	62.5%	48.5%	43.8%	43.8%	46.5%	46.5%	46.5%	46.5%	58.5%	58.5%	
	あてはまらない(計)	43.7%	40.3%	44.7%	48.3%	36.0%	37.1%	55.6%	35.0%	35.5%	52.6%	52.6%	52.6%	42.1%	37.5%	51.5%	53.1%	53.1%	54.3%	54.3%	54.3%	54.3%	43.5%	43.5%	
	あてはまる	26.0%	31.3%	19.3%	25.0%	22.0%	37.1%	22.2%	50.0%	15.8%	21.1%	21.1%	21.1%	15.8%	25.0%	18.2%	12.5%	12.5%	31.8%	31.8%	31.8%	31.8%	29.0%	29.0%	
	ある程度あてはまる	32.2%	31.3%	32.5%	33.6%	32.0%	31.4%	33.3%	25.0%	31.6%	31.6%	31.6%	31.6%	42.1%	20.8%	20.8%	36.4%	43.8%	43.8%	31.8%	31.8%	31.8%	31.8%	29.0%	29.0%
	あまりあてはまらない	25.8%	21.6%	29.8%	28.4%	22.0%	20.0%	27.8%	15.0%	21.1%	26.3%	26.3%	26.3%	36.8%	25.0%	36.4%	31.3%	22.7%	22.7%	22.7%	22.7%	22.7%	29.0%	29.0%	
あてはまらない	15.5%	15.9%	17.5%	12.1%	24.0%	11.4%	16.7%	10.0%	26.3%	21.1%	21.1%	21.1%	5.3%	29.2%	9.1%	9.4%	9.4%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	12.9%	12.9%		
無回答	0.5%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
あてはまる(計)	58.2%	62.5%	51.8%	58.6%	54.0%	68.6%	55.6%	75.0%	47.4%	52.6%	52.6%	52.6%	57.9%	45.8%	54.5%	56.3%	56.3%	63.6%	63.6%	63.6%	63.6%	58.1%	58.1%		
あてはまらない(計)	41.3%	37.5%	47.4%	40.5%	46.0%	31.4%	44.4%	25.0%	47.4%	47.4%	47.4%	47.4%	42.1%	54.2%	45.5%	40.6%	40.6%	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	41.9%	41.9%		
あてはまる	42.5%	51.1%	36.0%	36.2%	46.0%	57.1%	47.2%	50.0%	42.1%	36.8%	36.8%	36.8%	36.8%	25.0%	39.4%	31.3%	31.3%	40.9%	40.9%	40.9%	40.9%	37.1%	37.1%		
ある程度あてはまる	36.9%	33.0%	41.2%	37.9%	42.0%	25.7%	30.6%	40.0%	36.8%	42.1%	42.1%	42.1%	52.6%	45.8%	33.3%	46.9%	46.9%	31.8%	31.8%	31.8%	31.8%	35.5%	35.5%		
あまりあてはまらない	15.0%	13.1%	15.8%	17.2%	10.0%	14.3%	19.4%	5.0%	10.5%	15.8%	15.8%	15.8%	10.5%	20.8%	18.2%	12.5%	12.5%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	21.0%	21.0%		
あてはまらない	5.4%	2.8%	7.0%	7.8%	2.0%	2.9%	2.8%	5.0%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	8.3%	9.1%	6.3%	6.3%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	6.5%	6.5%		
無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
あてはまる(計)	79.4%	84.1%	77.2%	74.1%	88.0%	82.9%	77.8%	90.0%	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%	89.5%	70.8%	72.7%	78.1%	78.1%	72.7%	72.7%	72.7%	72.7%	58.1%	58.1%		
あてはまらない(計)	20.4%	15.9%	22.8%	25.0%	12.0%	17.1%	22.2%	10.0%	21.1%	21.1%	21.1%	21.1%	10.5%	29.2%	27.3%	21.8%	21.8%	27.3%	27.3%	27.3%	27.3%	41.9%	41.9%		
あてはまる	407	176	114	116	116	50	70	36	20	19	19	19	19	24	24	33	32	32	22	22	22	22	62	62	
総数	407	176	114	116	116	50	70	36	20	19	19	19	19	24	24	33	32	32	22	22	22	22	62	62	
経済的支援	27.5%	31.3%	27.2%	22.4%	22.0%	42.9%	27.8%	20.0%	15.8%	36.8%	36.8%	36.8%	36.8%	25.0%	39.4%	31.3%	31.3%	40.9%	40.9%	40.9%	40.9%	37.1%	37.1%		
生活相談	14.5%	14.8%	14.0%	14.7%	16.0%	12.9%	13.9%	20.0%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	20.8%	20.8%	24.2%	24.2%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	17.7%	17.7%		
健康相談	8.6%	8.5%	9.6%	7.8%	8.0%	8.6%	8.3%	10.0%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	16.7%	12.1%	12.1%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	8.1%	8.1%			
心理相談	11.8%	13.1%	9.6%	12.1%	12.0%	14.3%	16.7%	5.0%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	0.0%	12.5%	15.2%	15.2%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	17.7%	17.7%			
学習支援	68.1%	72.2%	64.0%	65.5%	76.0%	74.3%	72.2%	55.0%	63.2%	63.2%	63.2%	63.2%	68.4%	62.5%	63.6%	59.4%	59.4%	68.2%	68.2%	68.2%	68.2%	67.7%	67.7%		
進路相談	63.1%	66.5%	63.2%	57.8%	66.0%	65.7%	63.9%	75.0%	63.2%	63.2%	63.2%	63.2%	57.9%	70.8%	72.7%	70.8%	70.8%	63.6%	63.6%	63.6%	63.6%	59.7%	59.7%		
就職支援	75.4%	81.3%	71.1%	70.7%	76.0%	83.3%	85.0%	52.6%	52.6%	52.6%	52.6%	52.6%	78.9%	70.8%	82.7%	82.7%	75.0%	75.0%	77.3%	77.3%	66.1%	66.1%			
課外活動支援	26.8%	28.4%	23.7%	26.7%	36.0%	21.4%	27.8%	35.0%	10.5%	15.8%	15.8%	15.8%	21.1%	33.3%	30.3%	21.9%	21.9%	36.4%	36.4%	36.4%	36.4%	25.8%	25.8%		
その他	2.2%	2.8%	0.0%	3.4%	2.0%	4.3%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	6.5%		
特になし	2.5%	1.1%	3.5%	3.4%	0.0%	1.4%	2.8%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	9.4%	9.4%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%			
無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
民間企業に就職する	52.6%	53.4%	43.0%	60.3%	48.0%	64.3%	41.7%	50.0%	36.8%	26.3%	26.3%	26.3%	42.1%	29.2%	66.7%	65.6%	65.6%	54.5%	54.5%	54.5%	54.5%	58.7%	58.7%		
公務員になる	33.4%	38.1%	19.3%	40.5%	52.0%	37.1%	30.0%	20.0%	52.6%	5.3%	5.3%	5.3%	15.8%	12.5%	15.2%	40.6%	40.6%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	53.2%	53.2%		
教師などの専門職につく	28.0%	35.2%	21.9%	22.4%	40.0%	25.7%	36.1%	55.0%	36.8%	26.3%	26.3%	26.3%	10.5%	25.0%	15.2%	15.6%	15.6%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	27.4%	27.4%		
自営など、1から3以外の形で就職する	2.2%	2.8%	0.0%	3.4%	2.0%	2.9%	2.8%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%		
大学院などに進学する(海外含む)	49.4%	35.8%	77.2%	43.1%	42.0%	25.7%	41.7%	45.0%	57.9%	89.5%	89.5%	89.5%	78.9%	87.5%	72.7%	43.8%	43.8%	54.5%	54.5%	54.5%	54.5%	38.7%	38.7%		
その他	1.2%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	5.6%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
決めていない	13.0%	16.5%	7.9%	12.9%	12.0%	15.7%	22.2%	20.0%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%	15.8%	12.5%	12.5%	15.6%	15.6%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	9.7%	9.7%		
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
そう思う	407	176	114	116	116	50	70	36	20	19	19	19	19	24	24	33	32	32	22	22	22	22	62	62	
ある程度思う	42.3%	47.7%	28.1%	49.1%	38.0%	57.1%	50.0%	35.0%	26.3%	10.5%	10.5%	10.5%	15.8%	33.3%	33.3%	36.4%	36.4%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	54.8%	54.8%		
そう思うと思う	14.5%	5.1%	29.8%	13.8%	8.0%	4.3%	2.8%	5.0%	21.1%	47.4%	47.4%	47.4%	26.3%	41.7%	18.2%	18.8%	18.8%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	14.5%	14.5%		
そう思うわない	0.5%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
無回答	407	176	114	116	116	50	70	36	20	19	19	19	19	24	24	33	32	32	22	22	22	22	62	62	
そう思う	2.7%	3.4%	1.8%	2.6%	2.0%	2.9%	5.6%	5.0%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	4.5%	4.5%	1.6%	1.6%			
ある程度思う	21.9%	27.8%	13.2%	21.6%	22.0%	28.6%	25.0%	45.0%	5.3%	15.8%	15.8%	15.8%	31.6%	42.1%	12.1%	18.8%	18.8%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	24.2%	24.2%		
そう思うと思う	74.2%	67.6%	82.5%	75.9%	74.0%	67.1%	69.4%	94.7%	94.7%	94.7%	94.7%	94.7%	88.4%	87.5%	84.8%	78.1%	78.1%	77.3%	77.3%	77.3%	77.3%	74.2%	74.2%		
そう思うわない	1.2%	1.1%	2.6%	0.0%	2.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	4.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
無回答	407	176	114	116	116	50	70	36	20	19	19	19	19	24	24	33	32	32	22	22	22	22	62	62	

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)

<2013年度 新入生生活調査>

IV. (2)大学卒業後のキャリア-3 すぐに大学院などに進学する	総数	学部			学科										人間生活 学科	無回答	
		文教育学部 (計)	理学部 (計)	生活科学部 (計)	人文科学科	言語文化	人間社会	芸術・表現 行動学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	情報科学科	食物栄養			人間・環境 科学科
そう思う ある程度そう思う そう思うわない 無回答	407 30.5% 39.1% 29.7% 0.7%	176 17.6% 44.3% 36.9% 1.1%	114 57.0% 31.6% 10.5% 0.9%	116 24.1% 38.8% 37.1% 0.0%	50 22.0%	70 22.0%	36 22.2%	20 25.0%	19 36.8%	19 42.1%	19 21.1%	24 70.8%	33 48.5%	32 25.0%	22 31.8%	62 21.0%	1 0.0%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-4 就職してから大学院への進学を考える	407 2.2% 13.0% 83.8% 1.0%	176 1.7% 14.2% 83.5% 0.6%	114 1.8% 12.9% 84.2% 2.6%	116 3.4% 12.9% 83.6% 0.0%	50 0.0%	70 81.4%	36 88.9%	20 80.0%	19 105.5%	19 84.2%	19 84.2%	24 75.0%	33 84.6%	32 81.2%	22 81.8%	62 85.5%	1 100.0%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-5 資格試験・公務員試験などに合格する まで就職しない	407 3.2% 25.8% 70.0% 1.0%	176 2.8% 23.9% 72.7% 0.6%	114 3.5% 27.2% 66.7% 2.6%	116 4.3% 26.7% 69.8% 0.0%	50 2.0%	70 81.4%	36 80.0%	20 0.0%	19 5.3%	19 73.7%	19 52.6%	24 62.5%	33 75.8%	32 65.6%	22 86.4%	62 66.1%	1 0.0%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-6 卒業後すぐには就職しなくてもよい	407 7.1% 19.9% 71.3% 1.7%	176 5.7% 16.5% 76.1% 1.7%	114 10.5% 24.6% 62.3% 2.6%	116 6.0% 20.7% 72.4% 0.9%	50 10.0%	70 14.3%	36 80.0%	20 65.0%	19 31.6%	19 42.1%	19 42.1%	24 66.7%	33 72.7%	32 68.8%	22 90.9%	62 67.7%	1 100.0%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-7 最初の就職先にてできるだけ長く勤める	407 47.4% 40.5% 11.1% 1.0%	176 45.5% 43.2% 10.8% 0.6%	114 50.0% 36.0% 11.4% 2.6%	116 47.4% 41.4% 11.2% 0.0%	50 4.0%	70 80.0%	36 2.8%	20 0.0%	19 5.3%	19 5.3%	19 5.3%	24 4.2%	33 3.0%	32 3.1%	22 0.0%	62 0.0%	1 0.0%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-8 何年かして転職や独立をする	407 3.4% 32.2% 63.4% 1.0%	176 2.3% 35.8% 61.4% 0.6%	114 4.4% 25.4% 67.5% 2.6%	116 4.3% 33.6% 62.1% 0.0%	50 2.0%	70 35.7%	36 38.9%	20 45.0%	19 21.1%	19 78.9%	19 57.9%	24 66.7%	33 75.8%	32 65.6%	22 63.6%	62 58.7%	1 100.0%
IV. (2)大学卒業後のキャリア-9 結婚・出産したら仕事をやめる	407 2.2% 29.0% 66.1% 0.7%	176 1.1% 31.3% 67.0% 0.6%	114 3.5% 26.3% 68.4% 1.8%	116 2.6% 27.6% 69.8% 0.0%	50 2.0%	70 61.1%	36 75.0%	20 0.0%	19 68.4%	19 63.2%	19 78.9%	24 83.3%	33 54.5%	32 65.6%	22 74.2%	62 9.7%	1 0.0%
IV. (3)就職や将来への親の関与-a 父親	407 7.9% 22.4% 13.0% 44.2% 8.4% 3.2% 1.0%	176 6.8% 28.4% 9.7% 43.8% 6.8% 3.4% 1.1%	114 6.1% 15.8% 8.8% 50.9% 12.3% 5.3% 0.9%	116 10.3% 19.8% 22.4% 38.8% 6.9% 0.9%	50 4.0%	70 22.9%	36 8.6%	20 0.0%	19 10.5%	19 10.5%	19 10.5%	24 8.3%	33 0.0%	32 18.8%	22 9.1%	62 6.5%	1 100.0%
IV. (3)就職や将来への親の関与-b 母親	407 4.7% 16.2% 10.8% 50.9% 16.2% 0.2% 1.0%	176 4.5% 21.0% 9.1% 46.6% 17.6% 0.2% 1.1%	114 4.4% 13.2% 7.0% 57.0% 16.7% 0.9% 0.9%	116 4.3% 12.1% 17.2% 51.7% 13.8% 0.0% 0.8%	50 6.0%	70 21.4%	36 16.7%	20 35.0%	19 10.5%	19 10.5%	19 10.5%	24 16.7%	33 15.2%	32 15.6%	22 13.6%	62 9.7%	1 0.0%
[データ活用の許可]	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
[個人情報登録の許可]	97.5% 2.0% 1.1%	96.6% 2.3% 1.1%	100.0% 0.0% 0.0%	96.6% 3.4% 0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.5% 4.5% 0.0%	95.2% 4.8% 0.0%	100.0% 0.0% 0.0%

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)

<2013年度 新入生生活調査>

[受験番号]	総数	学部		学科												無回答	
		文教育学部 (計)	理学部 (計)	人文科学科	言語文化 学科	人間社会科 学科	芸術・表現 行動学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	情報科学科	食物栄養 学科	人間・環境 科学科	人間生活 学科		
	407	176	114	116	50	70	36	20	19	19	19	24	33	32	22	62	1
	99.5%	100.0%	100.0%	98.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.8%	100.0%
	0.5%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
[お茶大入試方法]	407	176	114	116	50	70	36	20	19	19	19	24	33	32	22	62	1
	74.9%	67.6%	80.7%	80.2%	66.0%	70.0%	66.7%	65.0%	78.9%	89.5%	78.9%	75.0%	81.8%	81.3%	86.4%	77.4%	100.0%
	11.5%	26.7%	0.0%	0.0%	30.0%	25.7%	19.4%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4.9%	0.0%	17.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%	10.5%	15.8%	20.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4.4%	0.0%	0.0%	15.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	13.6%	17.7%	0.0%
	1.7%	2.8%	0.0%	1.7%	2.0%	2.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	1.6%	0.0%
	2.2%	2.8%	1.8%	1.7%	2.0%	1.4%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	4.2%	0.0%	3.1%	0.0%	1.6%	0.0%
	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%

新入生調査 基礎集計表 (保護者)

2019年度入学者用(学部・学科内に於ける割合)

学部	学科	総数	学部										人間生活学科	人間・環境科学科	無回答		
			文教育学部(計)	理学部(計)	生活科学部(計)	人文科学部	言語文化・人間社会科	芸術・表現行動学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科				情報科学科	食物栄養学科
(1) 家計を支えている人	総数	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	24	32	32	21	62	100.0%
	父親	93.8%	92.9%	93.7%	94.8%	89.6%	97.1%	89.6%	97.1%	94.1%	88.5%	91.7%	96.9%	96.9%	95.2%	93.5%	100.0%
	母親	8.8%	10.0%	7.2%	8.3%	14.9%	5.7%	5.0%	8.3%	10.5%	10.5%	8.3%	3.1%	3.1%	14.3%	9.7%	0.0%
	入学者定着本人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(2) 家計を支えている人の職業	総数	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	24	32	32	21	62	100.0%
	勤労者	87.5%	88.2%	85.6%	87.8%	86.6%	91.4%	80.0%	80.0%	94.1%	84.2%	89.5%	84.4%	84.4%	90.6%	85.5%	100.0%
	個人営業	5.3%	4.7%	6.3%	5.2%	4.5%	5.7%	10.0%	5.0%	5.9%	10.5%	5.3%	4.2%	6.3%	6.3%	3.2%	0.0%
	法人経営者、自由業者	5.0%	4.1%	4.5%	7.0%	4.2%	2.9%	5.0%	4.2%	5.3%	12.5%	3.1%	3.1%	3.1%	3.1%	11.3%	0.0%
	農林水産業者	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(3) 父親の職業	総数	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	24	32	32	21	62	100.0%
	フルタイム勤務	88.3%	87.4%	88.7%	88.7%	83.6%	97.1%	85.0%	85.0%	88.2%	84.2%	94.7%	87.5%	87.5%	95.2%	87.1%	100.0%
	パートタイム勤務	0.5%	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自営	6.0%	4.7%	5.4%	8.7%	6.0%	2.9%	10.0%	4.8%	5.9%	10.5%	4.2%	6.3%	6.3%	9.4%	9.7%	0.0%
	無職	1.8%	2.4%	2.7%	0.0%	2.1%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(4) 父親の職種	総数	353	150	97	102	43	56	34	17	15	16	20	28	28	20	54	100.0%
	専門職(医師・弁護士・研究者・教師など)	23.8%	30.0%	20.6%	17.6%	32.1%	29.4%	41.2%	26.7%	26.7%	25.0%	10.0%	32.1%	32.1%	17.9%	20.4%	0.0%
	技術職(エンジニア・情報処理技術者など)	13.9%	13.3%	15.5%	13.7%	16.1%	17.6%	11.8%	6.7%	12.5%	12.5%	10.0%	14.3%	14.3%	32.1%	5.6%	0.0%
	管理職(会社・団体の役員・副課長・工場長・支店長など)	39.9%	34.0%	42.3%	47.1%	39.5%	35.3%	40.0%	38.3%	40.0%	33.9%	60.0%	32.1%	32.1%	60.0%	50.0%	100.0%
	事務職(庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など)	9.9%	7.3%	9.3%	12.7%	10.7%	9.3%	5.9%	6.7%	6.7%	6.3%	11.1%	10.7%	10.7%	7.1%	14.8%	0.0%
(5) 母親の職業	総数	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	24	32	32	21	62	100.0%
	フルタイム勤務	25.0%	28.8%	22.5%	21.7%	26.9%	40.0%	20.0%	20.0%	23.5%	31.6%	26.3%	12.5%	12.5%	21.9%	19.4%	0.0%
	パートタイム勤務	37.5%	37.6%	36.9%	37.4%	37.3%	37.1%	40.0%	35.3%	36.8%	36.8%	36.8%	43.8%	43.8%	37.5%	38.7%	100.0%
	自営	7.0%	6.5%	8.1%	7.0%	9.0%	8.3%	2.9%	5.0%	5.3%	5.3%	5.3%	6.3%	6.3%	6.3%	8.1%	0.0%
	無職	29.3%	26.5%	30.6%	32.2%	27.1%	25.4%	20.0%	40.0%	29.4%	26.3%	31.6%	29.2%	29.2%	34.4%	32.3%	0.0%
(6) 母親の職種	総数	100	49	25	25	13	18	14	4	4	6	5	6	4	7	12	100.0%
	専門職(医師・弁護士・研究者・教師など)	51.0%	55.1%	48.0%	44.0%	44.4%	71.4%	40.0%	50.0%	50.0%	50.0%	80.0%	16.7%	16.7%	57.1%	25.0%	0.0%
	技術職(エンジニア・情報処理技術者など)	2.0%	2.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	管理職(会社・団体の役員・副課長・工場長・支店長など)	1.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	事務職(庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など)	33.0%	30.6%	40.0%	32.0%	44.4%	14.3%	50.0%	20.0%	50.0%	50.0%	20.0%	50.0%	50.0%	42.9%	33.3%	0.0%



新入生調査 基礎集計表 (保護者)

<2018年度 新入生生活調査>

	学部	学科										人間生活 学科	無回答												
		人文科学科	言語文化	人間社会科	芸術・表現	数学科	物理学科	化学科	生物学科	情報科学科	食物栄養			人間・環境											
(12)奨学金の具体的な名称-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	記入あり	66.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的な名称-2 地方公共団体の奨学金	該当者	8	2	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的な名称-3 学校独自の奨学金	該当者	10	4	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	90.0%	75.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的な名称-4 民間奨学団体の奨学金	該当者	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的な名称-5 新聞社の奨学金	該当者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的な名称-6 その他の奨学金	該当者	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	66.7%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的な名称-7 学費免除	該当者	8	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	75.0%	80.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金の具体的な名称-8 特待生	該当者	18	5	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	記入あり	83.3%	80.0%	85.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金/給与・貸付-1 日本学生支援機構の奨学金	給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸付	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金/給与・貸付-2 地方公共団体の奨学金	給与	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	貸付	75.0%	100.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金/給与・貸付-3 学校独自の奨学金	給与	90.0%	75.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	貸付	10.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金/給与・貸付-4 民間奨学団体の奨学金	給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸付	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金/給与・貸付-5 新聞社の奨学金	給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸付	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金/給与・貸付-6 その他の奨学金	給与	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸付	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金/給与・貸付-7 学費免除	給与	6	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸付	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12)奨学金/給与・貸付-8 特待生	給与	18	5	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貸付	5.6%	80.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

新入生調査 基礎集計表 (保護者)

	総数	学部										無回答					
		文教育学部 (計)	理学部 (計)	生活科学部 (計)	人文科学部	言語文化・人間社会学科	芸術・表現 行動学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科		情報科学科	食物栄養 学科	人間・環境 科学科	人間生活 学科	
(13) 奨学金の認知	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
日本学生支援機構(第一種奨学金)	67.3%	67.6%	64.9%	67.8%	58.3%	68.7%	80.0%	65.0%	47.1%	78.9%	73.7%	54.2%	68.8%	65.6%	71.4%	67.7%	100.0%
日本学生支援機構(第二種奨学金)	60.8%	62.4%	55.9%	61.7%	52.1%	65.7%	71.4%	60.0%	23.5%	73.7%	73.7%	41.7%	62.5%	62.5%	61.9%	61.3%	100.0%
日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	13.8%	12.9%	10.8%	18.3%	14.8%	16.4%	5.7%	10.0%	9.5%	21.1%	0.0%	16.7%	9.4%	18.8%	9.5%	21.0%	0.0%
地方公共団体の奨学金	26.0%	28.2%	24.3%	24.3%	25.0%	34.3%	25.7%	20.0%	11.8%	36.8%	26.3%	16.7%	28.1%	25.0%	28.6%	22.6%	0.0%
民間奨学団体の奨学金	16.5%	20.0%	14.4%	13.9%	22.9%	25.4%	11.4%	10.0%	17.6%	15.8%	5.3%	12.5%	18.8%	15.6%	9.5%	14.5%	0.0%
みがかずは奨学金	32.0%	36.5%	19.8%	37.4%	25.0%	44.8%	25.7%	55.0%	5.9%	31.6%	21.1%	16.7%	21.9%	37.5%	14.3%	45.2%	0.0%
校務委員奨学金(3年生向け)	13.3%	11.8%	9.9%	19.1%	4.2%	14.9%	11.4%	20.0%	5.9%	0.0%	10.5%	8.3%	18.8%	12.5%	23.8%	21.0%	0.0%
育厚奨学奨学金	4.5%	5.4%	2.6%	6.3%	6.3%	4.5%	5.7%	5.0%	11.8%	0.0%	0.0%	8.3%	6.3%	6.3%	0.0%	11.6%	0.0%
入学料免除制度	33.3%	37.1%	30.6%	30.4%	35.4%	43.3%	25.7%	40.0%	5.9%	36.8%	36.8%	41.7%	28.1%	21.9%	19.0%	38.7%	0.0%
入学料徴収猶予制度	21.5%	26.5%	15.3%	20.9%	31.3%	34.3%	14.3%	30.0%	9.5%	15.8%	15.8%	20.8%	18.8%	21.9%	9.5%	24.2%	0.0%
授業料免除制度	36.5%	37.6%	34.2%	37.4%	31.3%	46.3%	25.7%	45.0%	17.6%	36.8%	42.1%	41.7%	31.3%	43.8%	14.3%	41.9%	0.0%
授業料徴収猶予制度	20.5%	22.4%	17.1%	21.7%	18.8%	31.3%	5.7%	30.0%	5.9%	10.5%	21.1%	25.0%	18.8%	28.1%	4.8%	24.2%	0.0%
知っているものはない	16.5%	12.4%	23.4%	16.5%	12.5%	13.4%	11.4%	10.0%	29.4%	10.5%	15.8%	33.3%	25.0%	15.6%	19.0%	16.1%	0.0%
無回答	4.3%	5.3%	1.8%	5.2%	12.5%	4.5%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	6.3%	0.0%	6.5%	0.0%
(14) 奨学金の希望	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
日本学生支援機構(第一種奨学金)	25.5%	24.1%	24.3%	27.8%	18.8%	31.3%	22.9%	15.0%	17.6%	26.3%	5.3%	16.7%	43.8%	21.9%	23.8%	32.3%	0.0%
日本学生支援機構(第二種奨学金)	22.5%	23.5%	19.8%	23.5%	27.1%	25.4%	14.3%	25.0%	5.9%	21.1%	5.3%	20.8%	34.4%	25.0%	14.3%	25.8%	0.0%
日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	3.5%	2.4%	5.4%	3.5%	2.1%	1.5%	0.0%	0.0%	5.9%	5.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%
地方公共団体の奨学金	8.0%	8.2%	9.9%	6.1%	4.2%	10.4%	8.6%	10.0%	5.9%	5.3%	10.5%	8.3%	15.6%	9.4%	4.8%	4.8%	0.0%
民間奨学団体の奨学金	7.0%	7.1%	9.0%	5.2%	6.3%	6.0%	8.6%	10.0%	11.8%	0.0%	10.5%	8.3%	12.5%	6.3%	4.8%	4.8%	0.0%
みがかずは奨学金	16.8%	21.2%	10.8%	16.5%	10.4%	29.9%	22.9%	15.0%	11.8%	10.5%	10.5%	16.7%	12.5%	18.8%	9.5%	17.7%	0.0%
校務委員奨学金(3年生向け)	13.5%	13.5%	12.6%	14.8%	4.2%	19.4%	14.3%	15.0%	5.9%	5.3%	10.5%	16.7%	18.8%	15.6%	19.0%	12.9%	0.0%
育厚奨学奨学金	0.8%	0.6%	1.8%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
入学料免除制度	3.5%	3.5%	5.4%	1.7%	2.1%	3.0%	5.7%	5.0%	5.9%	10.5%	0.0%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
入学料徴収猶予制度	1.3%	1.2%	2.7%	0.0%	2.1%	1.5%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
授業料免除制度	10.5%	11.8%	11.7%	7.8%	14.6%	10.4%	14.3%	5.0%	11.8%	15.8%	5.3%	8.3%	15.6%	12.5%	0.0%	8.1%	0.0%
授業料徴収猶予制度	2.5%	1.8%	5.4%	0.9%	4.2%	1.5%	0.0%	0.0%	5.9%	5.3%	0.0%	4.2%	9.4%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
知っているものはない	39.8%	35.3%	45.9%	40.9%	39.6%	31.3%	31.4%	45.0%	58.8%	36.8%	52.6%	58.3%	31.3%	34.4%	47.6%	41.9%	100.0%
無回答	14.3%	15.3%	13.5%	13.0%	22.9%	9.0%	14.3%	20.0%	23.5%	15.8%	21.1%	8.3%	6.3%	15.6%	14.3%	11.3%	0.0%
(15) 知っている学生寮	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
国際学生宿舎	45.8%	54.1%	39.6%	39.1%	39.6%	67.2%	40.0%	70.0%	29.4%	66.4%	31.6%	16.7%	50.0%	53.1%	23.8%	37.1%	100.0%
お茶大SCC	59.5%	61.8%	58.6%	57.4%	50.0%	68.7%	57.1%	75.0%	52.9%	73.7%	57.9%	50.0%	59.4%	65.6%	38.1%	58.7%	0.0%
小石川寮(大学院生向け)	38.8%	41.8%	33.3%	40.9%	31.3%	53.7%	25.7%	55.0%	23.5%	57.9%	21.1%	16.7%	43.8%	43.8%	33.3%	41.9%	0.0%
知らない	36.0%	31.8%	40.5%	38.3%	45.8%	20.9%	40.0%	20.0%	47.1%	21.1%	42.1%	50.0%	40.6%	31.3%	57.1%	35.5%	0.0%
知らない	1.5%	2.9%	0.0%	0.9%	2.1%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
無回答	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
(16) 入寮を希望する学生寮	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
国際学生宿舎	21.5%	28.2%	17.1%	16.5%	25.0%	43.3%	8.6%	20.0%	5.9%	26.3%	21.1%	4.2%	25.0%	21.9%	4.8%	17.7%	0.0%
お茶大SCC	17.0%	18.2%	18.9%	13.0%	14.6%	26.9%	11.4%	10.0%	11.8%	31.6%	10.5%	12.5%	25.0%	12.5%	9.5%	14.5%	0.0%
小石川寮(大学院生向け)	4.5%	4.1%	7.2%	2.6%	6.3%	4.5%	2.9%	0.0%	5.9%	5.3%	5.3%	0.0%	15.6%	6.3%	4.8%	0.0%	
特になし	67.5%	62.4%	68.5%	73.9%	70.8%	46.3%	80.0%	65.0%	82.4%	63.2%	68.4%	79.2%	56.3%	71.9%	85.7%	71.0%	100.0%
無回答	5.3%	5.9%	4.5%	5.2%	4.2%	6.0%	2.9%	15.0%	0.0%	0.0%	10.5%	4.2%	6.3%	3.1%	4.8%	6.5%	0.0%



新入生調査 基礎集計表 (保護者)

<2019年度 新入生生活調査>

学部	総数		学部										無回答				
	文教育学部 (計)	理学部 (計)	生活科学部 (計)	人文科学科	言語文化 人間社会科 学科	芸術・表現 行動学科学科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	情報科学科	食物栄養 学科学科		人間・環境 科学科	人間生活 学科学科		
[アーク活用の許可]	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
はい	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
[個人情報登録の許可]	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
はい	93.8%	92.4%	98.2%	91.3%	85.4%	92.5%	97.1%	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	95.2%	90.3%	100.0%
いいえ	6.0%	7.1%	1.8%	8.7%	14.6%	6.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	9.7%	0.0%
無回答	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
[受験番号]	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
記入あり	99.3%	100.0%	100.0%	98.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.8%	100.0%
記入なし	0.8%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
[お茶大入試方法]	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
一般	74.8%	66.5%	81.1%	80.0%	64.6%	68.7%	65.7%	65.0%	82.4%	89.5%	78.9%	75.0%	81.3%	81.3%	85.7%	77.4%	100.0%
推薦(帰国含む)・教育学部	11.8%	27.6%	0.0%	0.0%	31.3%	26.9%	20.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
推薦(帰国含む)・理学部	4.8%	0.0%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	10.5%	10.5%	15.8%	20.8%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
推薦(帰国含む)・生活科学部	4.5%	0.0%	0.0%	15.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	14.3%	17.7%	0.0%
AO	1.8%	2.9%	0.0%	1.7%	2.1%	3.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
高校	2.3%	2.9%	1.8%	1.7%	2.1%	1.5%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	4.2%	0.0%	3.1%	0.0%	1.6%	0.0%
不明	0.3%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
[続柄]	400	170	111	115	48	67	35	20	17	19	19	24	32	32	21	62	1
父親	24.3%	22.9%	26.1%	24.3%	29.2%	23.9%	20.0%	10.0%	23.5%	26.3%	15.8%	29.2%	31.3%	31.3%	9.5%	22.6%	100.0%
母親	75.3%	75.9%	73.9%	75.7%	70.8%	74.6%	80.0%	85.0%	76.5%	73.7%	84.2%	70.8%	68.8%	62.5%	90.5%	77.4%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## 平成25年度 新入生の生活に関する調査

---

発行日：平成25年10月

発行：国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター  
東京都文京区大塚2-1-1  
TEL 03-5978-2646  
FAX 03-5978-5894  
MAIL [gakusei@cc.ocha.ac.jp](mailto:gakusei@cc.ocha.ac.jp)

---